

高根沢町住民意識調査 結果報告書



平成 1 7 年 4 月

目 次

第 1 章	住民意識調査結果の概要.....	1
第 2 章	単純集計結果の概要.....	2
第 3 章	単純集計結果	4
第 4 章	男女別クロス集計結果.....	1 6
第 5 章	年齢別クロス集計結果.....	2 4
第 6 章	職業別クロス集計結果.....	4 1
第 7 章	家族構成別クロス集計結果.....	5 8
第 8 章	居住地別クロス集計結果.....	7 0
第 9 章	住民意識調査に対する考察.....	8 7
参考資料	(住民意識調査票)	9 2

第 1 章 住民意識調査結果の概要

(1) 調査目的

住民の意見を十分に反映させた振興計画を策定するため、現在のまちづくりに対する評価や、今後優先すべき施策等に関して、意識調査を実施した。

(2) 調査対象

調査対象・対象者数

20 歳以上の町民 2,000 人を調査対象とした。

抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(3) 調査期間と調査方法

調査期間

平成 17 年 2 月 19 日～平成 17 年 3 月 4 日

調査方法

郵送配布、郵送回収

(4) 回収状況

894 票回収 (回収率 44.7%)

第2章 単純集計結果の概要

(1) 問1 - 回答者の性別

「女性」が50.9%を占め、「男性」の42.8%を上回った。

(2) 問2 - 回答者の年齢

上位回答は、「50歳代」が20.1%、「70歳以上」が18.9%、「60歳代」が17.6%であった。

(3) 問3 - 回答者の職業

上位回答は、「会社員・公務員・団体職員」が36.7%、「無職」が20.7%、「主婦・主夫」が13.1%であった。

(4) 問4 - 回答者の家族構成

上位回答は、「親子(2世代)世帯」が47.1%、「親子孫(3世代)世帯」が27.9%、「夫婦のみ(1世代)世帯」が17.1%であった。

(5) 問5 - 回答者の居住地

上位回答は、「阿久津小学校区」が29.4%、「西小学校区」が17.4%、「中央小学校区」が16.3%であった。

(6) 問6 - 回答者の愛着度

上位回答は、「愛着を感じている」が54.0%、「すこし愛着を感じている」が29.2%、「さほど愛着を感じていない」が13.6%であった。

(7) 問7 - 回答者の住み心地

上位回答は、「どちらかといえば住みやすい」が51.8%、「住みやすい」が32.0%、「どちらかといえば住みにくい」が13.3%であった。

(8) 問8 - 回答者の住み心地が良い点

上位回答は、「自然環境が豊か」が66.5%、「通勤・通学に便利」が45.0%、「防災・防犯など比較的治安が良い」が35.1%であった。

(9) 問9 - 回答者の住み心地が悪い点

上位回答は、「都市基盤が整っていない」が53.7%、「通勤・通学に不便」が29.8%、「高齢者・障害者への配慮が足りない」が26.6%であった。

(1 0) 問 1 0 - 回答者の今後優先していくべき分野

上位回答は、「都市・生活基盤の整備」が 50.7%、「保健医療・福祉の充実」が 48.2%、「自然環境の維持と生活環境の向上」が 36.0%であった。

(1 1) 問 1 1 - 優先度

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。

都市・生活基盤の整備

都市・生活基盤の整備では、「5. 汚水処理の充実」と「4. 良質な水道水の供給」と「1. 計画的な市街地整備」の優先度が高かった。

自然環境の維持と生活環境の向上

自然環境の維持と生活環境の向上では、「10. 防犯・交通安全対策の充実」と「9. 防災機能の向上」の優先度が高かった。

保健医療・福祉の充実

保健医療・福祉の充実では、「12. 高齢者福祉・介護支援の充実」と「14. 子育て支援策の充実」と「13. 障害者福祉の充実」の優先度が高かった。

教育・文化の充実

教育・文化の充実では、「17. 健全な青少年の育成」と「16. 学校教育・教育環境の充実」の優先度が高かった。

産業経済の振興

産業経済の振興では、「25. 雇用機会の提供」と「23. 商業振興」の優先度が高かった。

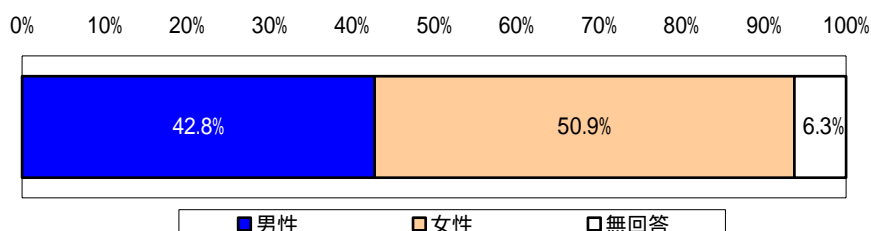
地域コミュニティ活動の充実

地域コミュニティ活動の充実では、「29. 積極的な行政情報の提供」と「26. 地域コミュニティの活性化」の優先度が高かった。

第3章 単純集計結果

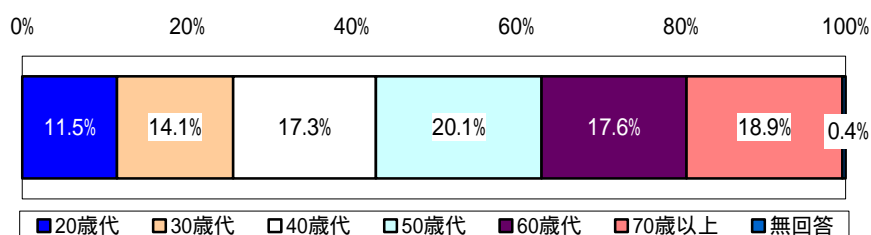
(1) 単純集計 問1「回答者の性別」

回答者の性別は、「男性」42.8%、「女性」が50.9%であり、「女性」の回答率が「男性」を上回った。



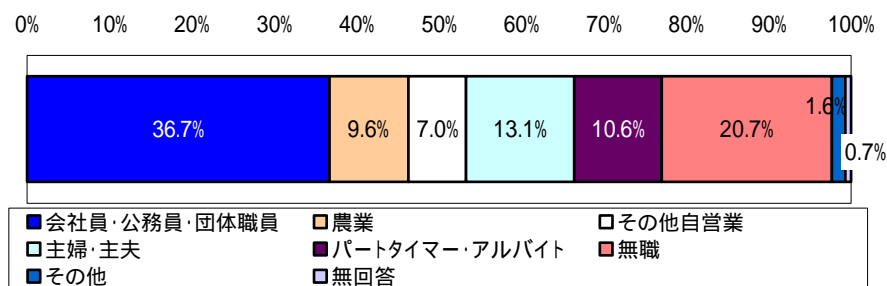
(2) 単純集計 問2「回答者の年齢」

回答者の年齢は、「50歳代」が20.1%と最も高かった。次いで「70歳以上」が18.9%、「60歳代」が17.6%であり、50歳代以上が約6割を占めた。



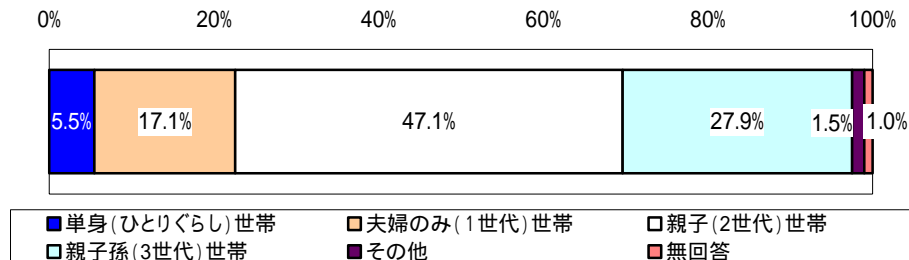
(3) 単純集計 問3「回答者の職業」

回答者の職業は、「会社員・公務員・団体職員」が36.7%と最も高かった。次いで「無職」が20.7%、「主婦・主夫」が13.1%であった。



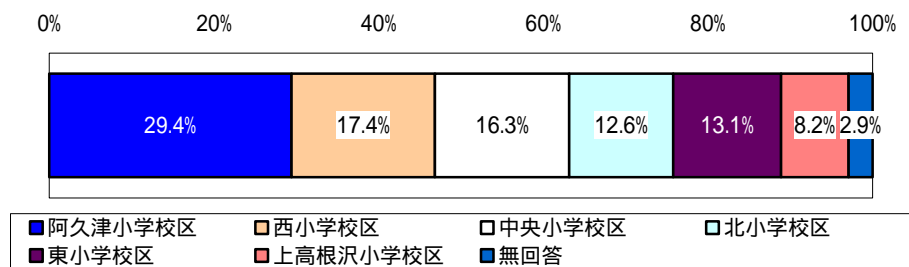
(4) 単純集計 問 4 「回答者の家族構成」

回答者の家族構成は、「親子（2世代）世帯」が47.1%で最も高く、次いで「親子孫（3世代）世帯」が27.9%、「夫婦のみ（1世代）世帯」が17.1%であった。



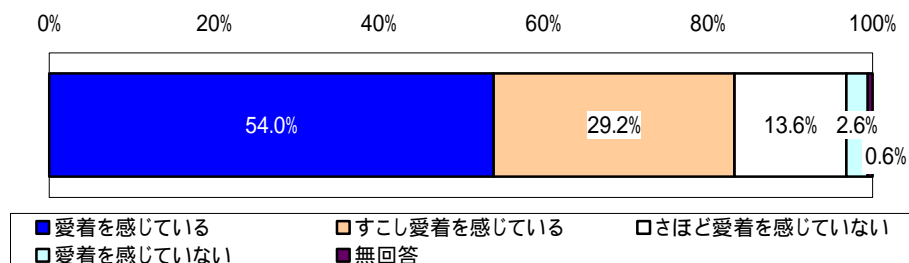
(5) 単純集計 問 5 「回答者の居住地」

回答者の居住地は、「阿久津小学校区」が29.4%と最も高かった。次いで「西小学校区」が17.4%、「中央小学校区」が16.3%であった。



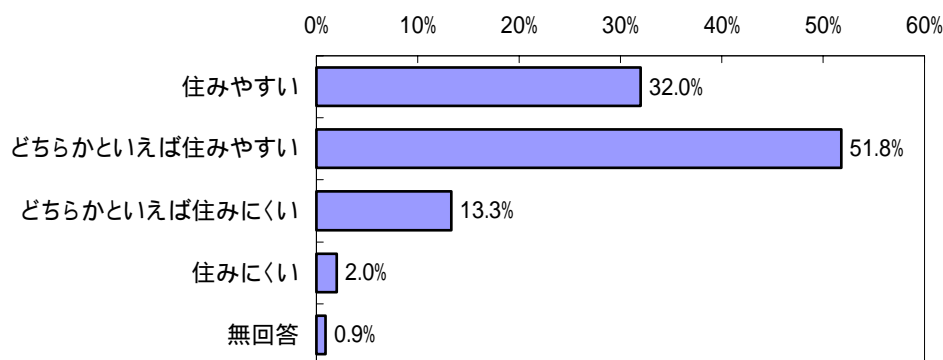
(6) 単純集計 問 6 「高根沢町に対する愛着」

高根沢町に対する愛着を尋ねたところ、「愛着を感じている」が 54.0%と最も高かった。次いで「すこし愛着を感じている」が 29.2%、「さほど愛着を感じていない」が 13.6%であった。回答者の約 8 割が自らのまちに愛着があることがうかがえた。



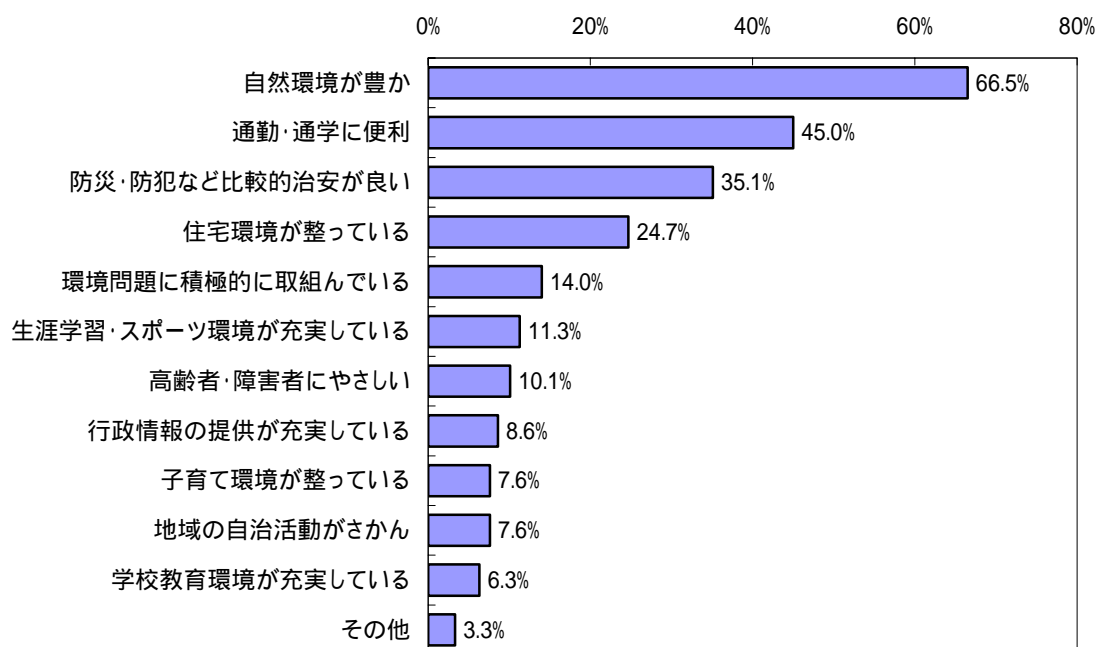
(7) 単純集計 問 7 「高根沢町の住み心地」

高根沢町に対する住み心地を尋ねたところ、「どちらかといえば住みやすい」が 51.8% と最も高かった。次いで「住みやすい」が 32.0%、「どちらかといえば住みにくい」が 13.3% であった。高根沢町の住み心地に対して、肯定的な回答が約 8 割を占めた。



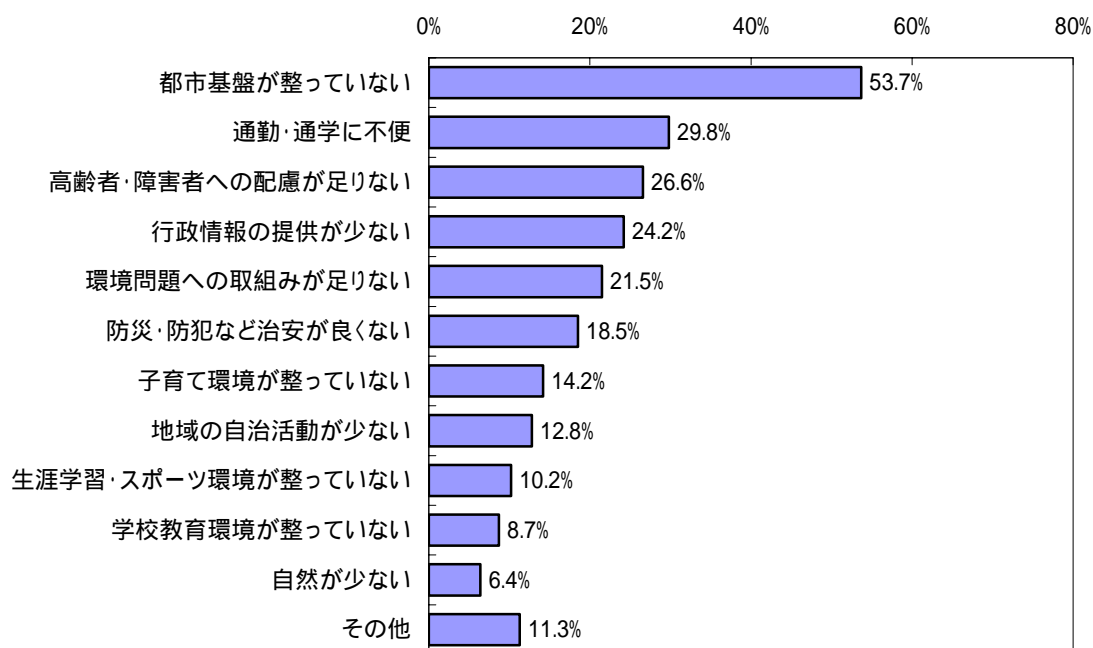
(8) 単純集計 問 8 「住み心地が良い点」(複数回答)

高根沢町に対する住み心地が良い点を尋ねたところ、「自然環境が豊か」が 66.5% と最も高く、次いで「通勤・通学に便利」が 45.0%、「防災・防犯など比較的治安が良い」が 35.1% であった。



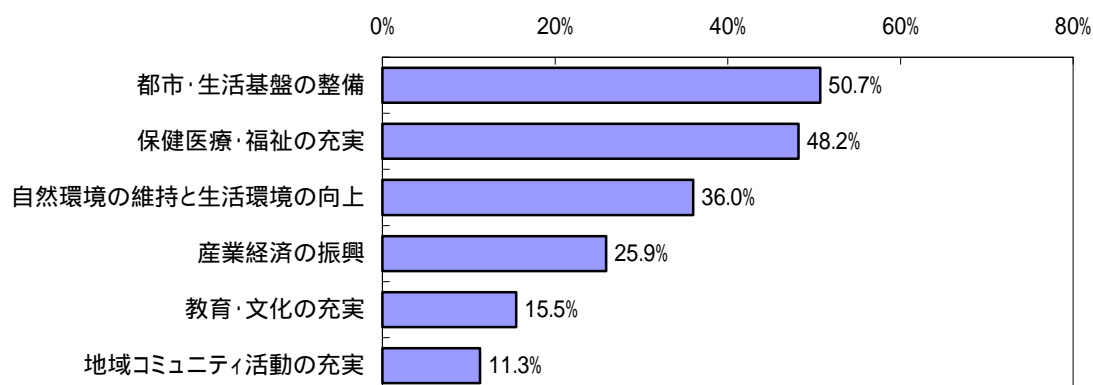
(9) 単純集計 問 9 「住み心地が悪い点」(複数回答)

高根沢町に対する住み心地が悪い点を尋ねたところ、「都市基盤が整っていない」が53.7%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便」が29.8%、「高齢者・障害者への配慮が足りない」が26.6%であった。問8では、住み心地が良い点として「通勤・通学に便利」が第2位回答を占めており、通勤・通学の利便性は、評価が分かれている。



(10) 単純集計 問 10 「今後優先すべき分野」(複数回答)

高根沢町が今後優先すべき分野を尋ねたところ、「都市・生活基盤の整備」が50.7%と最も高く、次いで「保健医療・福祉の充実」が48.2%、「自然環境の維持と生活環境の向上」が36.0%であった。



(1 1) 単純集計 問 1 1 「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」割合から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」割合を差し引いて「優先度」を求め、各施策の優先度合いを把握した。

都市・生活基盤の整備

1) 計画的な市街地整備

「1.計画的な市街地整備」に関する「優先」割合は 64.6%、「非優先」割合は 14.2%であり、「優先度」は 50.4%であった。

2) 利便性の高い道路網の形成

「2.利便性の高い道路網の形成」に関する「優先」割合は 59.0%、「非優先」割合は 24.5%であり、「優先度」は 34.5%であった。

3) 公共交通の充実

「3.公共交通の充実」に関する「優先」割合は 54.3%、「非優先」割合は 27.6%であり、「優先度」は 26.7%であった。「都市・生活基盤の整備」分野で最も「優先度」が低かった。

4) 良質な水道水の供給

「4.良質な水道水の供給」に関する「優先」割合は 69.6%、「非優先」割合は 16.9%であり、「優先度」は 52.7%であった。

5) 汚水処理の充実

「5.汚水処理の充実」に関する「優先」割合は 78.7%、「非優先」割合は 7.9%であり、「優先度」は 70.8%であった。「都市・生活基盤の整備」分野で最も「優先度」が高かった。

自然環境の維持と生活環境の向上

6) 自然環境の保護

「6.自然環境の保護」に関する「優先」割合は 68.3%、「非優先」割合は 16.4%であり、「優先度」は 51.9%であった。

7) リサイクルの推進

「7.リサイクルの推進」に関する「優先」割合は 69.4%、「非優先」割合は 14.8%であ

り、「優先度」は54.6%であった。

8) 公園・緑地の充実

「8.公園・緑地の充実」に関する「優先」割合は50.9%、「非優先」割合は32.3%であり、「優先度」は18.6%であった。「自然環境の維持と生活環境の向上」分野で最も「優先度」が低かった。

9) 防災機能の向上

「9.防災機能の向上」に関する「優先」割合は73.8%、「非優先」割合は10.3%であり、「優先度」は63.5%であった。

10) 防犯・交通安全対策の充実

「10.防犯・交通安全対策の充実」に関する「優先」割合は82.2%、「非優先」割合は5.3%であり、「優先度」は76.9%であった。「自然環境の維持と生活環境の向上」分野で最も「優先度」が高かった。

保健医療・福祉の充実

11) 健康づくりの推進

「11.健康づくりの推進」に関する「優先」割合は64.9%、「非優先」割合は19.4%であり、「優先度」は45.5%であった。「保健医療・福祉の充実」分野で最も「優先度」が低かった。

12) 高齢者福祉・介護支援の充実

「12.高齢者福祉・介護支援の充実」に関する「優先」割合は80.7%、「非優先」割合は8.2%であり、「優先度」は72.5%であった。「保健医療・福祉の充実」分野で最も「優先度」が高かった。

13) 障害者福祉の充実

「13.障害者福祉の充実」に関する「優先」割合は71.4%、「非優先」割合は10.2%であり、「優先度」は61.2%であった。

14) 子育て支援策の充実

「14.子育て支援策の充実」に関する「優先」割合は73.0%、「非優先」割合は9.5%であり、「優先度」は63.5%であった。

15) 社会保障・生活援護の充実

「15. 社会保障・生活援護の充実」に関する「優先」割合は 68.6%、「非優先」割合は 14.3%であり、「優先度」は 54.3%であった。

教育・文化の充実

16) 学校教育・教育環境の充実

「16. 学校教育・教育環境の充実」に関する「優先」割合は 76.1%、「非優先」割合は 5.5%であり、「優先度」は 70.6%であった。

17) 健全な青少年の育成

「17. 健全な青少年の育成」に関する「優先」割合は 82.2%、「非優先」割合は 5.8%であり、「優先度」は 76.4%であった。「教育・文化の充実」分野で最も「優先度」が高かった。

18) 生涯学習の充実

「18. 生涯学習の充実」に関する「優先」割合は 57.0%、「非優先」割合は 23.1%であり、「優先度」は 33.9%であった。

19) 文化・芸術活動の充実

「19. 文化・芸術活動の充実」に関する「優先」割合は 45.2%、「非優先」割合は 34.7%であり、「優先度」は 10.5%であった。「教育・文化の充実」分野で最も「優先度」が低かった。

20) 生涯スポーツの充実

「20. 生涯スポーツの充実」に関する「優先」割合は 46.5%、「非優先」割合は 32.5%であり、「優先度」は 14.0%であった。

産業経済の振興

21) 農林業振興

「21. 農林業振興」に関する「優先」割合は 50.1%、「非優先」割合は 23.8%であり、「優先度」は 26.3%であった。

22) 工業振興

「22. 工業振興」に関する「優先」割合は 50.3%、「非優先」割合は 24.4%であり、「優先度」は 25.9%であった。

23) 商業振興

「23.商業振興」に関する「優先」割合は58.1%、「非優先」割合は17.2%であり、「優先度」は40.9%であった。

24) 観光振興

「24.観光振興」に関する「優先」割合は40.2%、「非優先」割合は34.7%であり、「優先度」は5.5%であった。「産業経済の振興」分野で最も「優先度」が低かった。

25) 雇用機会の提供

「25.雇用機会の提供」に関する「優先」割合は66.0%、「非優先」割合は12.7%であり、「優先度」は53.3%であった。「産業経済の振興」分野で最も「優先度」が高かった。

地域コミュニティ活動の充実

26) 地域コミュニティの活性化

「26.地域コミュニティの活性化」に関する「優先」割合は51.4%、「非優先」割合は26.7%であり、「優先度」は24.7%であった。

27) 地域自治活動への参加促進

「27.地域自治活動への参加促進」に関する「優先」割合は40.9%、「非優先」割合は35.5%であり、「優先度」は5.4%であった。

28) 男女共同参画の推進

「28.男女共同参画の推進」に関する「優先」割合は39.4%、「非優先」割合は34.7%であり、「優先度」は4.7%であった。「地域コミュニティ活動の充実」分野で最も「優先度」が低かった。

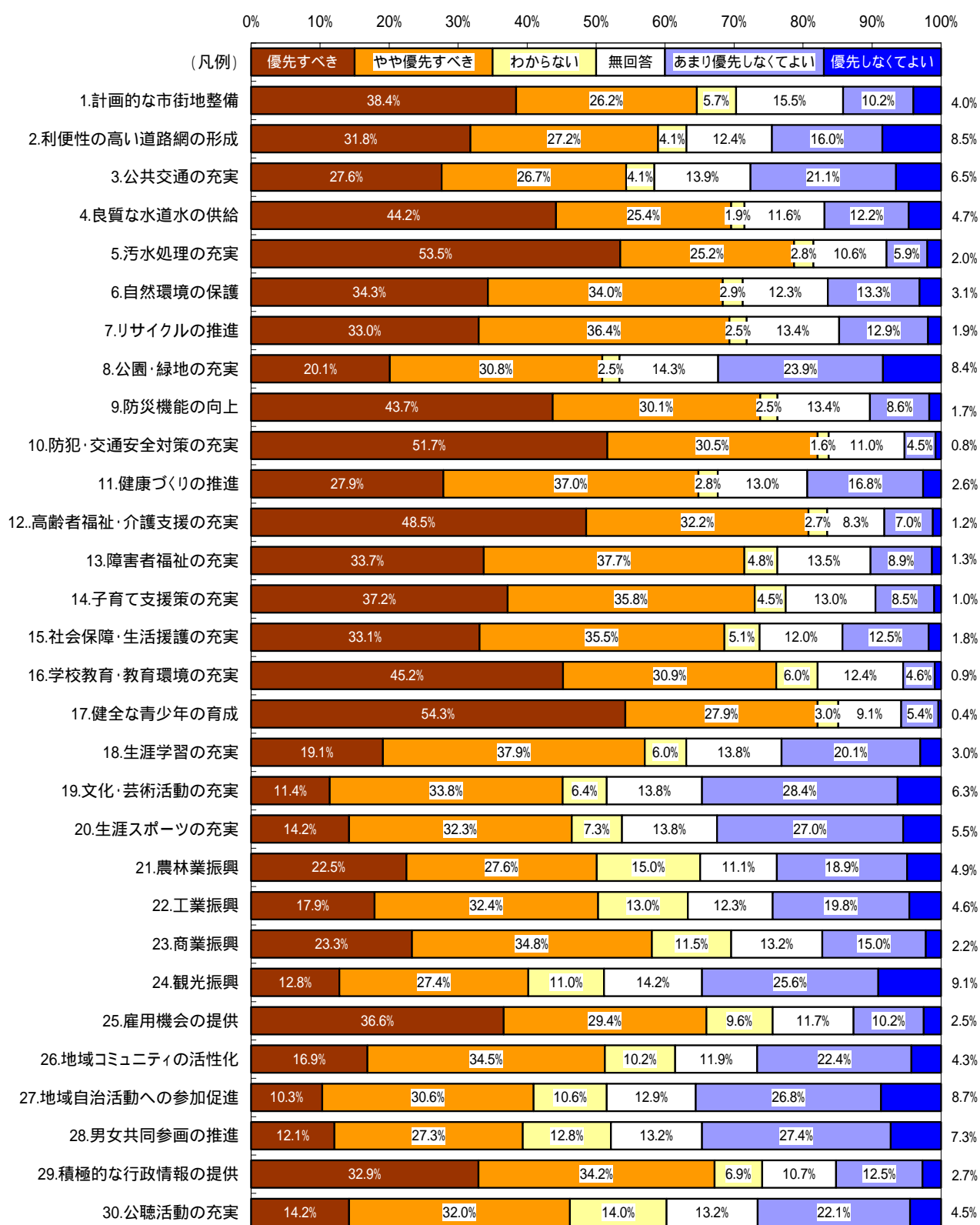
29) 積極的な行政情報の提供

「29.積極的な行政情報の提供」に関する「優先」割合は67.1%、「非優先」割合は15.2%であり、「優先度」は51.9%であった。「地域コミュニティ活動の充実」分野で最も「優先度」が高かった。

30) 公聴活動の充実

「30.公聴活動の充実」に関する「優先」割合は46.2%、「非優先」割合は26.6%であり、「優先度」は19.6%であった。

施策の優先度



(1 2) 単純集計 問 1 2 自由回答

自由回答の内容を整理すると、「道路に関する意見」「合併に関する意見」「防犯や交通安全に関する意見」「下水道に関する意見」「市街地整備に関する意見」「高齢者福祉に関する意見」「公共交通に関する意見」「ごみ・リサイクルに関する意見」「商業に関する意見」「自然環境に関する意見」などが多数寄せられた。意見の事例は、次のとおりである。

道路に関する意見

高根沢は場所によって道が狭く、道路整備の不備が見受けられます。(特に住宅地)これから改善が必要ではないでしょうか。
自転車を取りたくても道路が狭く、歩道が荒れているため、乗らない人が多く見受けられます。私も自転車で通勤していますが、道が狭く車も車速を下げないのでとても危険です。子供の通学を見ていると危なくて心配。どうか歩道の充実した町づくりをお願いします。
現在の町全体の道路状況はあまりにひどく道幅も狭く歩道もなく、子供や高齢者、障害を持っていらっしゃる方などが安全、安心に生活が出来ないと思います。他町村において、町中心部がこの様な状況の所はあまりないように思います。自分自身がもし、年を取って身体の一部が不自由になった時を考えるととても不安です。

合併に関する意見

合併協議の選挙を行い、宇都宮市との合併を望む住民の投票が多かった。しかし、選挙後の宇都宮市との合併進行状況について、住民に全く知らされておらず、選挙の意味がなかったのではないかと。宇都宮市との合併進行状況について、住民に知らせたい。
これからのまちづくりに関する意見についてこれまで、市町合併を優先してきたが、どうなったのか。そもそも、合併して何のメリットがあると考えたのか。職員費を含めて何千万円を使ったのか。その分を施策・事業の充実に充てるべきだったと考えると、腹立たしい限りである。
市町村合併は、この先どうなっていくのでしょうか。2～3年ぐらいのうちに、どこかといっしょにならないと、やっていけなくなるようになるのでは、という気がしています。議員の方や他の権力関係は考えずに、生き残れる方策を考えて下さい。

防犯や交通安全に関する意見

高根沢町に警察署を設置して欲しい。人口も3万人を超え、宝積寺台地での人口増が進展していくことが必至です。人口増に比例して犯罪が多くなることは明らかであり、更なる防犯強化が肝要となります。防犯強化の基本は、地元警察署を中心とした地域ぐるみの取組が最重要課題と考えています。
世の中が今とても物騒になり、予測できない事件がたくさんおこっています。子供たち、町民が安心して住んでいける町づくりをしていきたいです。家などが少ない道には、街灯をつけて町を明るく照らせば、防犯に役立つと思います。
東町北区の道路は、道幅がせまいわりには車の数が多いので、なんとかして欲しい。道路標識や速度規制がドライバーに分かるようにして欲しい。事故が起きる前に早急な対策をして下さい。

下水道に関する意見

下水道工事が始まっているのですが、一日も早く全軒の家が使用出来ますようにお願い致します。
宇都宮市では下水が通っていない地区で2世帯以上の希望があれば申請により予算化され2年以内に本管が布設される。今住んでいる石末では、側溝さえなく水があふれてしまうので浴槽の湯はポンプで汲み上げ花木へ有効利用し、洗濯はコインランドリーを利用している。それでもキッチン、洗面所、バスシャワーを使うとあふれ出す始末。近々上下水道が整備されている宇都宮市内へ引越したいと考えている。
現在、下水道工事を行っているが、全部の世帯が恩恵を受けられるのか。町の広報などで説明してほしい。

市街地整備に関する意見

旧市街地の下水道と区画整理を推進してほしい。
宝積寺市街地地域の整備を早期に図るべき。車道と歩道の区分が不明瞭であり、通学者（歩行者・自転車等）と車が危険な状況にあると思う（通学道の徹底も必要）。特に障害者には全く対応できないと思う。下水道整備のおくれによる河川の汚濁、地下水汚染も心配である。市街地が台地に形成されているので、火災等の防災対策に不安を感じる。
市街化調整区域が多く、サマリーマンが住める場所が無さすぎる。土地の値段が、その為に高目であり、住みにくい。

高齢者福祉に関する意見

高根沢町は他の市町村に比べると福祉分野が充実していないと思います。高齢者も障害のある人も安心して暮らせるように町ぐるみで推進して欲しいと願います。
高齢化が加速している中、町としての施設不足による受入れ体制のおくれが目立っている。今後ますますこの傾向は進んでくると思う。早い対応が求められていると思います。
高齢になった時に、住みやすく生活しやすい町にして欲しい。私が住んでいる所では資源ゴミ等は公民館まで持って行きます。今はまだ車の運転が出来ますから持って行く事が出来ませんが10年後、20年後を考えると不安です。

公共交通に関する意見

高齢化社会に対応するため、町内主要施設への巡回バスサービスを検討して欲しい。例えば、宝積寺駅 宝積寺郵便局 役場 元気あっぷむら 各病院 各スーパーを一日に何回か巡回する。運転手はバス会社退職者等を採用し人件費の抑制を図る。バスも中古車をバス会社より購入。
公共機関の充実を検討して欲しい。JR以外の交通手段がほとんどなく、バスも本数が少なすぎます。マイクロバスなどの採用などにより、町内循環バス（みやバスなどの様に）走行などを行って頂けると助かります。
自家用車の増加によりバス利用者が減り、東野バス2本が廃止され不便を感じております。町民広場やその他公共施設に催物があっても足がなく、行くことが出来ません。せっかく念願の眼科が出来てもタクシーを利用しなければなりません。町内を巡る町営のバスがあればどんなにか助かります。老人にやさしいまちづくりをお願いいたします

ごみ・リサイクルに関する意見

ごみ集荷の回数を増やして欲しい。ペットボトル、缶、古紙などが月１回なのはひどい。その日をのがしてしまうと、２ヶ月分、３ヶ月分のゴミがたまってしまう。宇都宮市が週一と聞くので、これだけを考えても高根沢町から転出したいという気持ちです。

栃木へ来て（居住して）ゴミ分別の低さにおどろきました。現在もカン・ガラス類や燃えるゴミなどは、資源活用されているのでしょうか。焼却処理の安全性についても心配です。

ビニールゴミの回収を呼びかけ、家庭では焼却させないようにして、きれいな空気を保って欲しい。外へ出て深呼吸をすると、むせてしまうことがある。

商業に関する意見

高根沢町の顔である宝積寺駅前を魅力ある広場に商店街にして欲しい。生活に必要な物・食品を顔の見えるお店で買いたいと思う（対話をしながら）から、町としても商工会をバックアップして活気ある駅前にして欲しい。

高根沢町としての特産物を作るべきではと思う。町の商業・工業・農業の各分野での産物は作っているが、“これ”という特徴のある産物を、各分野で一つ二つを定めて、町内や県内へPRしていけたらと思います。

大型商業施設をつくって欲しい。買物に宇都宮市までいっているが高根沢町で済ませたい。ファーストフード店もつくって欲しい。

自然環境に関する意見

私は「今の高根沢町」が好きです。緑もたくさんあって、田んぼもたくさんあって、水もおいしいと県外の人などから言われる事があります。お米もおいしいです。この自然を残しながら住みよい町をつくりたいと思います。

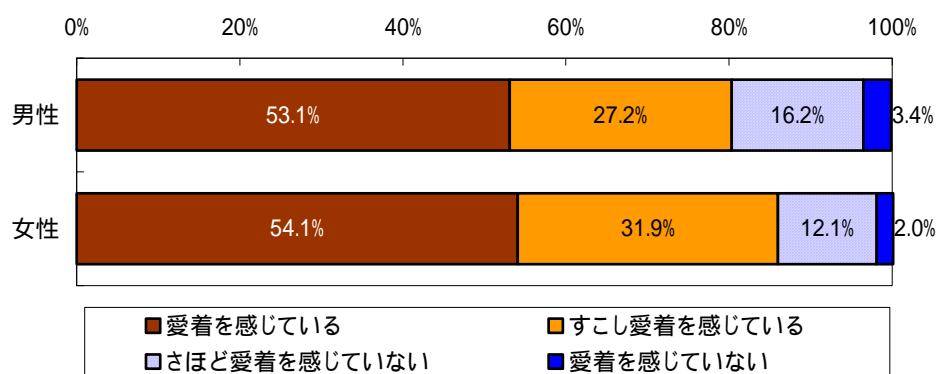
特色ある町づくりの課題は、美しい自然環境を大切にし、文化芸術面の施策を充実して、教養豊かな人材を育てることだと思います。

最近川の汚れがひどく、川底には錆びた飲料水の缶等が沈み、昔の清流が失われている。川底の清掃を実施し、昔の様な清流を取り戻して欲しい。飲料水の缶を中止し紙に替える事により缶の散乱が無くなると思う。是非実施の方向で検討をお願いします

第4章 男女別クロス集計結果

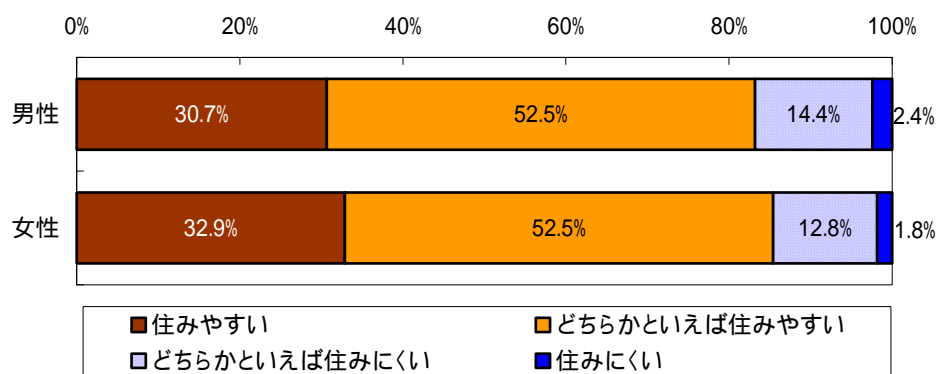
(1) 男女別クロス集計 問6「高根沢町に対する愛着」

高根沢町に対する愛着は、男女ほぼ同様の回答であり、男女とも約8割が自らのまちに愛着があることがうかがえた。



(2) 男女別クロス集計 問7「高根沢町の住み心地」

高根沢町に対する住み心地は、男女ほぼ同様の回答であり、男女とも肯定的な回答が約8割を占めた。

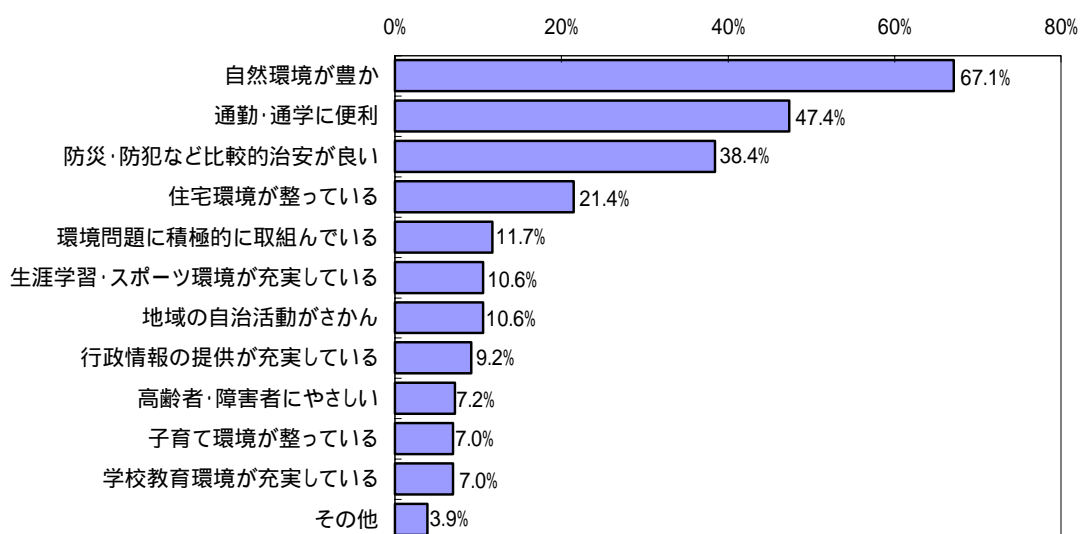


(3) 男女別クロス集計 問8「住み心地が良い点」

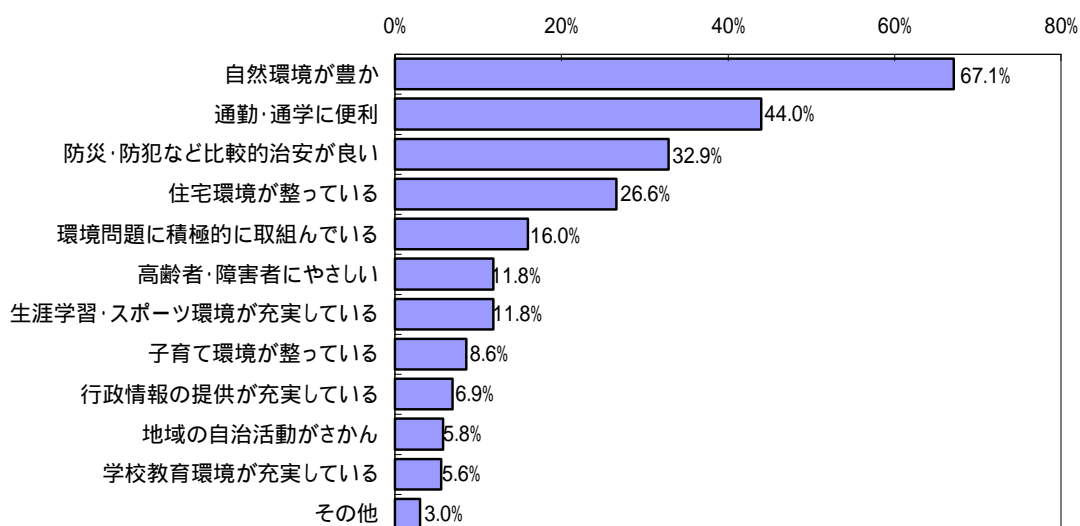
高根沢町に対する住み心地が良い点は、男女ともほぼ同様の回答であった。「男性」は「女性」に比べて「通勤・通学に便利」「防災・防犯など比較的治安が良い」の割合が高かった。

「女性」は「男性」に比べて「住宅環境が整っている」「環境問題に積極的に取り組んでいる」の割合が高かった。

男性



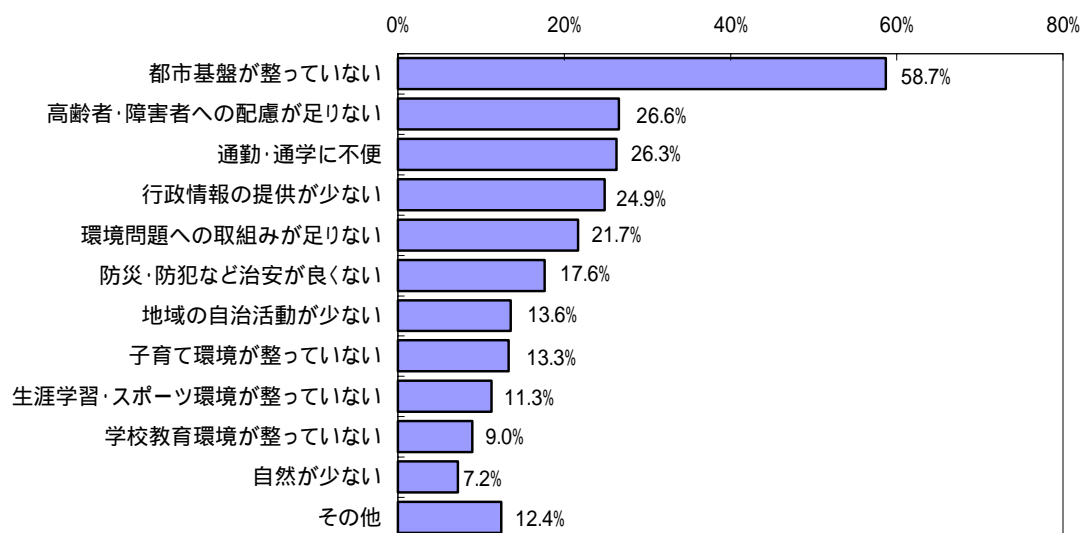
女性



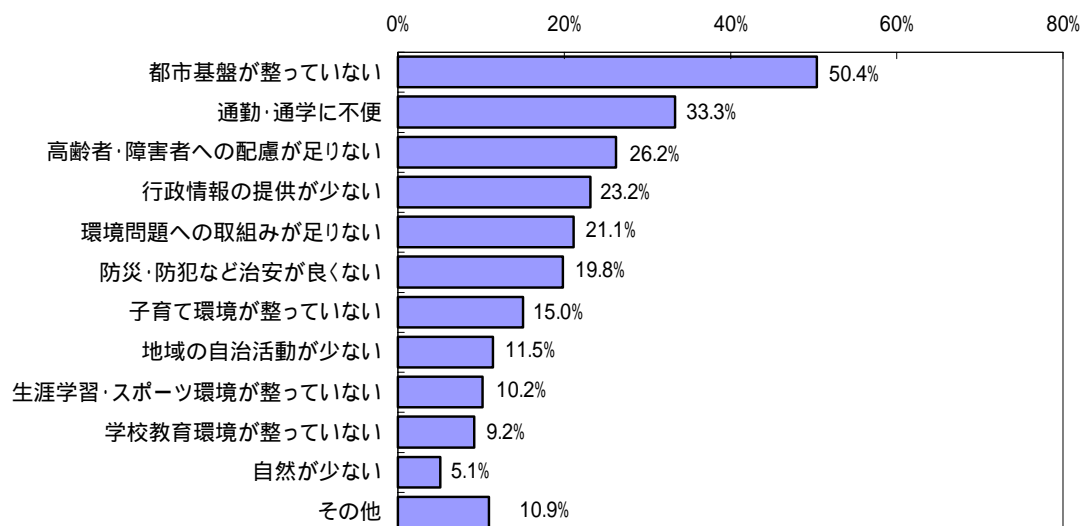
(4) 男女別クロス集計 問9「住み心地が悪い点」

「男性」は「女性」に比べて、「都市基盤が整っていない」の割合が高かった。「女性」は「男性」に比べて、「通勤・通学に不便」の割合が高かった。

男性



女性

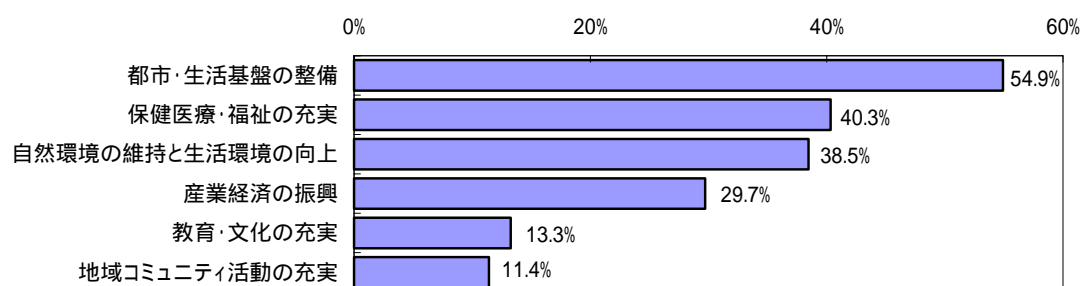


(5) 男女別クロス集計 問 1 0 「今後優先すべき分野」

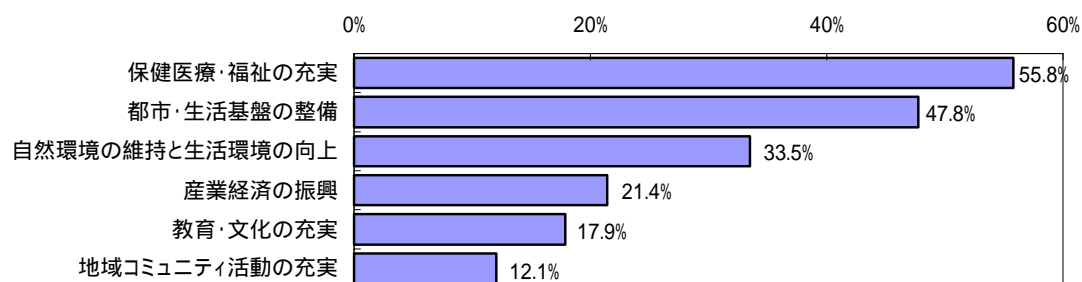
「男性」の今後優先すべき分野は、「都市・生活基盤の整備」が第1位回答であり、次いで「保健医療・福祉の充実」「自然環境の維持と生活環境の向上」であった。

「女性」の今後優先すべき分野は、「保健医療・福祉の充実」が第1位回答であり、次いで「都市・生活基盤の整備」「自然環境の維持と生活環境の向上」であり、差異が見られた。

男性



女性



（６）男女別クロス集計 問１１「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。６分野の男女別「施策の優先度」は下記の結果となった。

都市・生活基盤の整備（項目１～５）

都市・生活基盤の整備の５項目では、「男性」は「５.汚水処理の充実」「１.計画的な市街地整備」「４.良質な水道水の供給」の順番で優先度が高かった。「女性」は「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」「１.計画的な市街地整備」の順番で優先度が高く、男女での差異が見られた。また、「４.良質な水道水の供給」の割合は、「女性」は「男性」に比べて大きく上回った。

自然環境の維持と生活環境の向上（項目６～１０）

自然環境の維持と生活環境の向上の５項目では、男女とも「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「７.リサイクルの推進」の順番で優先度が高く、優先順位は男女同様であった。ただし、「９.防災機能の向上」の割合は、「女性」は「男性」に比べて大きく上回った。

保健医療・福祉の充実（項目１１～１５）

保健医療・福祉の充実の５項目では、「男性」は「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１４.子育て支援策の充実」「１３.障害者福祉の充実」の順番で優先度が高かった。「女性」は「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１４.子育て支援策の充実」の順番で優先度が高く、男女での差異が見られた。また、「１３.障害者福祉の充実」の割合は、「女性」は「男性」に比べて大きく上回った。

この「保健医療・福祉の充実」分野は、他の分野に比べて、５項目の平均優先度が男女とも最も高かった。

教育・文化の充実（項目１６～２０）

教育・文化の充実の５項目では、男女とも「１７.健全な青少年の育成」「１６.学校教育・教育環境の充実」「１８.生涯学習の充実」の順番で優先度が高く、優先順位は男女同様であった。男女とも他の項目に比べて「１７.健全な青少年の育成」「１６.学校教育・教育環境の充実」の優先度が高かった。

産業経済の振興（項目 21～25）

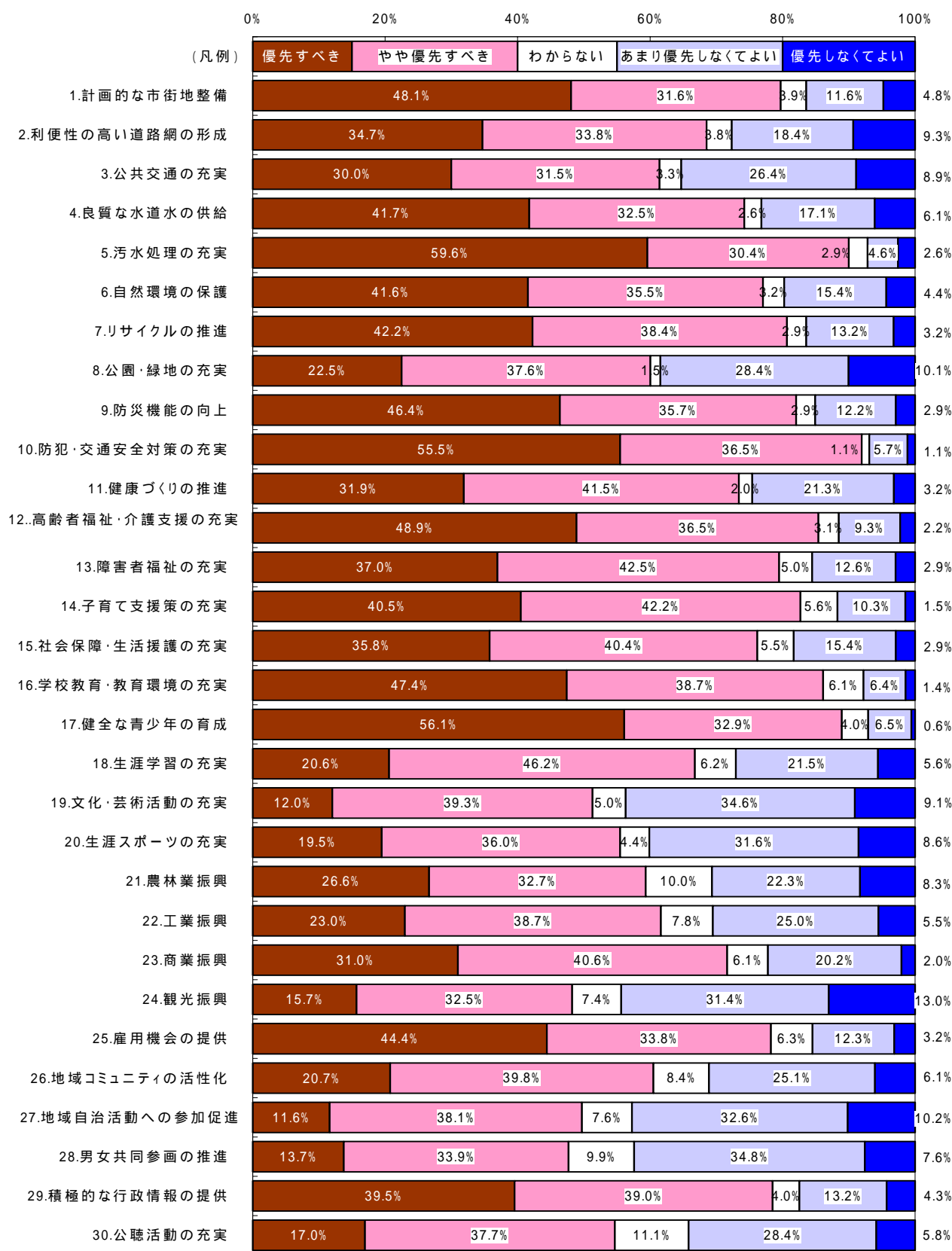
産業経済の振興の 5 項目では、「男性」は「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「22.工業振興」の順番で優先度が高かった。「女性」は「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「21.農林業振興」の順番で優先度が高く、男女での差異が見られた。

地域コミュニティ活動の充実（項目 26～30）

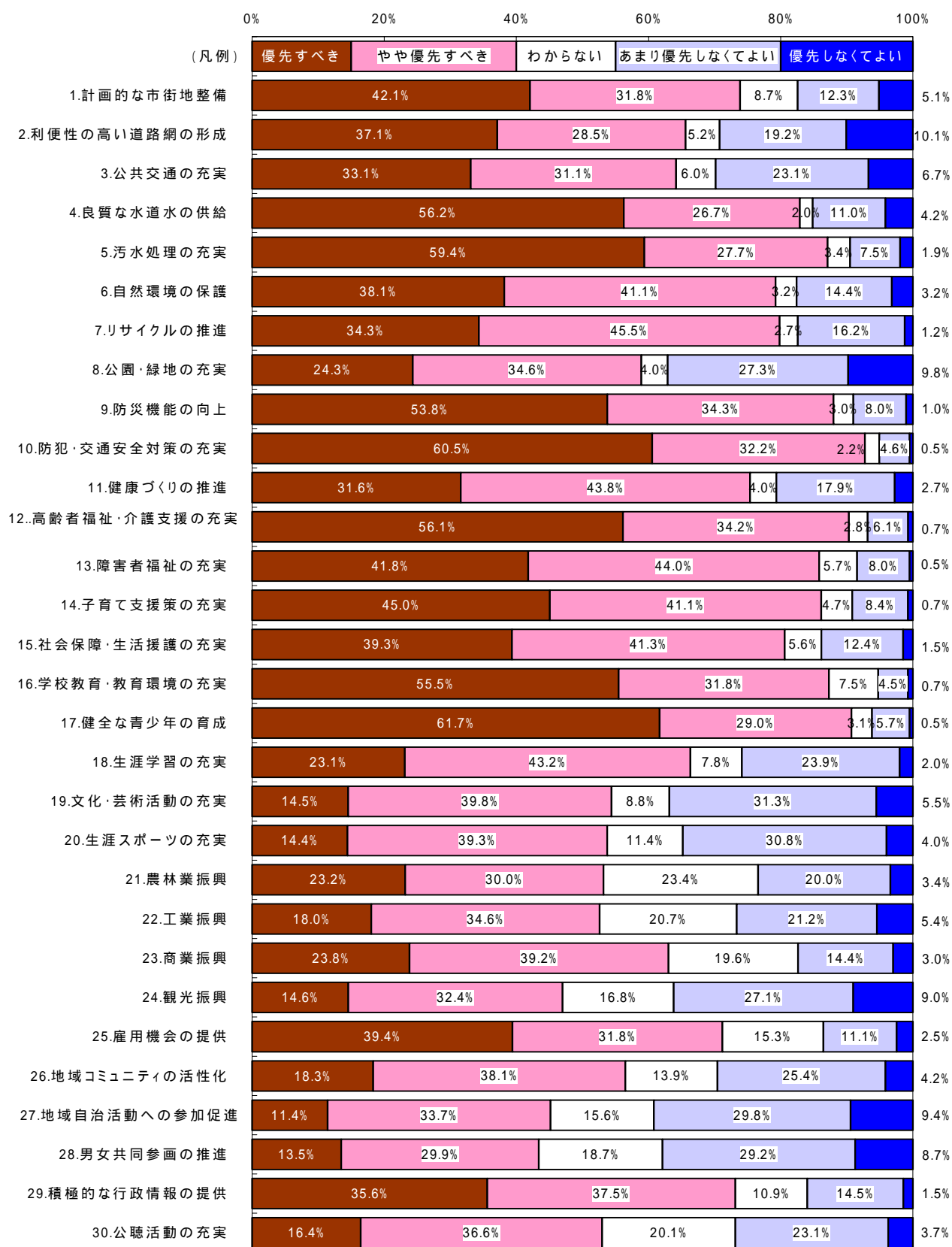
地域コミュニティ活動の充実の 5 項目では、男女とも「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「30.公聴活動の充実」の順番で優先度が高く、優先順位は男女同様であった。

この「地域コミュニティ活動の充実」分野は、他の分野に比べて、5 項目の平均優先度が男女とも最も低かった。特に「27.地域自治活動への参加促進」「28.男女共同参画の推進」は、他の項目に比べて男女とも優先度が低かった。

男性の「施策の優先度」



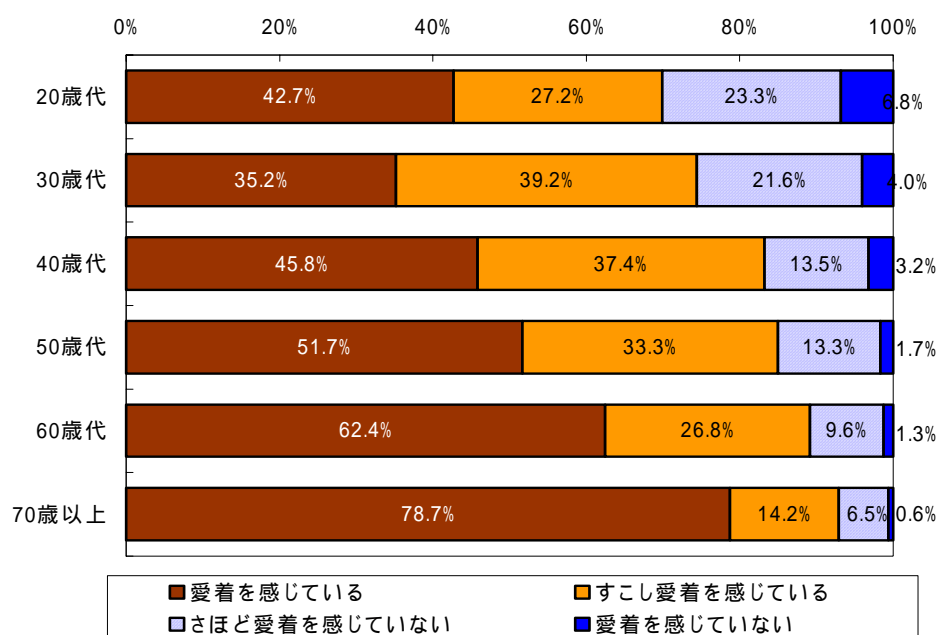
女性の「施策の優先度」



第5章 年齢別クロス集計結果

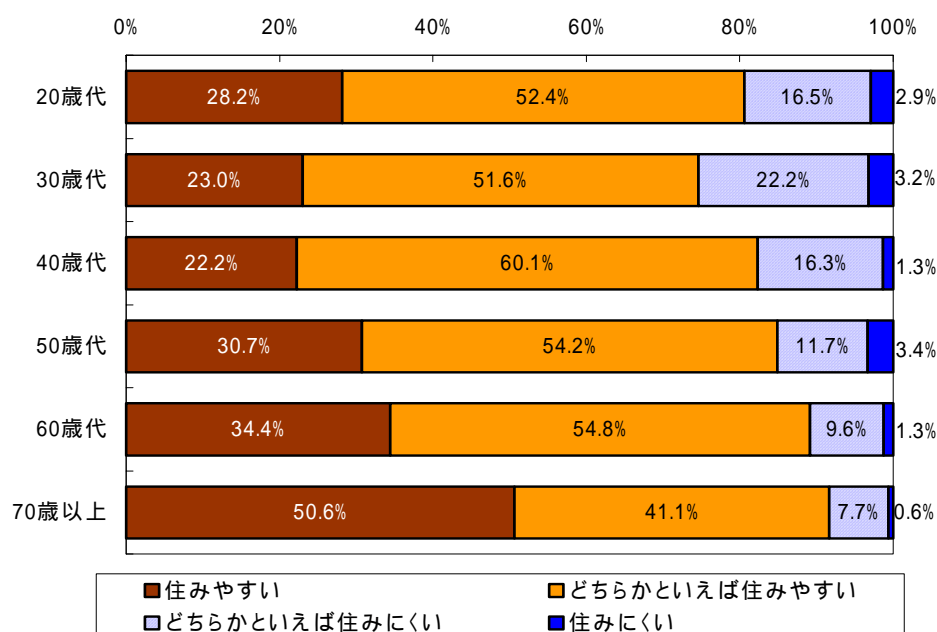
(1) 年齢別クロス集計 問6「高根沢町に対する愛着」

高根沢町に対する愛着は、「30歳代」以上では、年齢が上昇するにつれて「愛着を感じている」割合が高くなる傾向が見られた。



(2) 年齢別クロス集計 問7「高根沢町の住み心地」

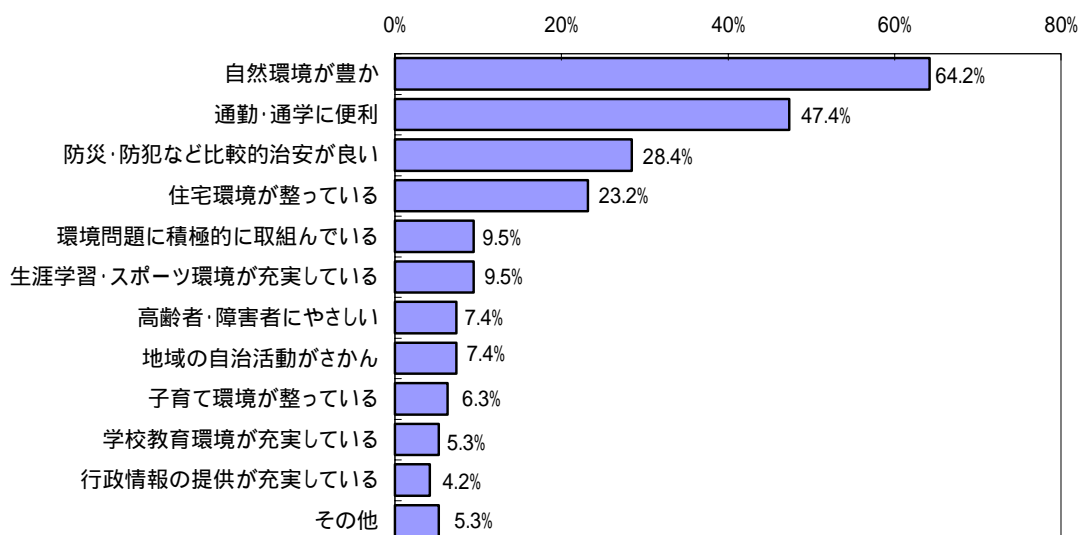
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた肯定的な回答は、「30歳代」以上では、年齢が上昇するにつれて割合が高くなる傾向が見られた。



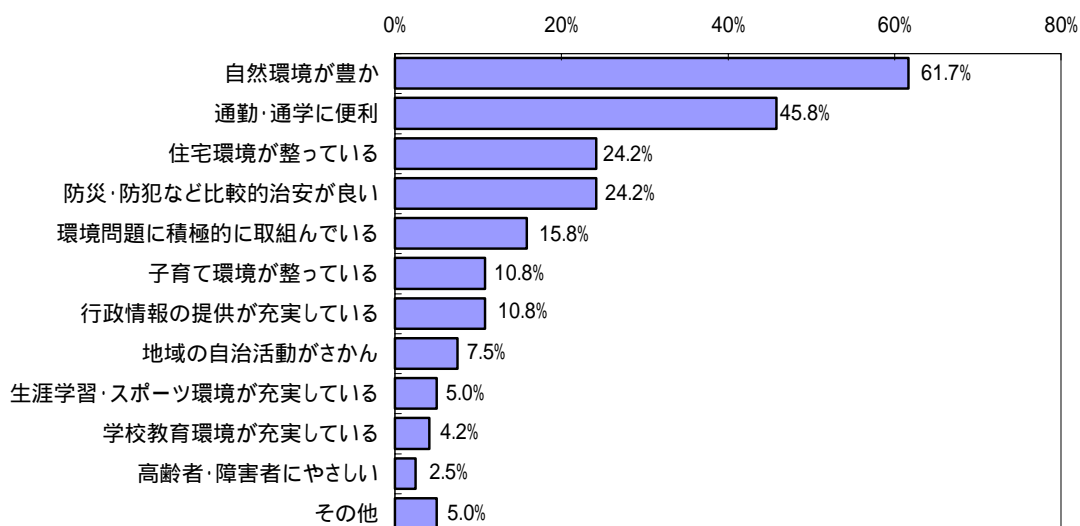
(3) 年齢別クロス集計 問 8 「住み心地が良い点」

高根沢町に対する住み心地が良い点は、各年代とも「自然環境が豊か」が第 1 位回答であり、次いで「通勤・通学に便利」「防災・防犯など比較的治安が良い」であった。

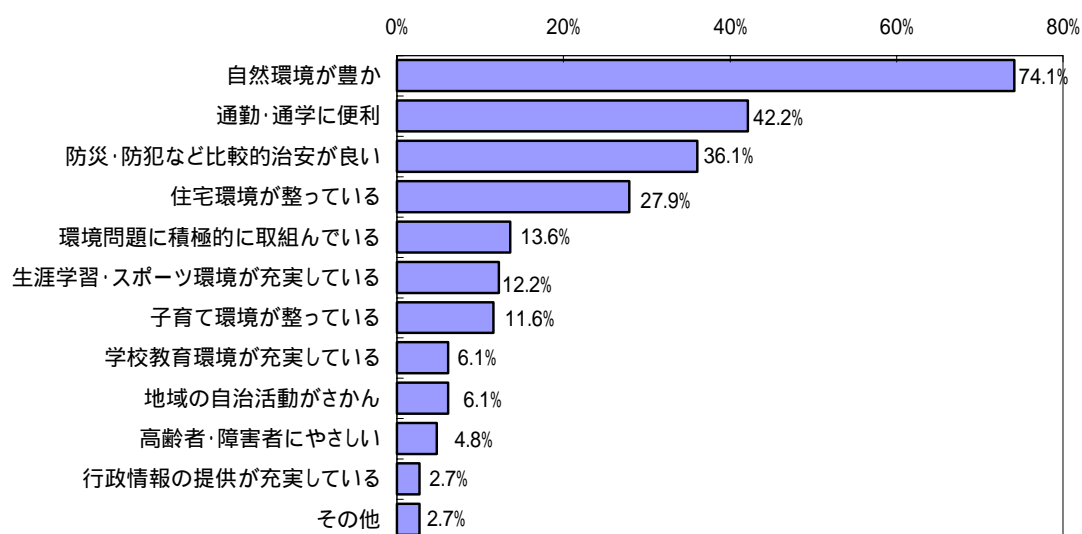
20 歳代



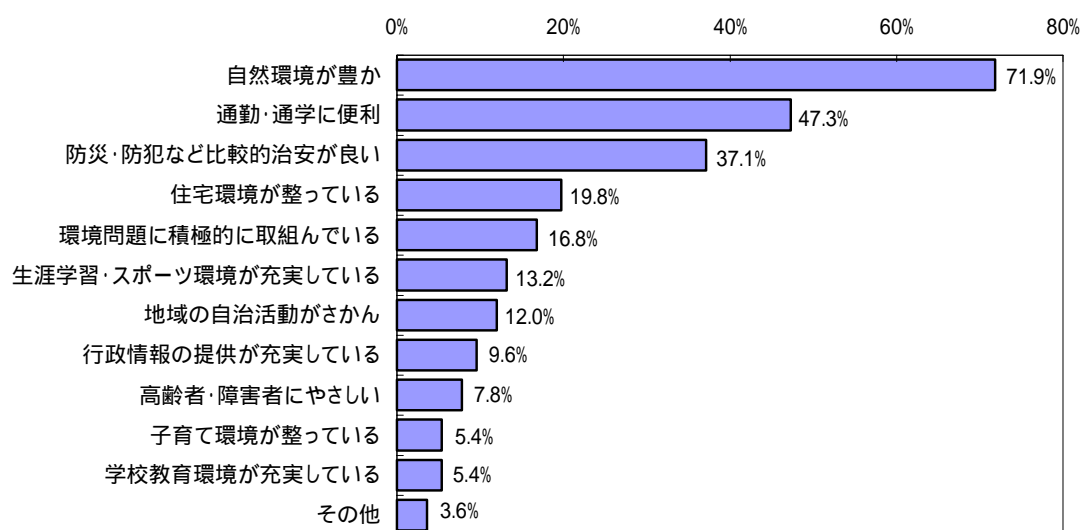
30 歳代



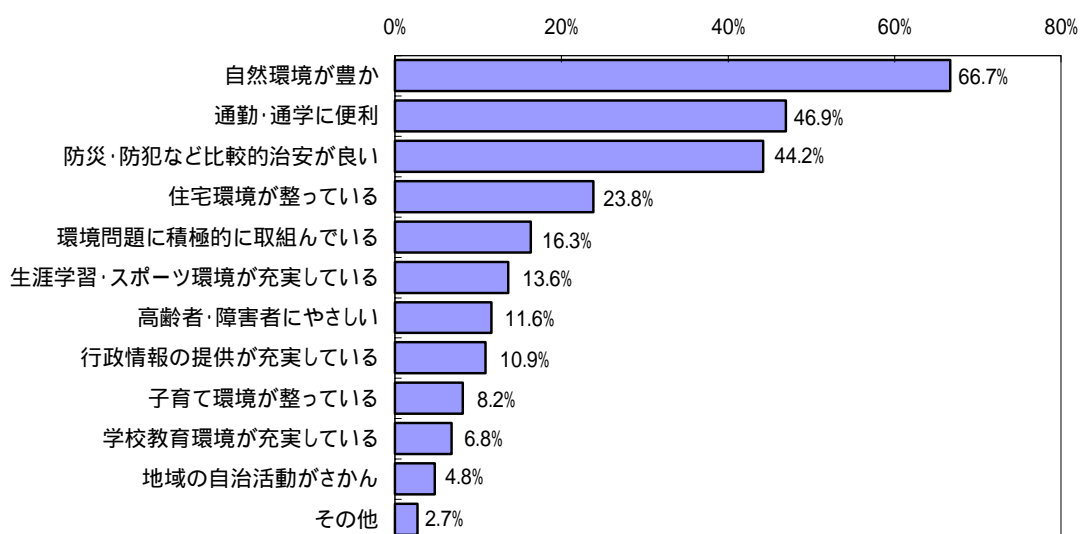
40歳代



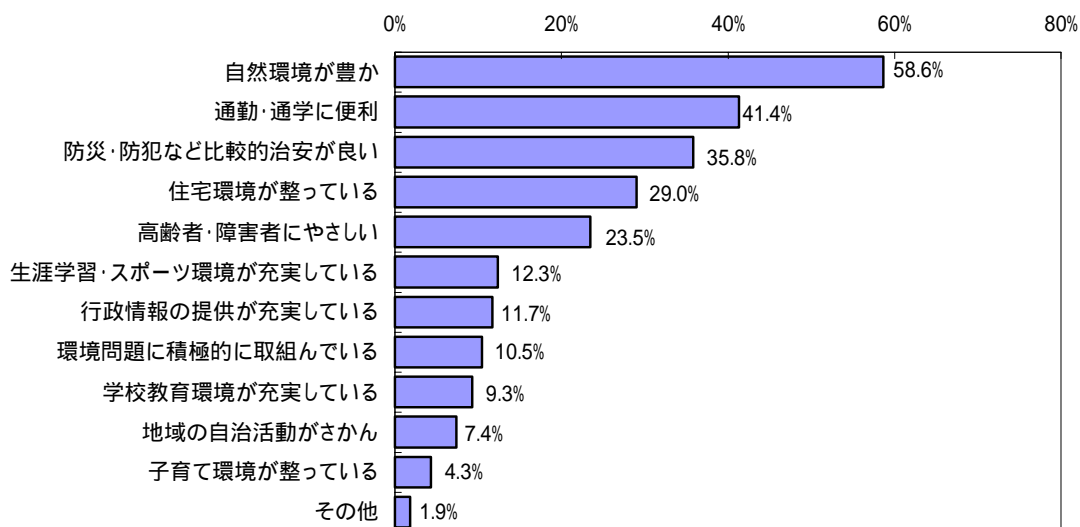
50歳代



60歳代



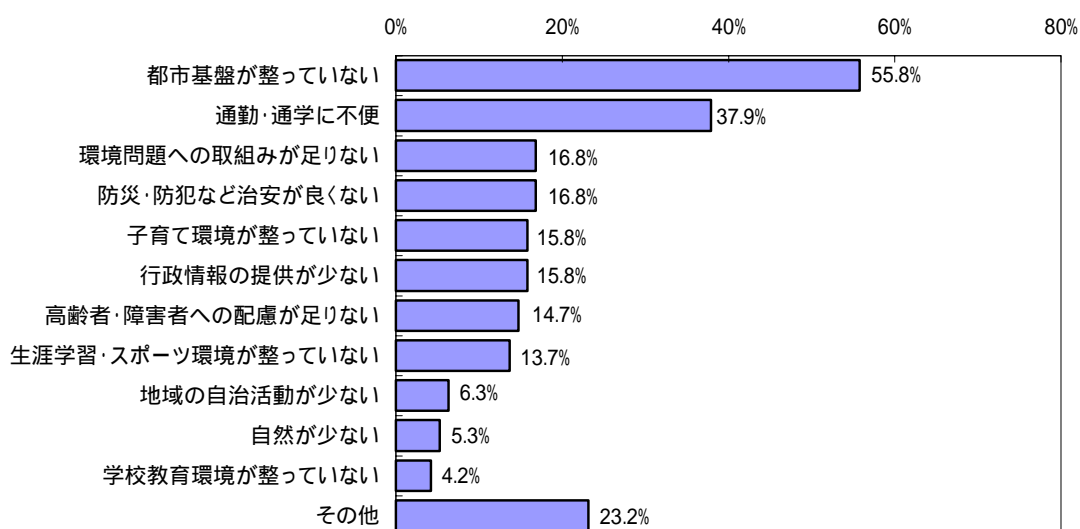
70歳以上



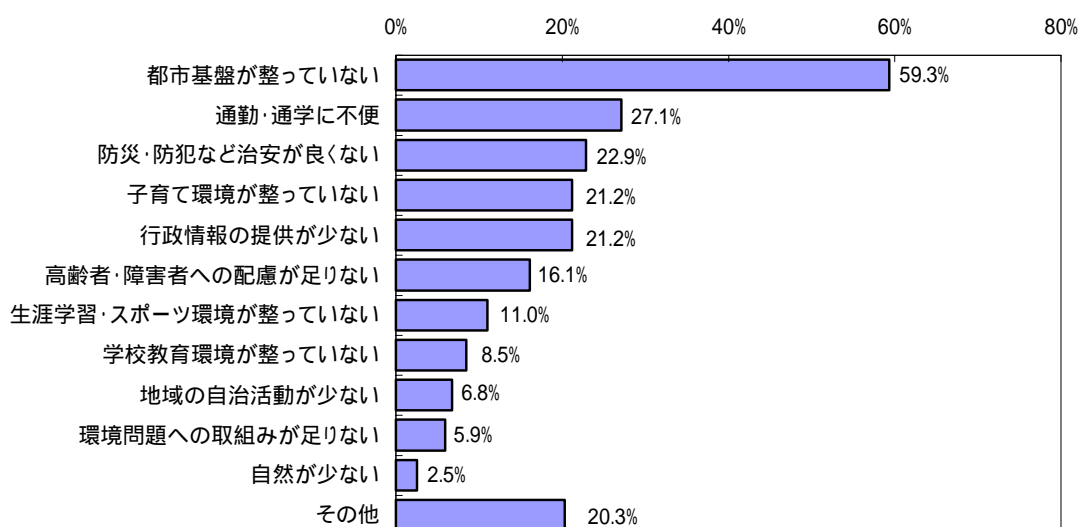
(4) 年齢別クロス集計 問 9 「住み心地が悪い点」

住み心地が悪い点は、どの年代も「都市基盤が整っていない」が第1位回答であった。第2位回答は「20歳代」「30歳代」「40歳代」では「通勤・通学に不便」、「50歳代」では「行政情報の提供が少ない」、「60歳代」「70歳以上」では「高齢者・障害者への配慮が足りない」と、年代によって差異が見られた。

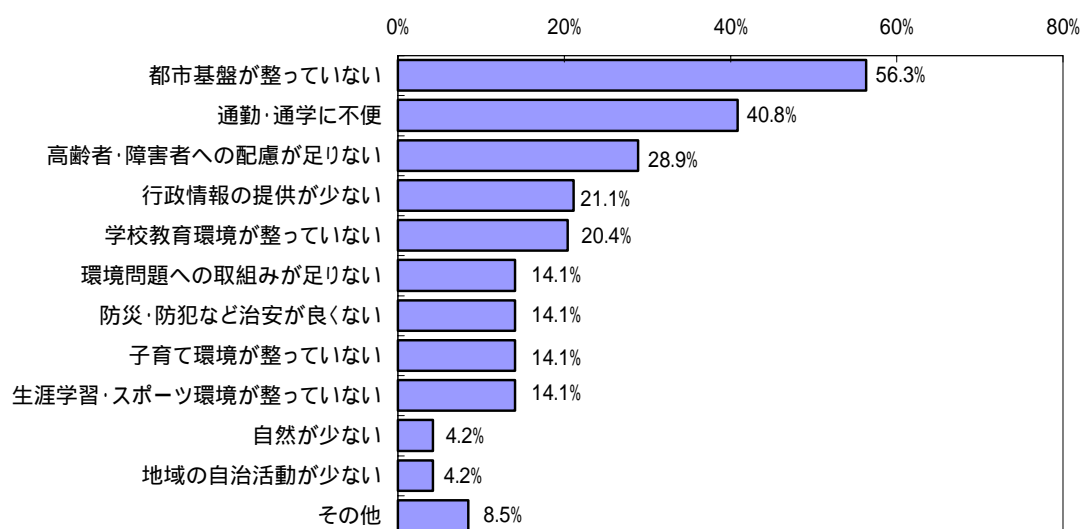
20歳代



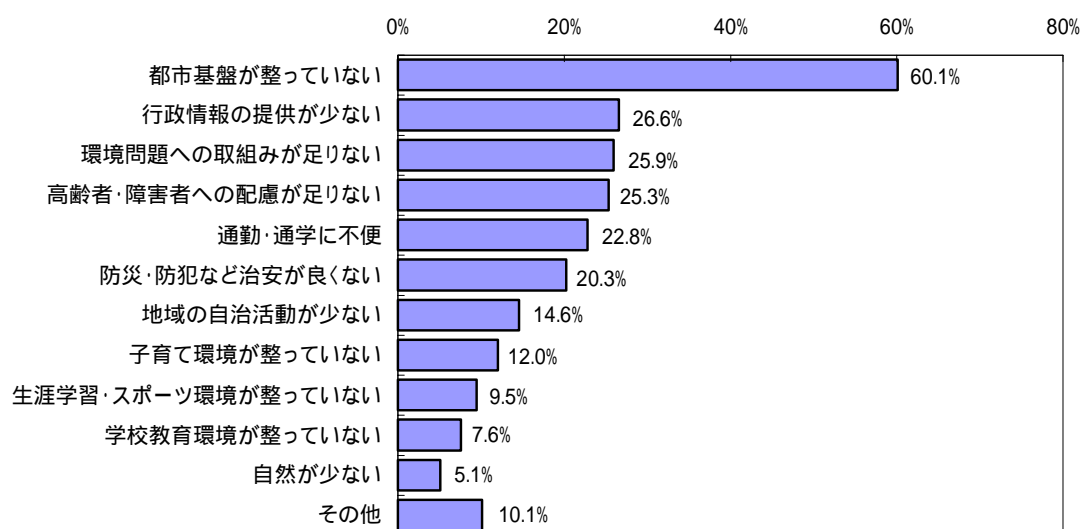
30歳代



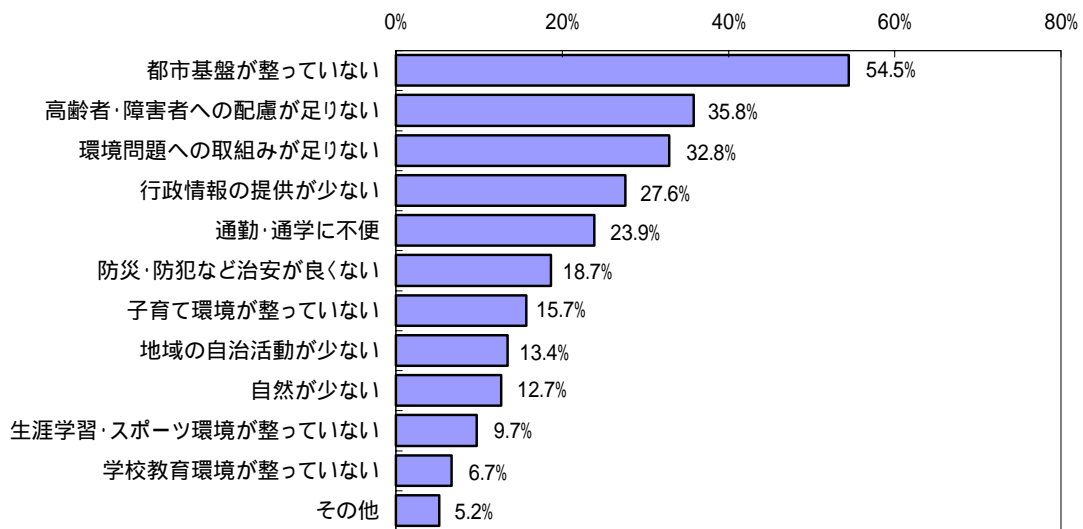
40歳代



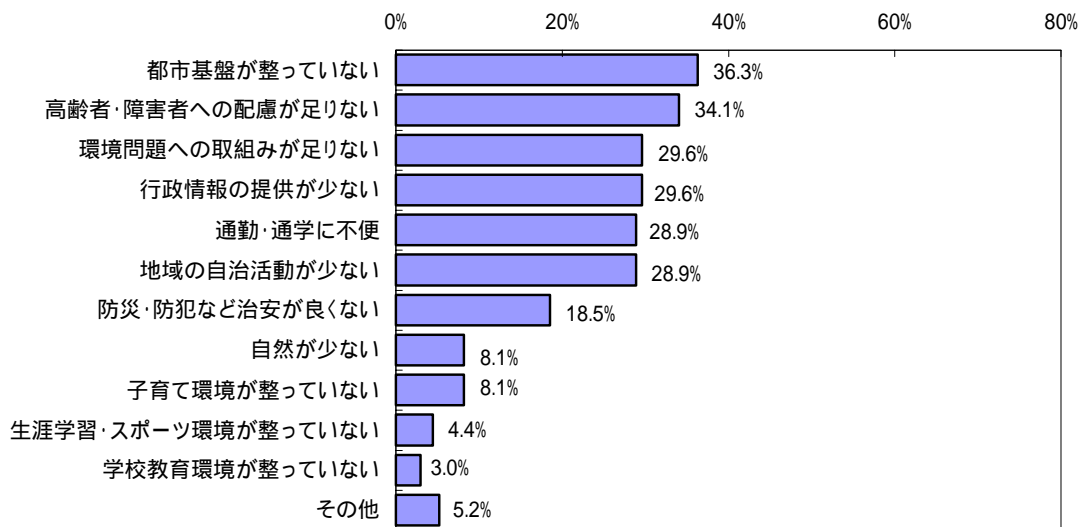
50歳代



60歳代



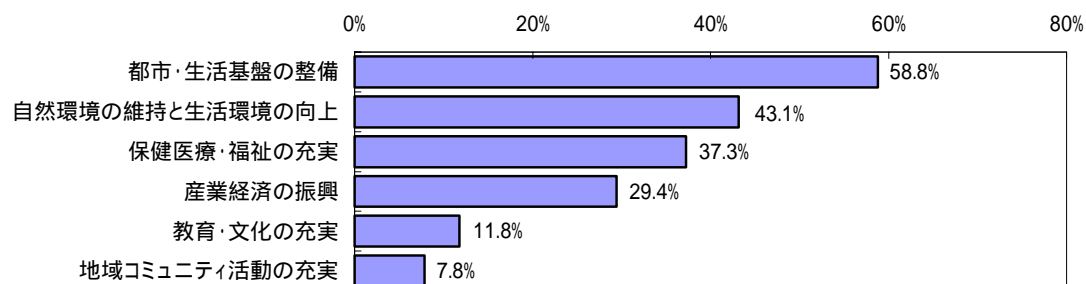
70歳以上



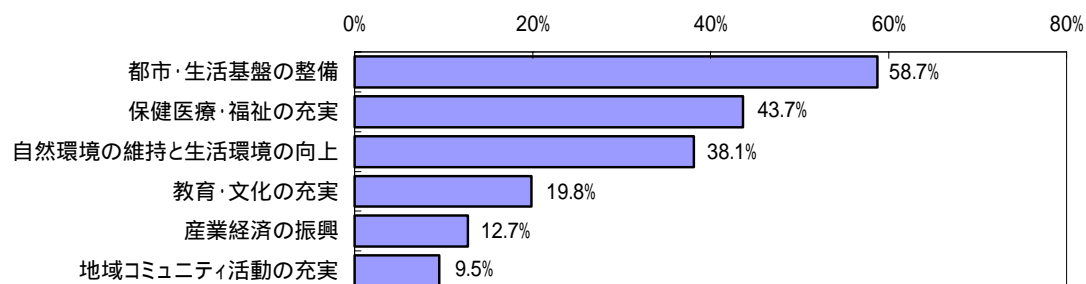
(5) 年齢別クロス集計 問 1 0 「今後優先すべき分野」

「 2 0 歳代」から「 5 0 歳代」までは、「都市・生活基盤の整備」が第 1 位回答であり、「 6 0 歳代」以上は「保健医療・福祉の充実」が第 1 位回答であった。これらの 2 つの選択肢が第 1 位、第 2 位回答を占めたが、「 2 0 歳代」だけは第 2 位回答が「自然環境の維持と生活環境の向上」であった。

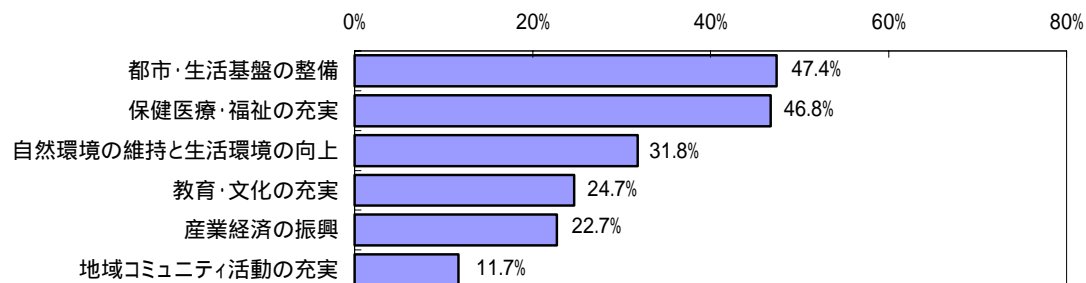
2 0 歳代



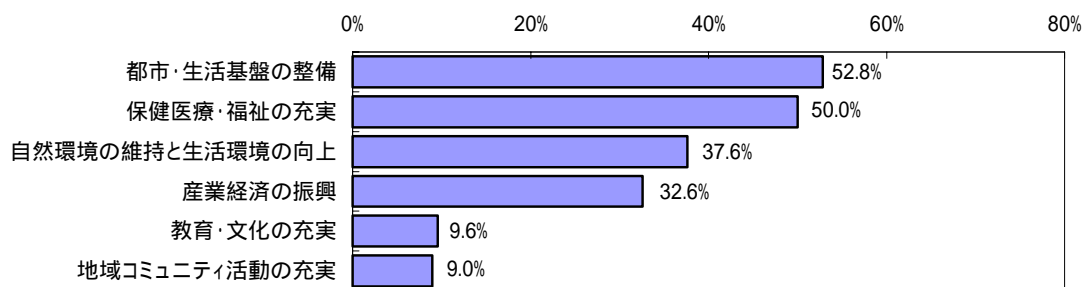
3 0 歳代



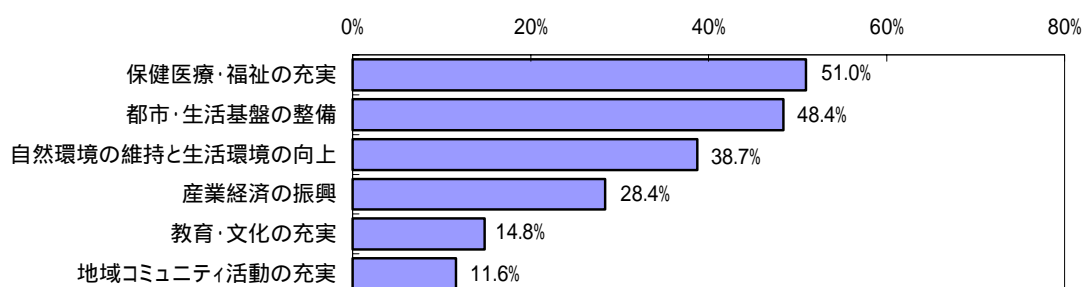
4 0 歳代



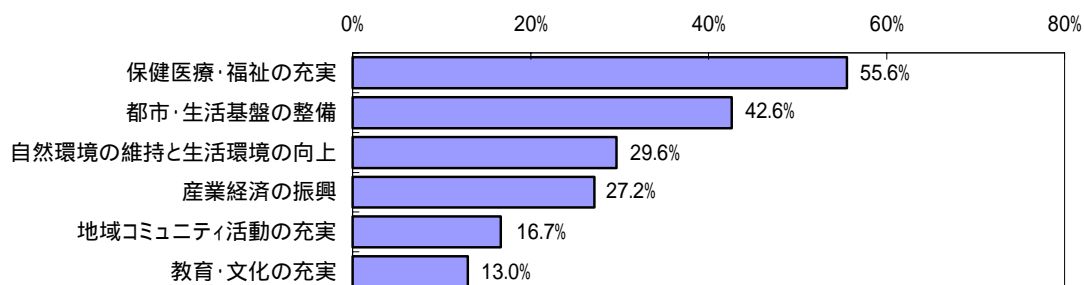
50歳代



60歳代



70歳以上



（６）年齢別クロス集計 問１１「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。６分野の年齢別「施策の優先度」は下記の結果となった。

都市・生活基盤の整備（項目１～５）

都市・生活基盤の整備の５項目は、「２０歳代」「３０歳代」「５０歳代」「７０歳以上」では「５.汚水処理の充実」「１.計画的な市街地整備」「４.良質な水道水の供給」の順番で優先度が高かった。

「４０歳代」「６０歳代」は「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」「１.計画的な市街地整備」の順番で優先度が高く、年齢による差異が見られた。

なお、「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」の割合は、「６０歳代」が他の年齢に比べて大きく上回った。

自然環境の維持と生活環境の向上（項目６～１０）

自然環境の維持と生活環境の向上の５項目は、「２０歳代」「３０歳代」「６０歳代」「７０歳以上」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「７.リサイクルの推進」の順番で優先度が高かった。

「４０歳代」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「６.自然環境の保護」の順番で優先度が高かった。また、「５０歳代」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「７.リサイクルの推進」「９.防災機能の向上」の順番で優先度が高く、年齢による差異が見られた。

なお、「１０.防犯・交通安全対策の充実」の割合は、「６０歳代」と「７０歳以上」が他の年齢に比べて大きく上回った。

保健医療・福祉の充実（項目１１～１５）

保健医療・福祉の充実の５項目は、「２０歳代」では「１４.子育て支援策の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」の順番、「３０歳代」では「１４.子育て支援策の充実」「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１３.障害者福祉の充実」の順番、「４０歳代」と「７０歳以上」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１４.子育て支援策の充実」の順番で優先度が高かった。

また、「５０歳代」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１４.子育て支援策の充実」「１１.健康づくりの推進」の順番、「６０歳代」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１１.健康づくりの推進」「１４.子育て支援策の充実」の順番で優先度が高く、年齢に応じて優先度は異なった。

「30歳代」では「14.子育て支援策の充実」の割合が他の年齢に比べて最も高く、逆に「11.健康づくりの推進」の割合は最も低かった。「60歳代」と「70歳以上」は、「12.高齢者福祉・介護支援の充実」をはじめとして、全項目とも優先度が高かった。

この「保健医療・福祉の充実」分野の平均優先度は、他の分野に比べて、「30歳代」を除く全ての年代でも最も高かった。

教育・文化の充実（項目16～20）

教育・文化の充実の5項目は、「20歳代」では「17.健全な青少年の育成」「16.学校教育・教育環境の充実」「20.生涯スポーツの充実」の順番、「30歳代」と「40歳代」では「16.学校教育・教育環境の充実」「17.健全な青少年の育成」「18.生涯学習の充実」の順番、「50歳代」「60歳代」「70歳以上」では「17.健全な青少年の育成」「16.学校教育・教育環境の充実」「18.生涯学習の充実」の順番で優先度が高かった。

なお、各年代とも、「16.学校教育・教育環境の充実」「17.健全な青少年の育成」の優先度は他の項目を大きく上回った。

産業経済の振興（項目21～25）

産業経済の振興の5項目は、「20歳代」では「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「21.農林業振興」の順番、「30歳代」では「23.商業振興」「25.雇用機会の提供」「21.農林業振興」の順番で優先度が高かった。「40歳代」「50歳代」「60歳代」では「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「22.工業振興」の順番、「70歳以上」では「25.雇用機会の提供」「21.農林業振興」「22.工業振興」の順番で優先度が高かった。

「20歳代」「30歳代」では「22.工業振興」の優先度は低く、「50歳代」以降の年代で高くなった。

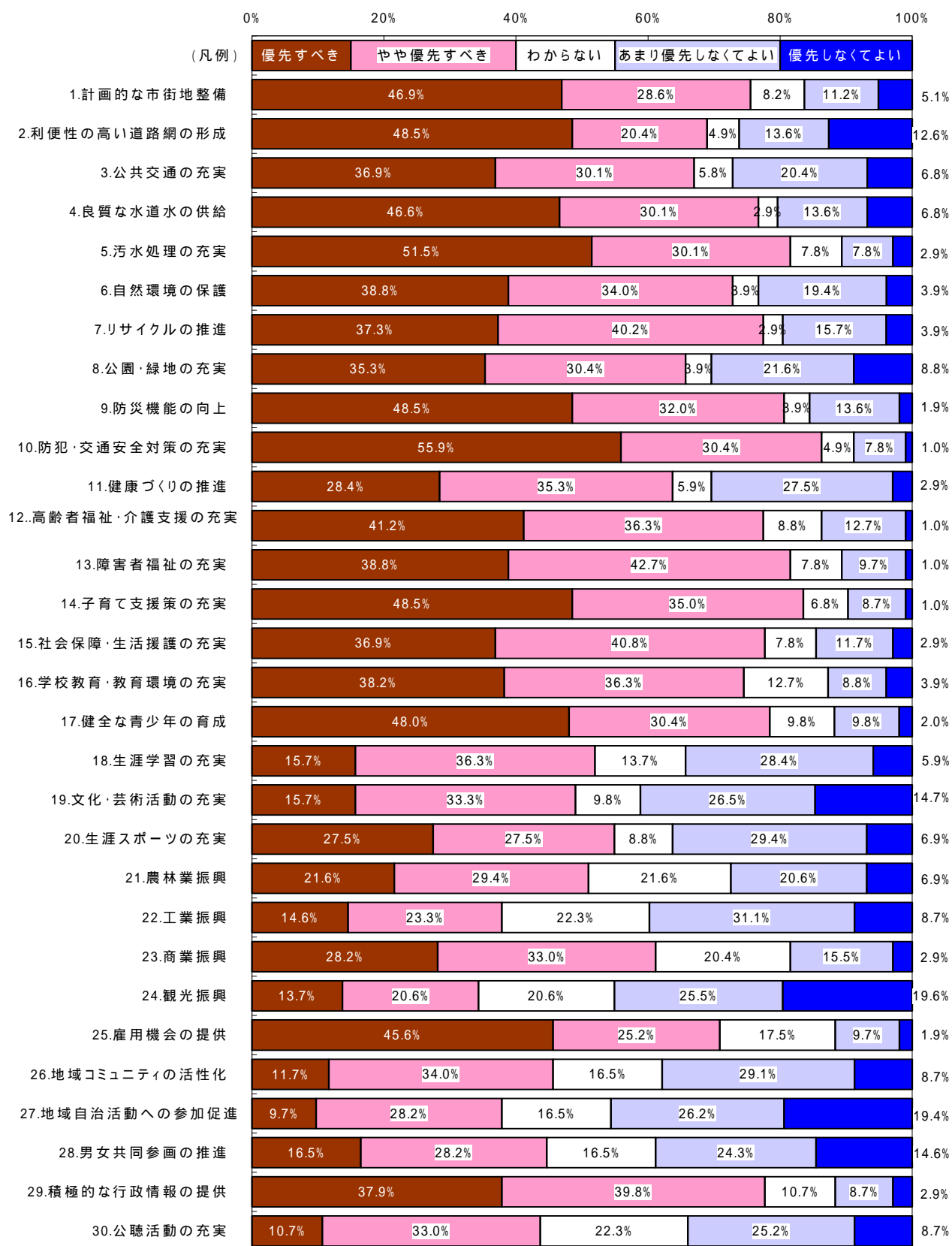
地域コミュニティ活動の充実（項目26～30）

地域コミュニティ活動の充実の5項目は、「20歳代」と「40歳代」では「29.積極的な行政情報の提供」「30.公聴活動の充実」「26.地域コミュニティの活性化」の順番で優先度が高かった。「30歳代」「50歳代」「60歳代」では「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「30.公聴活動の充実」の順番、「70歳以上」は「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「27.地域自治活動への参加促進」の順番で優先度が高かった。

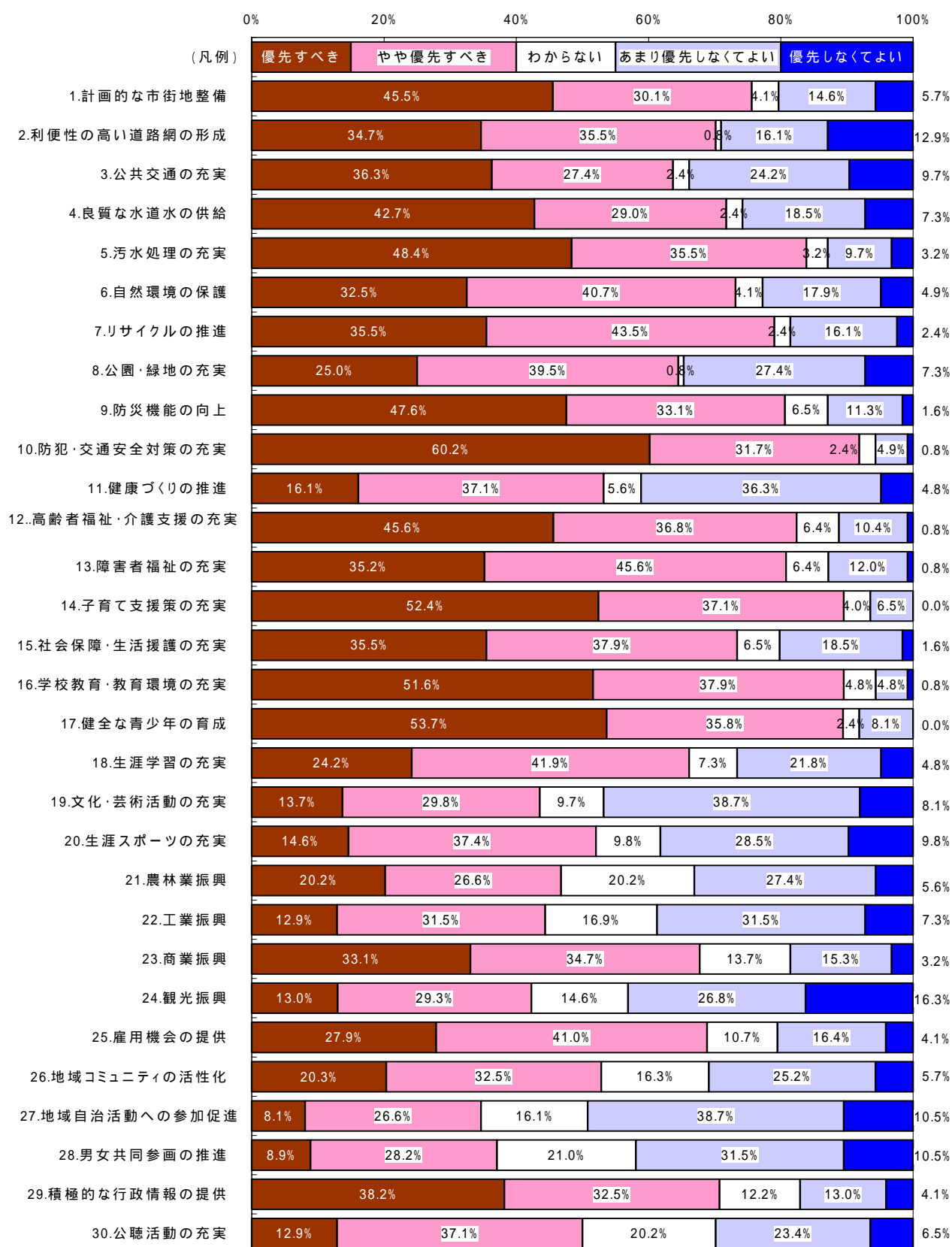
「30歳代」「40歳代」では、「27.地域自治活動への参加促進」「28.男女共同参画の推進」の優先度が他の項目を大きく下回り、マイナスであった。

この「地域コミュニティ活動の充実」分野の平均優先度は、どの年代も他の分野に比べて最も低かった。

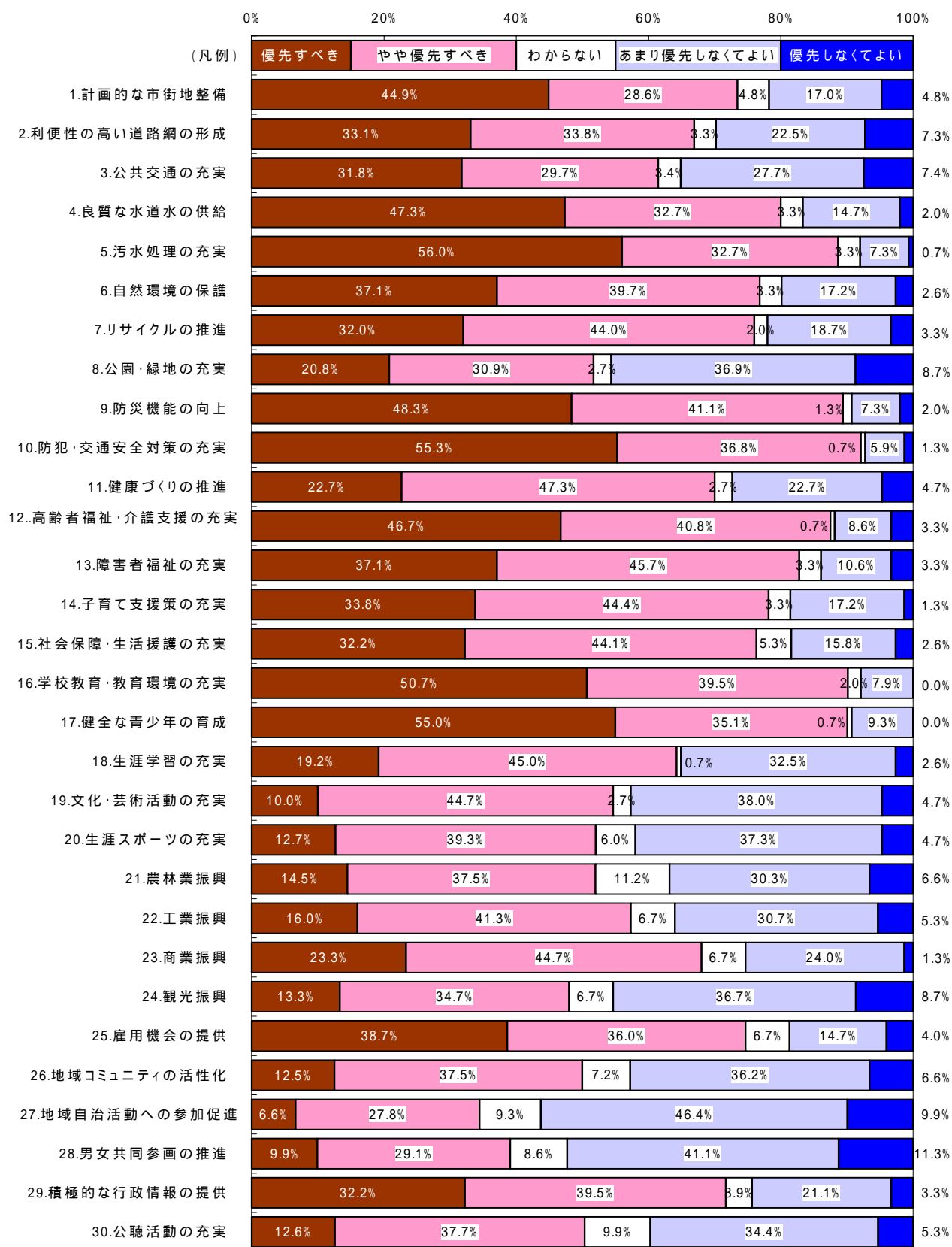
20歳代の「施策の優先度」



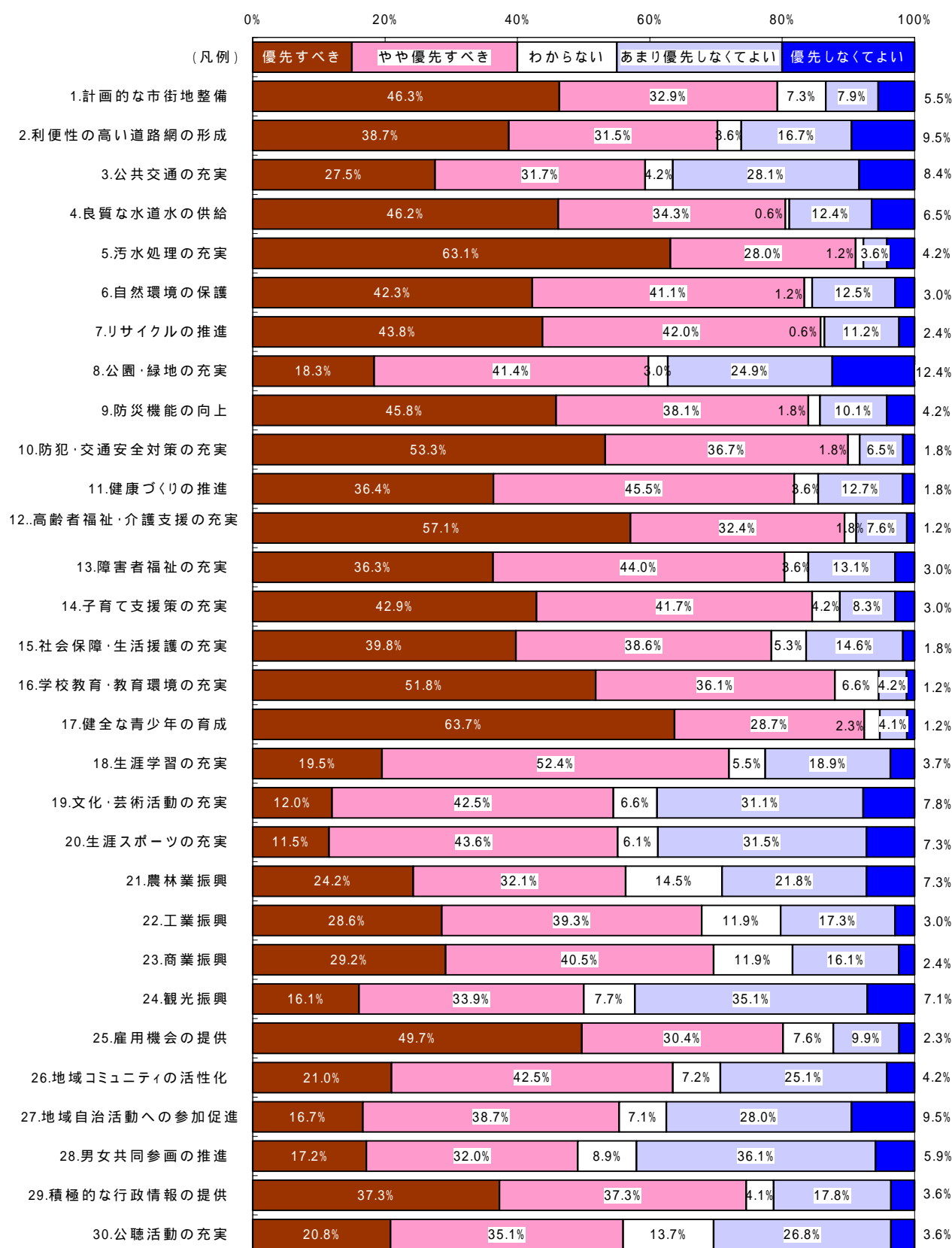
30歳代の「施策の優先度」



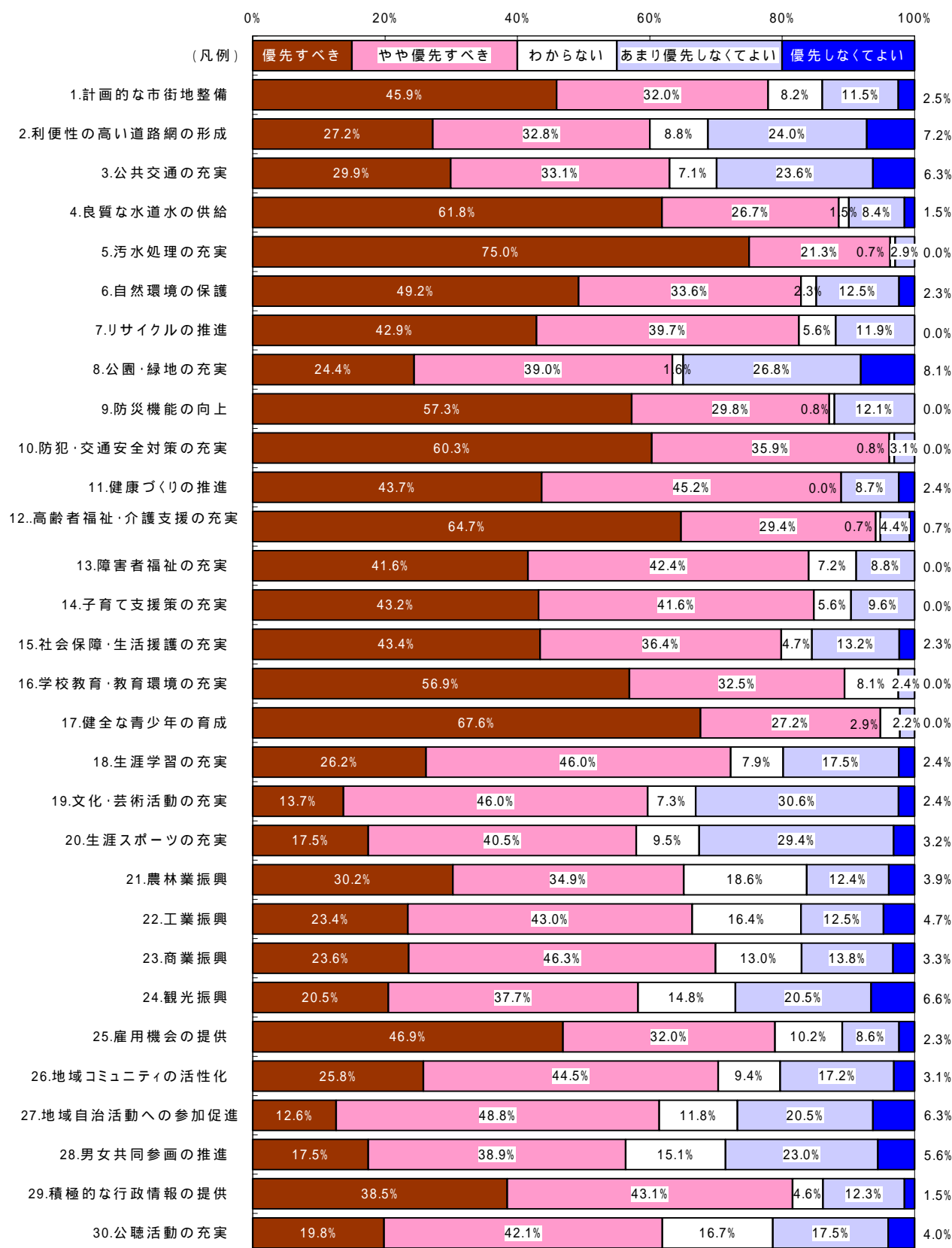
40歳代の「施策の優先度」



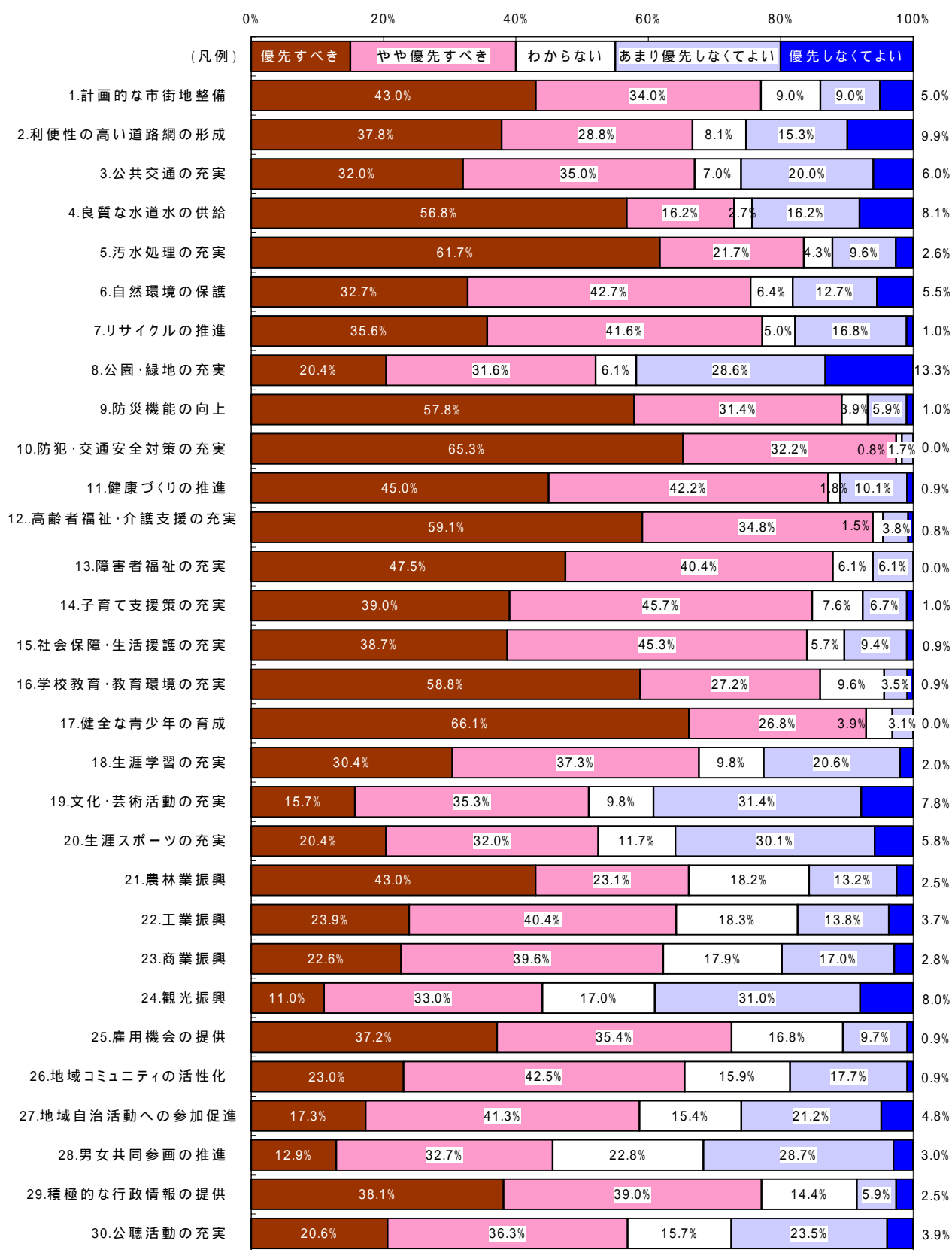
50歳代の「施策の優先度」



60歳代の「施策の優先度」



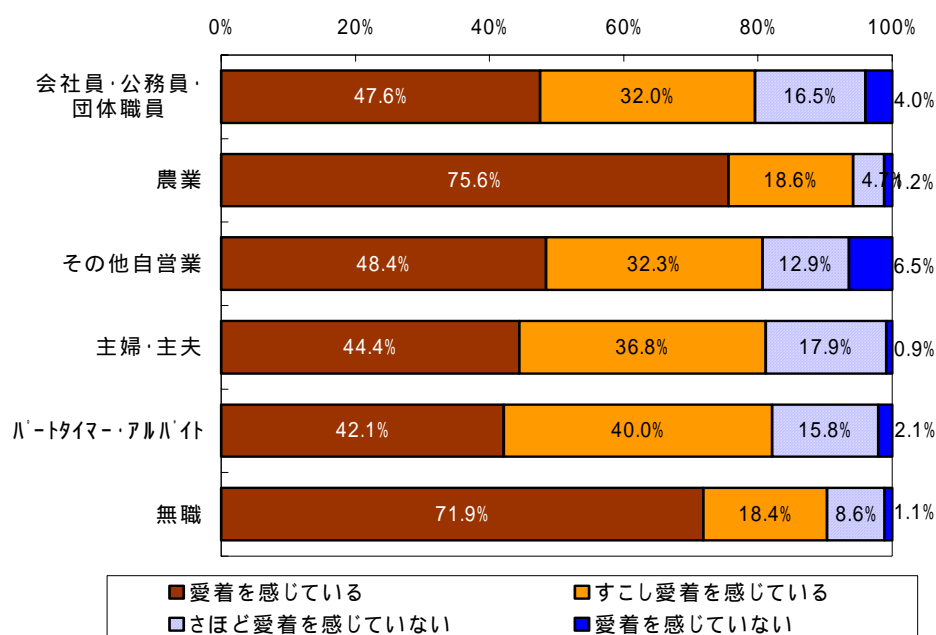
70歳以上の「施策の優先度」



第6章 職業別クロス集計結果

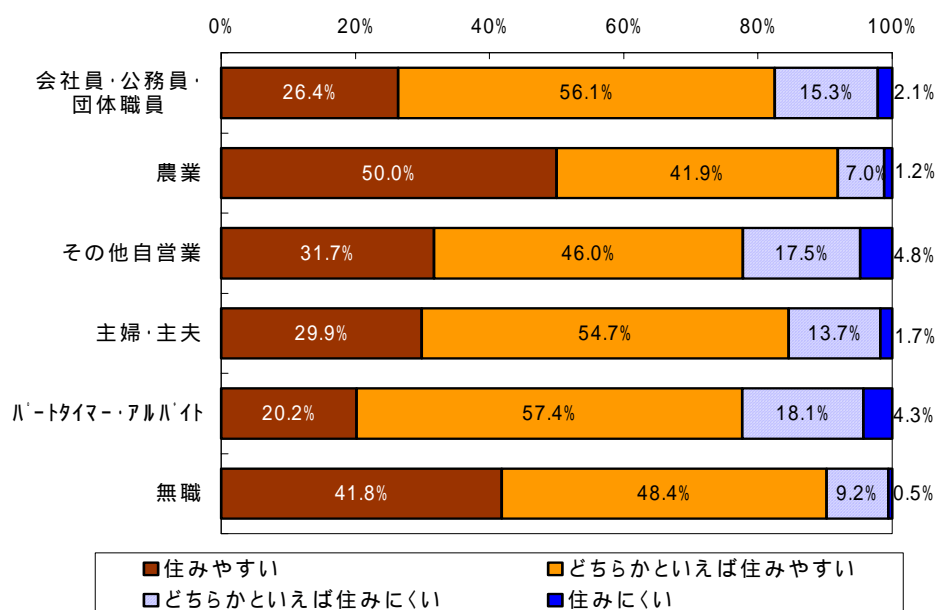
(1) 職業別クロス集計 問6「高根沢町に対する愛着」

「農業」「無職」は他の職業に比べて、「愛着を感じている」割合が高く、ともに7割を超えた。「すこし愛着を感じている」を加えた肯定的回答は、9割を超えた。



(2) 職業別クロス集計 問7「高根沢町の住み心地」

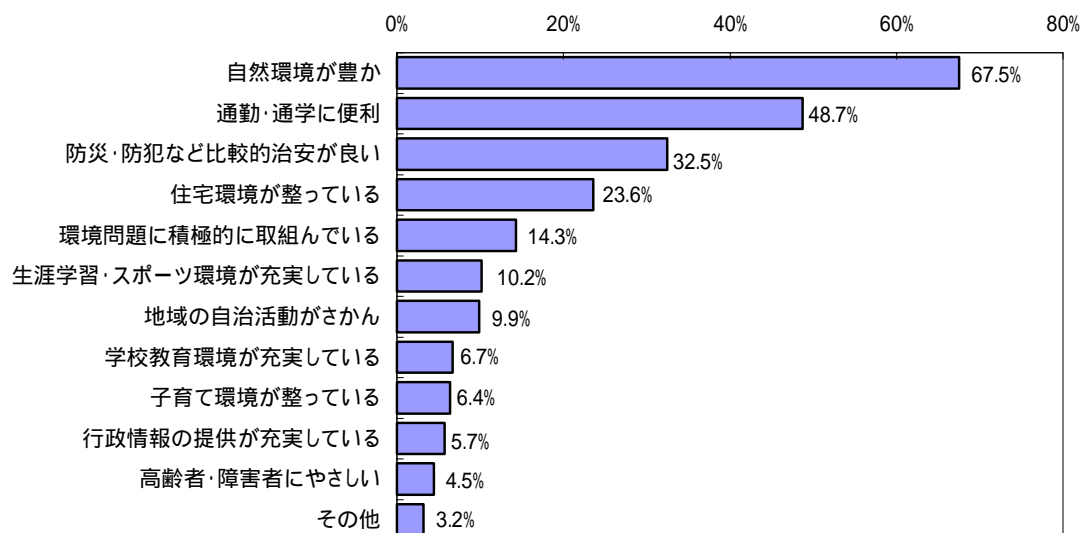
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた肯定的な回答は、「農業」「無職」では9割を超え、他の職業に比べて高かった。



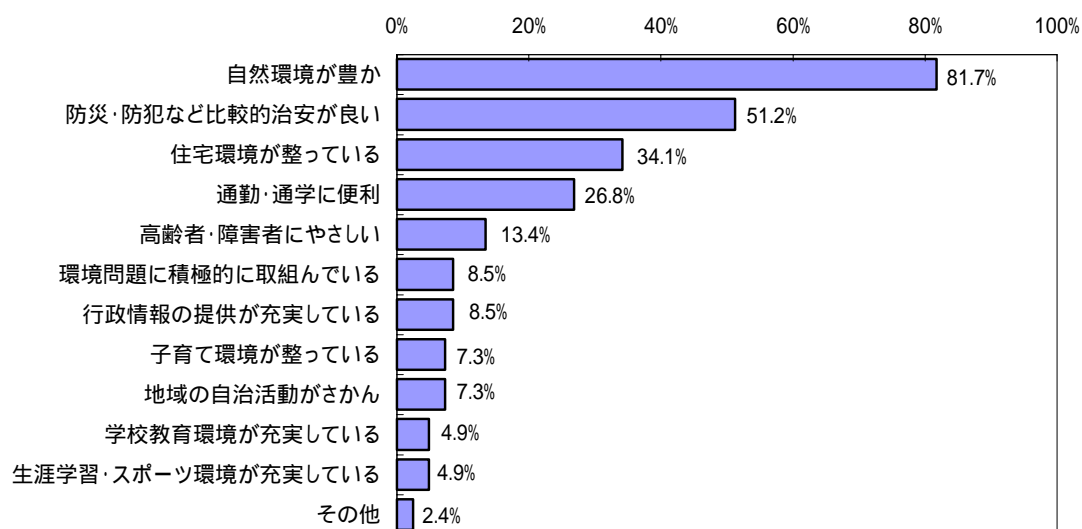
(3) 職業別クロス集計 問8「住み心地が良い点」

高根沢町に対する住み心地が良い点は、いずれの職業も「自然環境が豊か」が第1位回答であった。第2位回答は、「農業」以外の職業では「通勤・通学に便利」であり、「農業」だけが「防災・防犯など比較的治安が良い」であった。

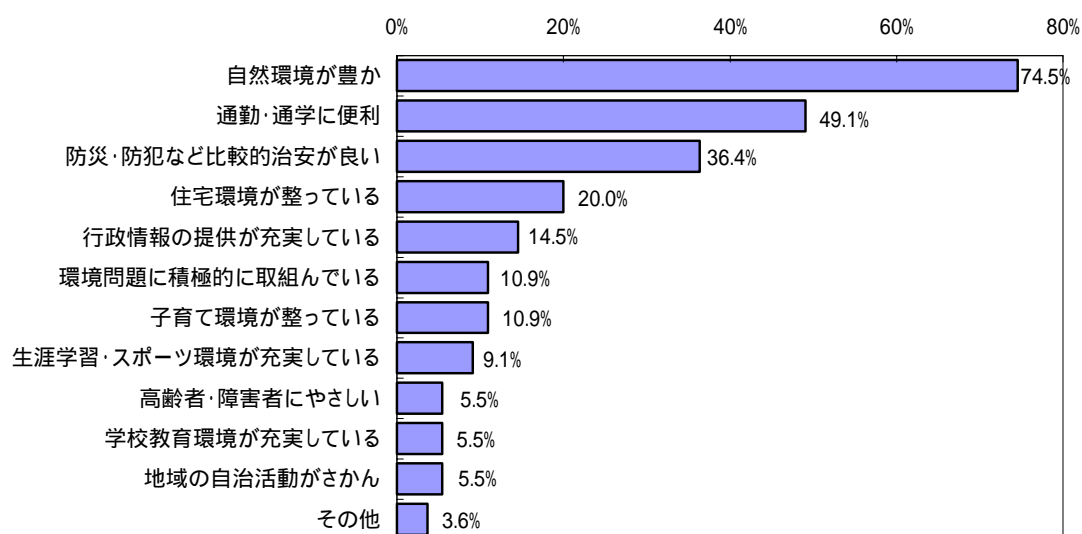
会社員・公務員・団体職員



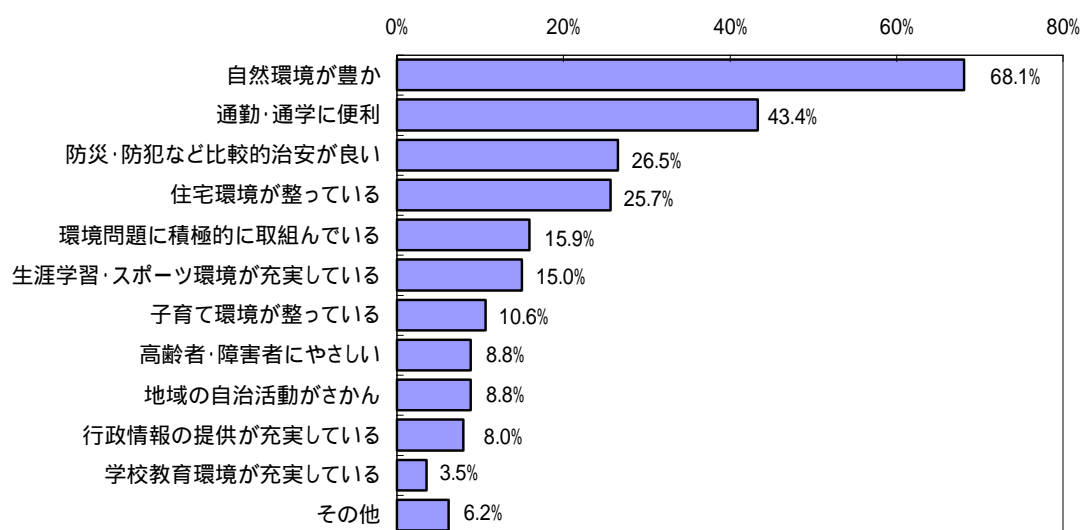
農業



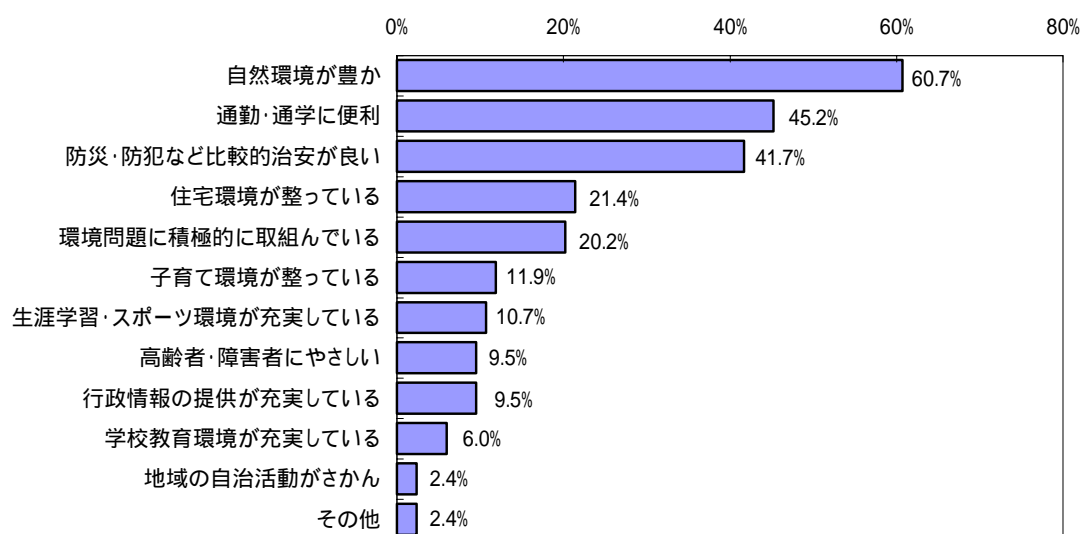
その他自営業



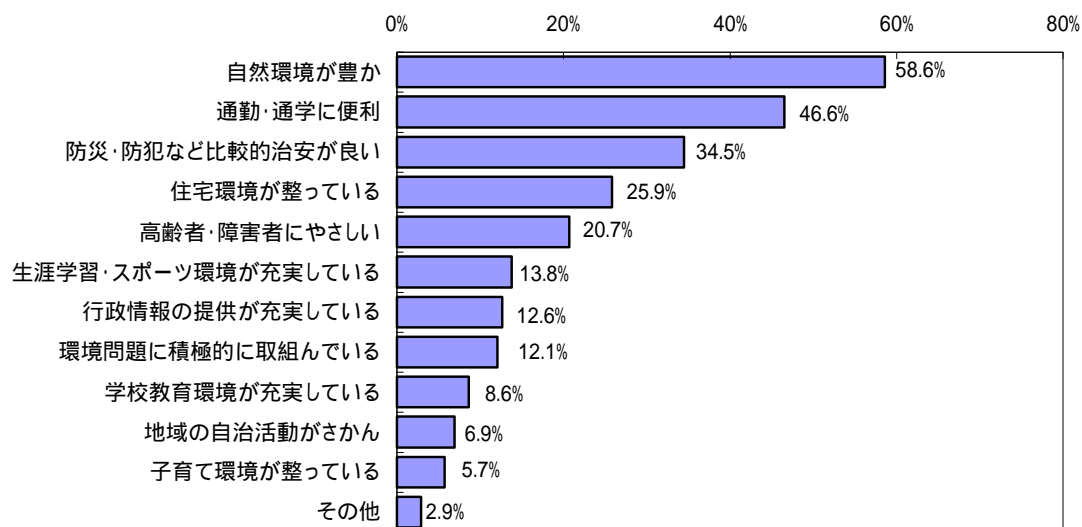
主婦・主夫



パートタイマー・アルバイト



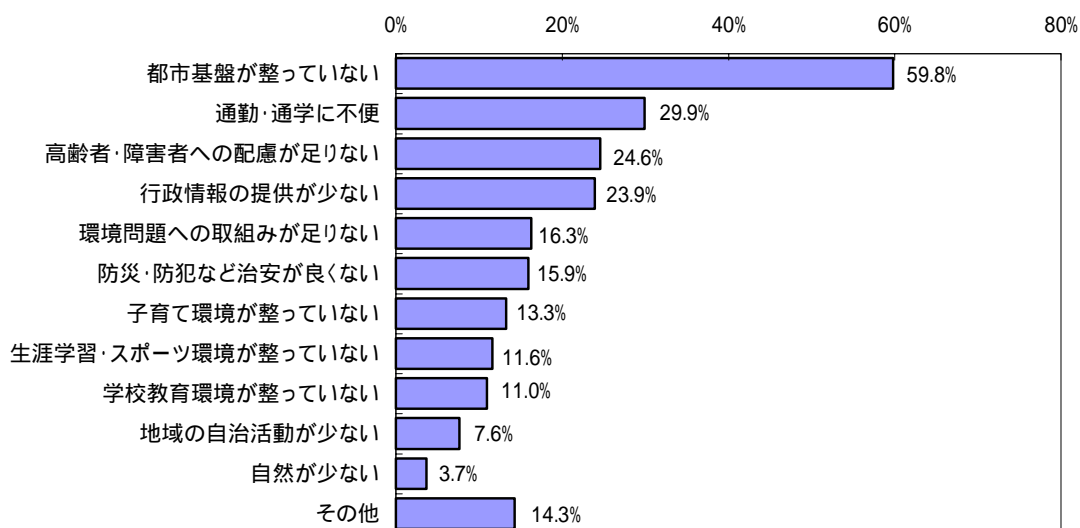
無職



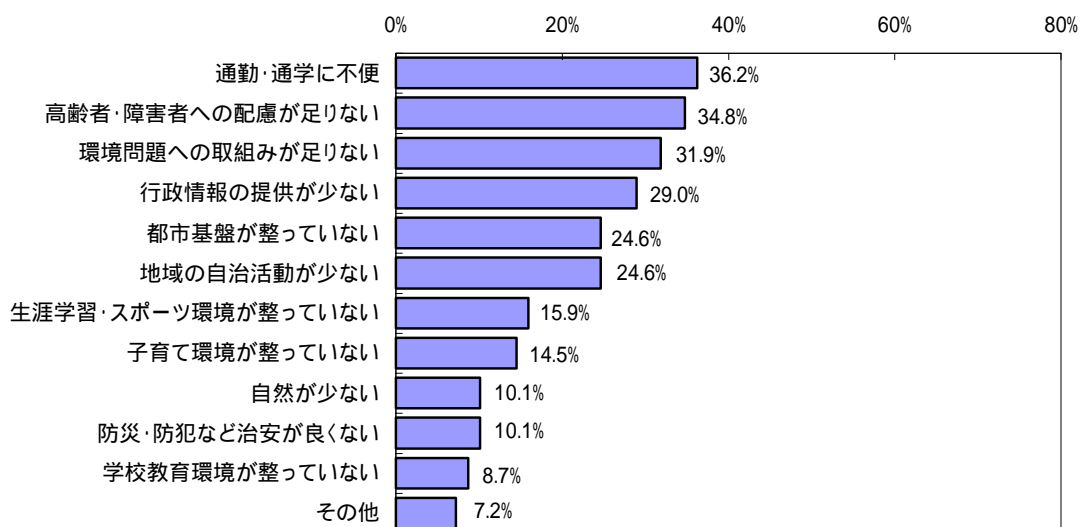
(4) 職業別クロス集計 問9「住み心地が悪い点」

住み心地が悪い点は、「農業」以外の職業では「都市基盤が整っていない」が第1位回答であった。「農業」は「通学・通勤に不便」が第1位回答であった。

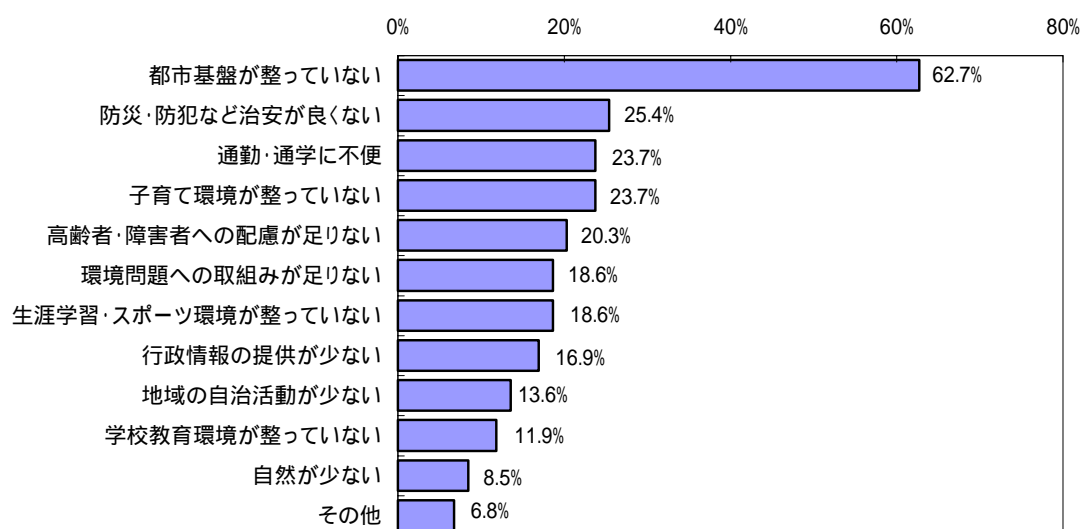
会社員・公務員・団体職員



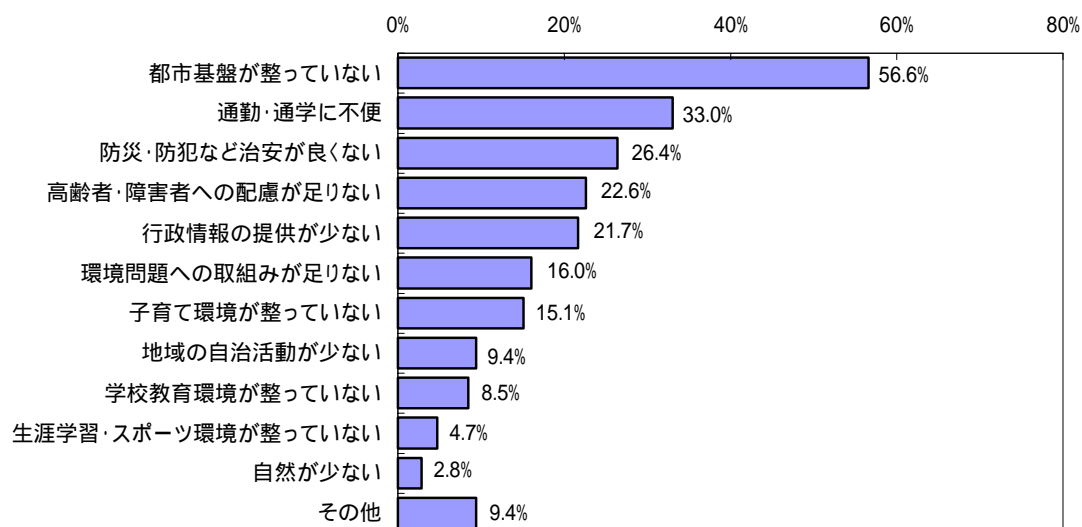
農業



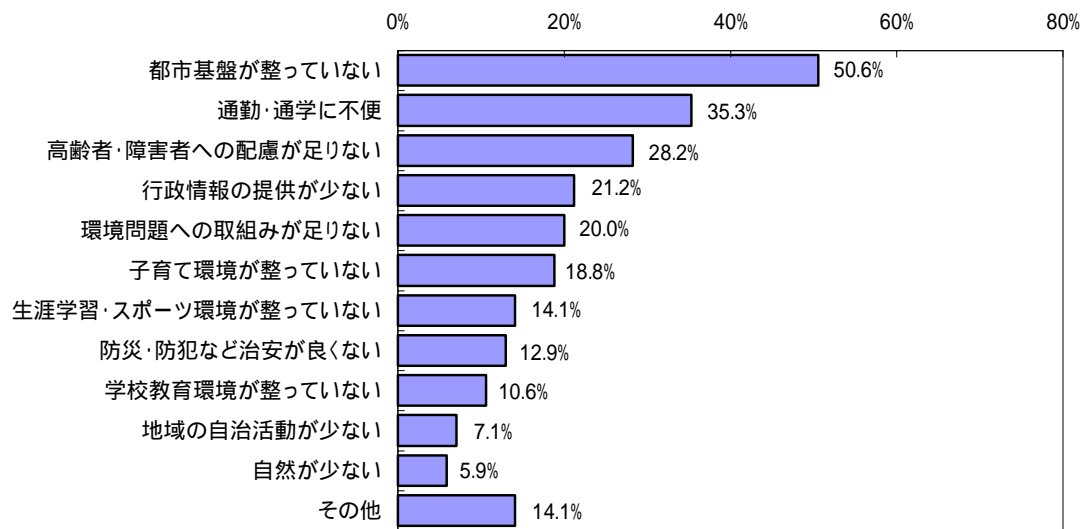
その他自営業



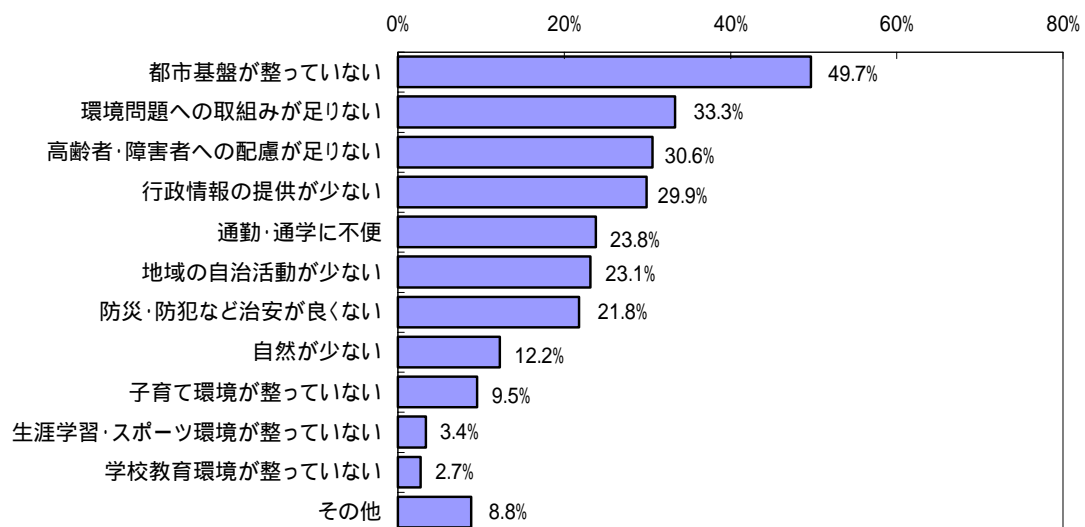
主婦・主夫



パートタイマー・アルバイト



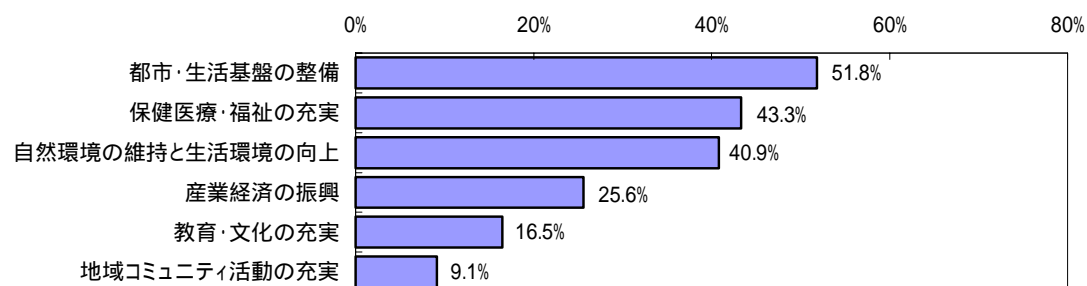
無職



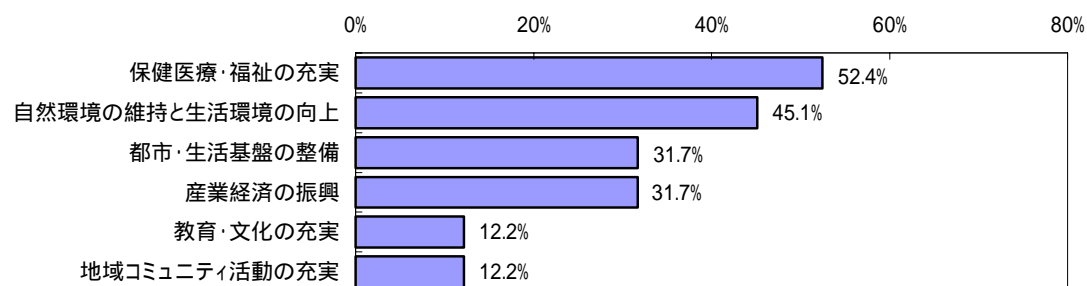
（５）職業別クロス集計 問１０「今後優先すべき分野」

「会社員・公務員・団体職員」「その他自営業」「主婦・主夫」は、「都市・生活基盤の整備」が第１位回答であった。「農業」「パートタイマー・アルバイト」「無職」は、「保健医療・福祉の充実」が第１位回答であった。

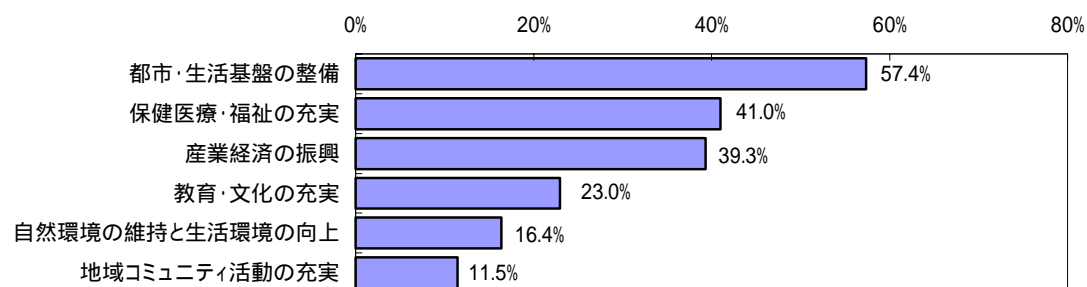
会社員・公務員・団体職員



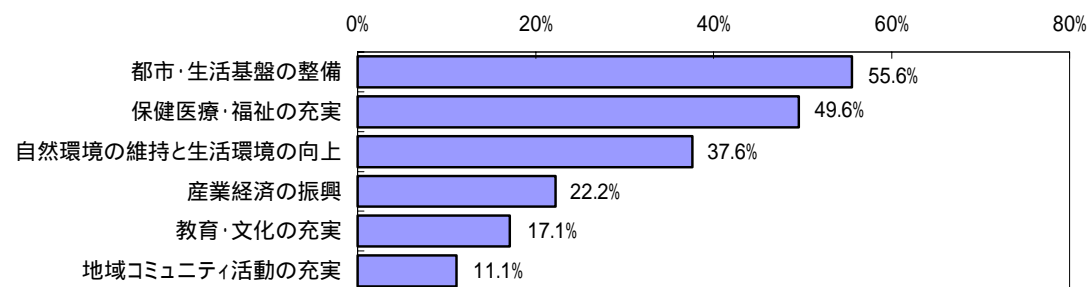
農業



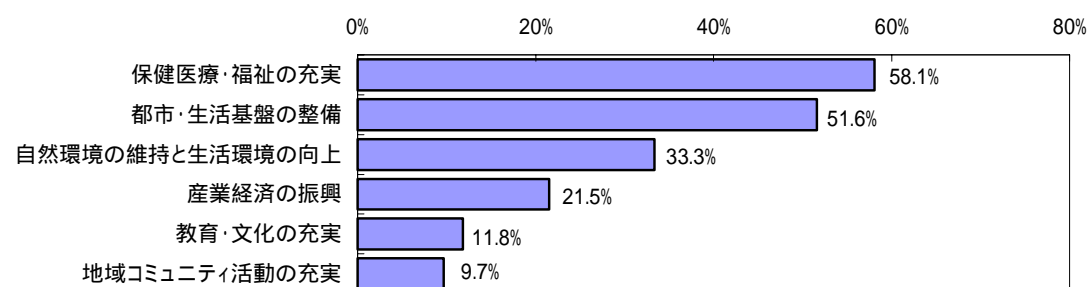
その他自営業



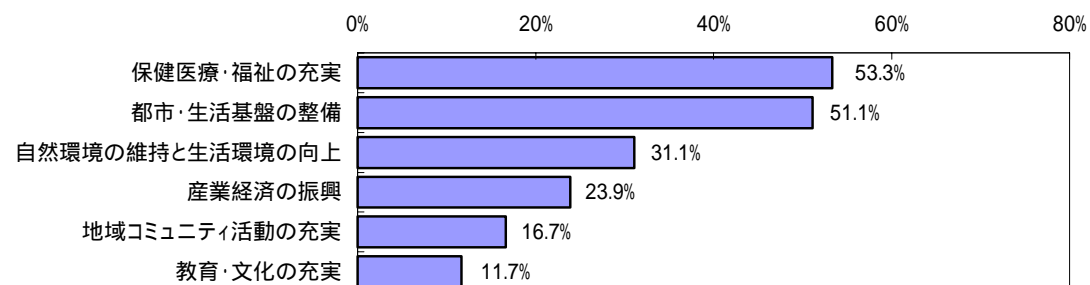
主婦・主夫



パートタイマー・アルバイト



無職



（６）職業別クロス集計 問１１「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。６分野の職業別「施策の優先度」は下記の結果となった。

都市・生活基盤の整備（項目１～５）

都市・生活基盤の整備の５項目は、「会社員・公務員・団体職員」と「その他自営業」では「５.汚水処理の充実」「１.計画的な市街地整備」「４.良質な水道水の供給」の順番で優先度が高かった。

「農業」「主婦・主夫」「無職」では「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」「１.計画的な市街地整備」の順番、「パートタイマー・アルバイト」では「４.良質な水道水の供給」「５.汚水処理の充実」「１.計画的な市街地整備」の順番で優先度が高く、職業による差異が見られた。

自然環境の維持と生活環境の向上（項目６～１０）

自然環境の維持と生活環境の向上の５項目は、「会社員・公務員・団体職員」、「主婦・主夫」、「パートタイマー・アルバイト」、「無職」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「７.リサイクルの推進」の順番で優先度が高かった。

「農業」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「６.自然環境の保護」の順番、「その他自営業」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「６.自然環境の保護」「７.リサイクルの推進」の順番で優先度が高く、職業による差異が見られた。

なお、「８.公園・緑地の充実」の割合は、「農業」「その他自営業」では他の職業に比べて大きく下回った。

保健医療・福祉の充実（項目１１～１５）

保健医療・福祉の充実の５項目は、「会社員・公務員・団体職員」と「主婦・主夫」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１４.子育て支援策の充実」「１３.障害者福祉の充実」の順番、「農業」では「１４.子育て支援策の充実」「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１１.健康づくりの推進」の順番で優先度が高かった。

「その他自営業」では「１４.子育て支援策の充実」「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１３.障害者福祉の充実」の順番、「パートタイマー・アルバイト」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１４.子育て支援策の充実」の順番、「無職」は「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１１.健康づくりの推進」の順番で優先度が高く、職業による差異が見られた。

この「保健医療・福祉の充実」分野の平均優先度は、全ての職業で他の分野に比べて最

も高かった。

教育・文化の充実（項目 16 ～ 20）

教育・文化の充実の 5 項目は、「パートタイマー・アルバイト」を除く全ての職業では「17.健全な青少年の育成」「16.学校教育・教育環境の充実」「18.生涯学習の充実」の順番で優先度が高かった。「パートタイマー・アルバイト」は、「16.学校教育・教育環境の充実」「17.健全な青少年の育成」「18.生涯学習の充実」の順番で優先度が高かった。

なお、各職業とも、「19.文化・芸術活動の充実」「20.生涯スポーツの充実」の優先度は他の項目に比べて低く、「その他自営業」ではマイナス値であった。

産業経済の振興（項目 21 ～ 25）

産業経済の振興の 5 項目は、「会社員・公務員・団体職員」と「パートタイマー・アルバイト」では「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「22.工業振興」の順番、「農業」では「21.農林業振興」「22.工業振興」「25.雇用機会の提供」の順番で優先度が高かった。

「その他自営業」では「23.商業振興」「25.雇用機会の提供」「22.工業振興」の順番、「主婦・主夫」と「無職」では「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「21.農林業振興」の順番で優先度が高かった。

「農業」は、「21.農林業振興」と「22.工業振興」の両者の優先度が高かった。

地域コミュニティ活動の充実（項目 26 ～ 30）

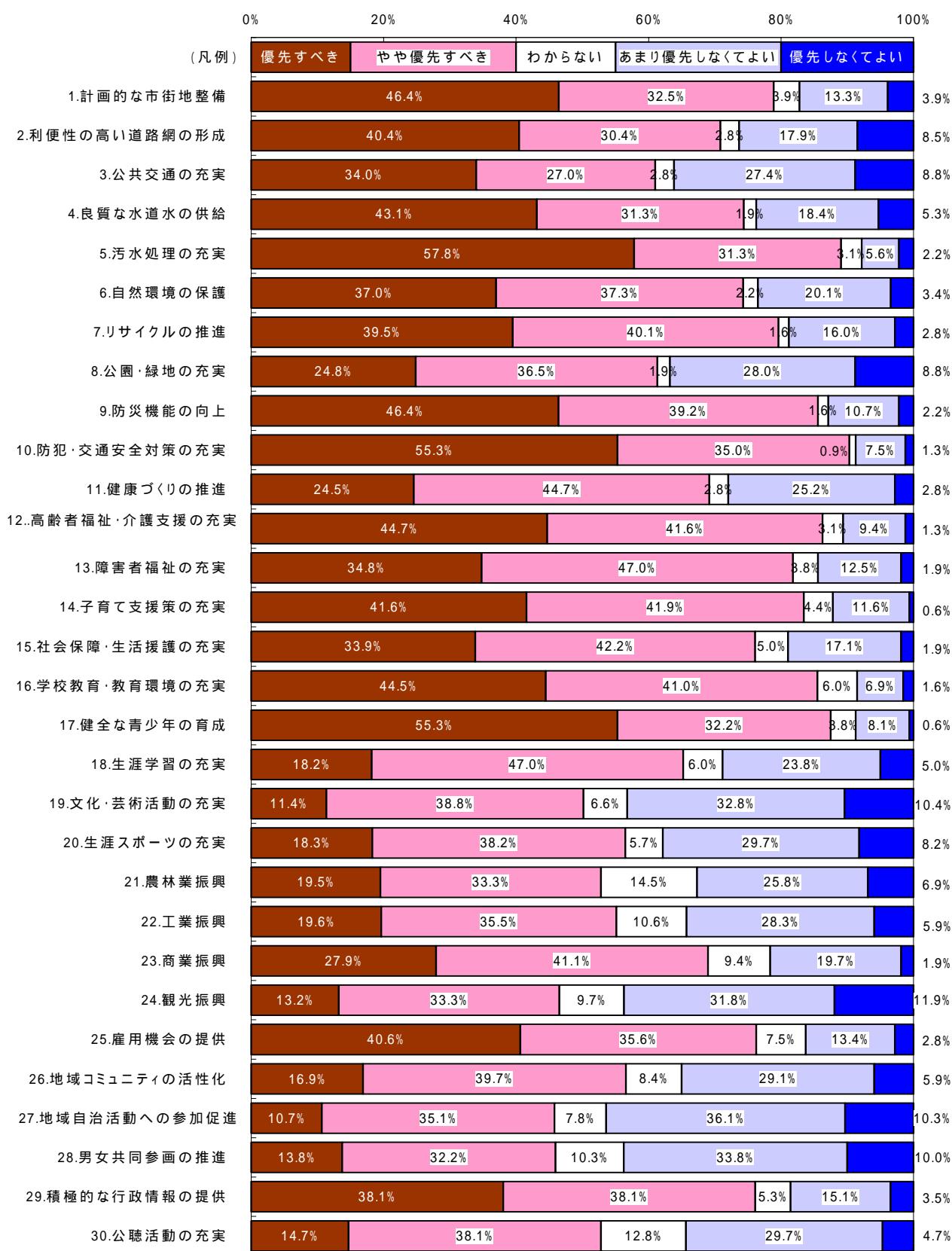
地域コミュニティ活動の充実の 5 項目は、「会社員・公務員・団体職員」と「パートタイマー・アルバイト」では「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「30.公聴活動の充実」の順番で優先度が高かった。

「農業」と「無職」では「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「27.地域自治活動への参加促進」の順番、「その他自営業」と「主婦・主夫」では「29.積極的な行政情報の提供」「30.公聴活動の充実」「26.地域コミュニティの活性化」の順番で優先度が高かった。

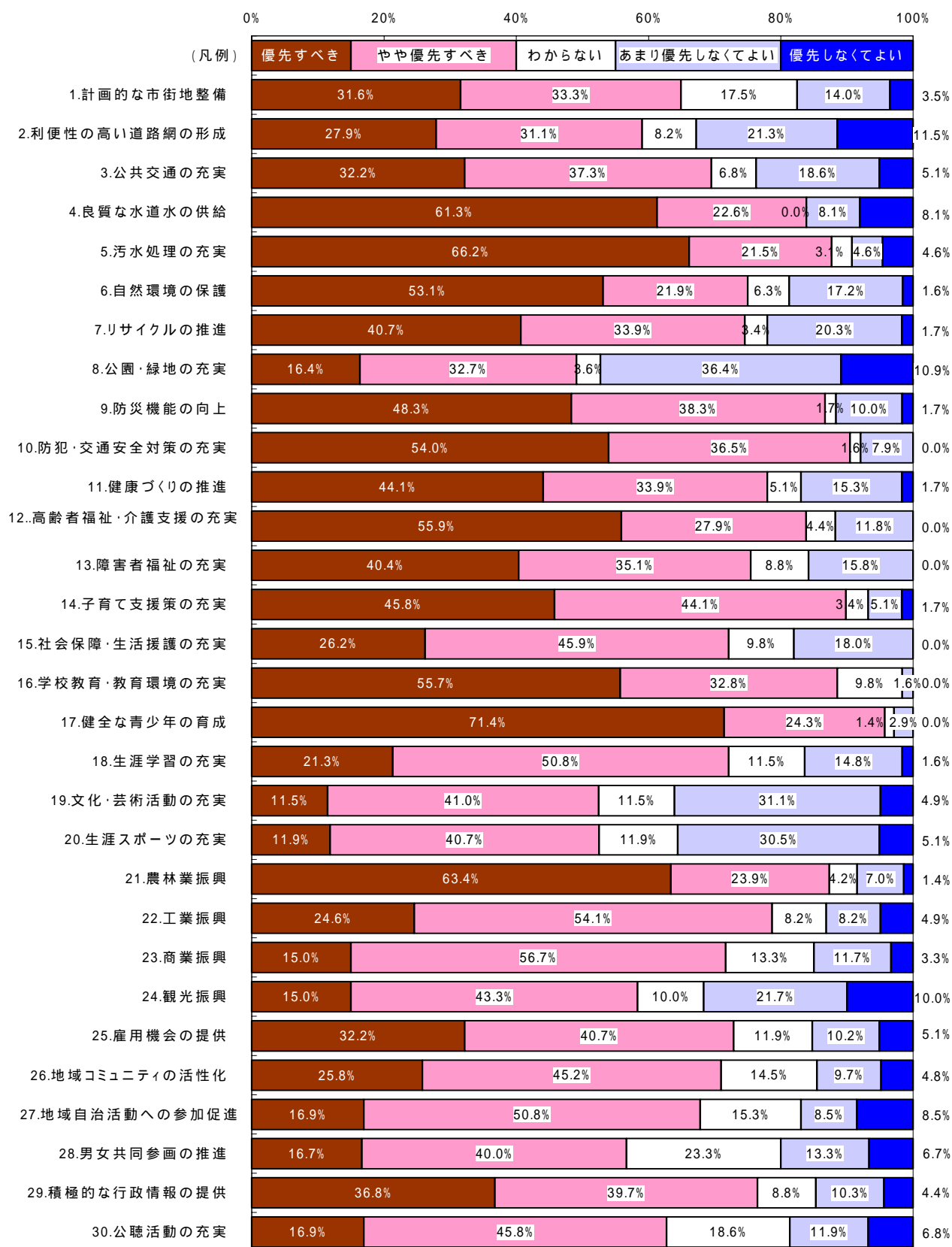
地域コミュニティ活動に関する優先度は、「農業」と「無職」では高いが、その他の職業では低く、職業によって考え方の差異が見られた。

この「地域コミュニティ活動の充実」分野の平均優先度は、どの職業も他の分野に比べて最も低かった。

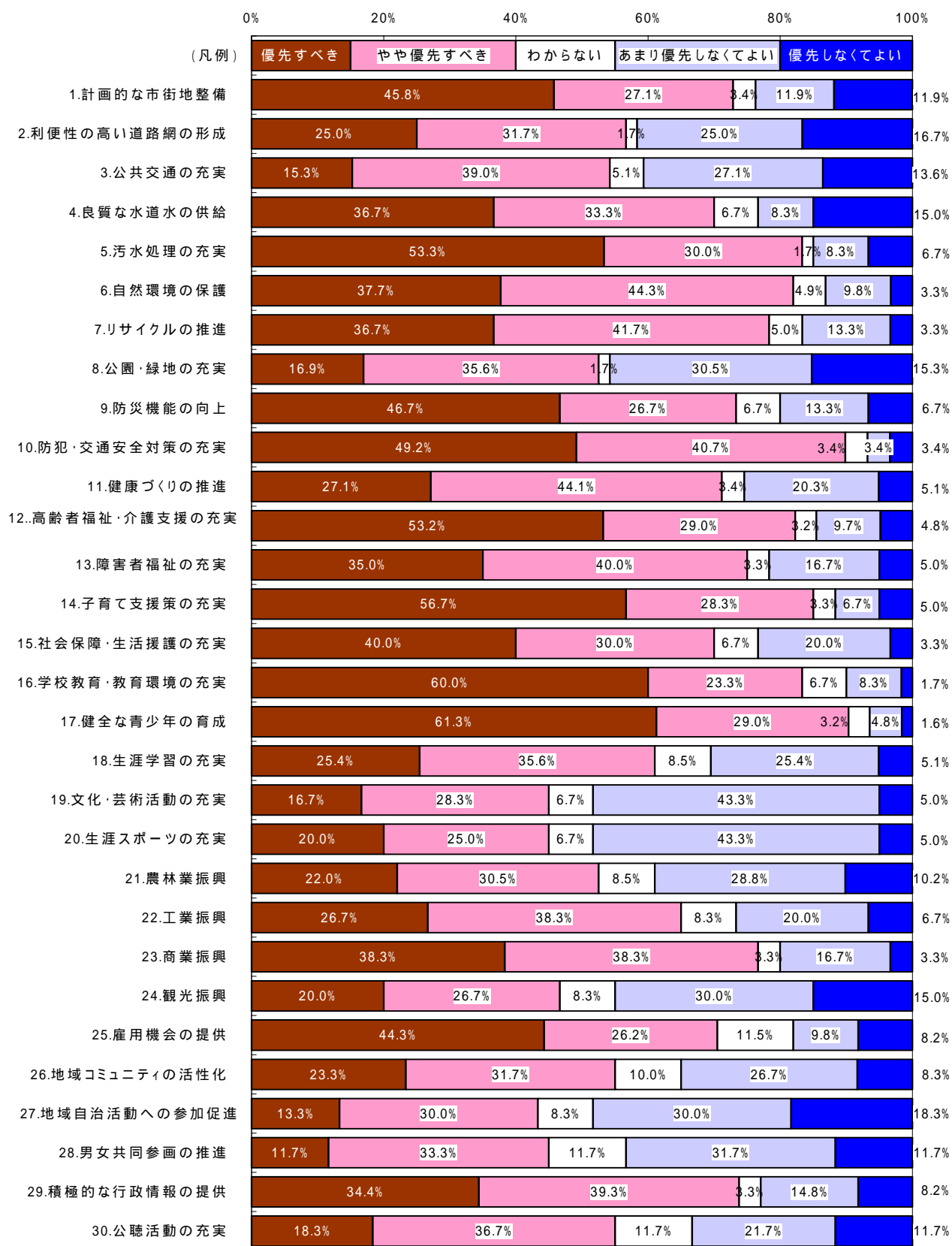
会社員・公務員・団体職員の「施策の優先度」



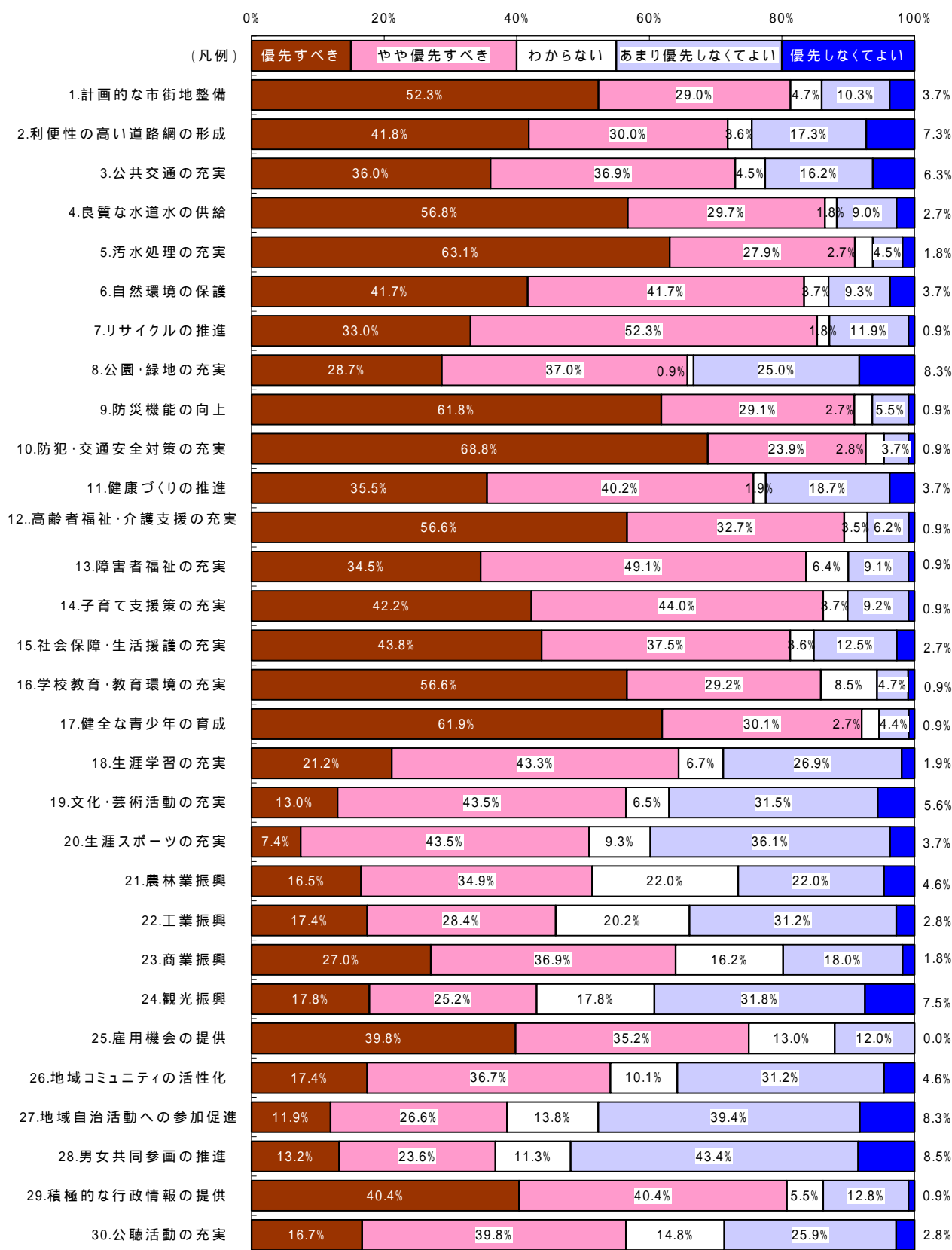
農業の「施策の優先度」



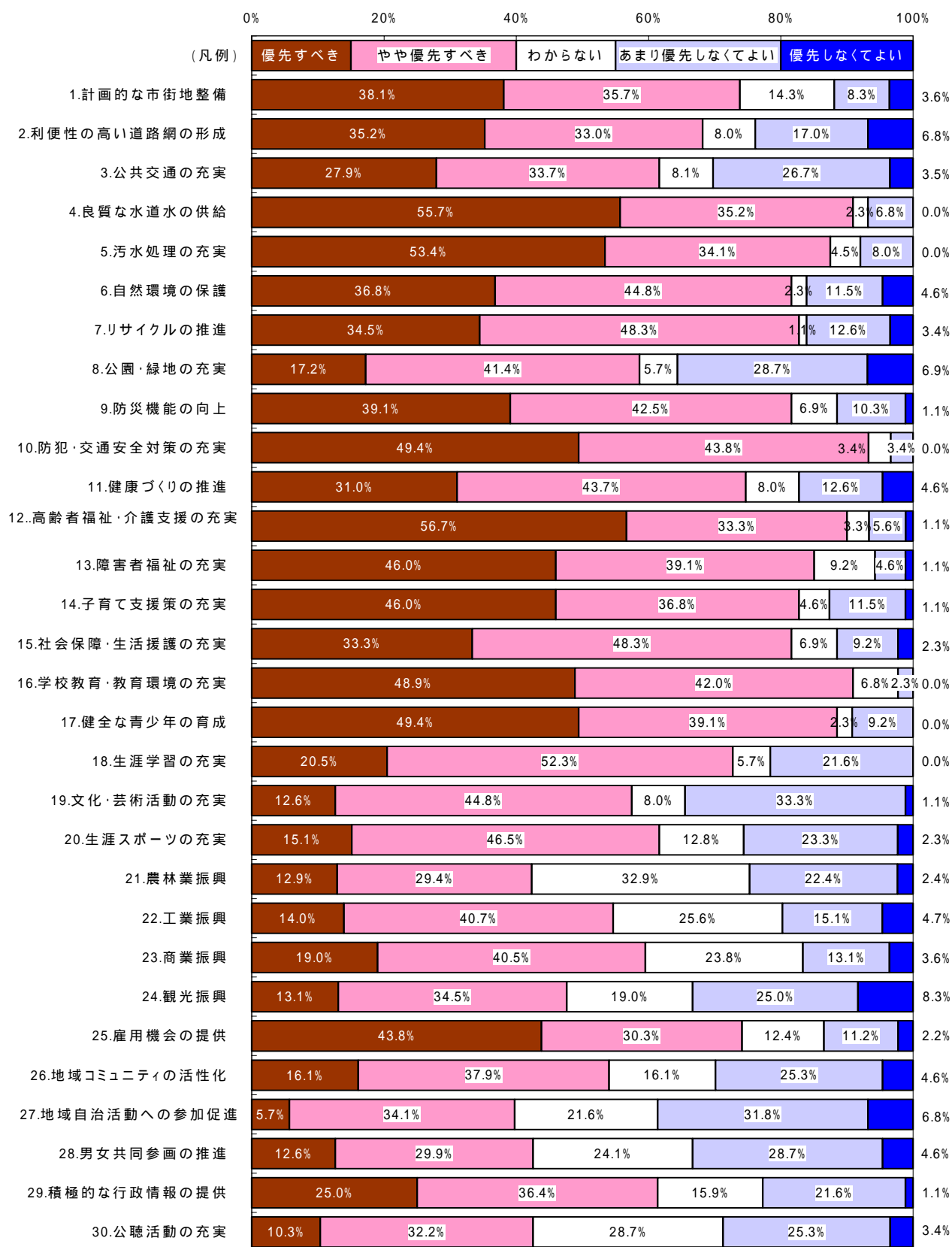
その他自営業の「施策の優先度」



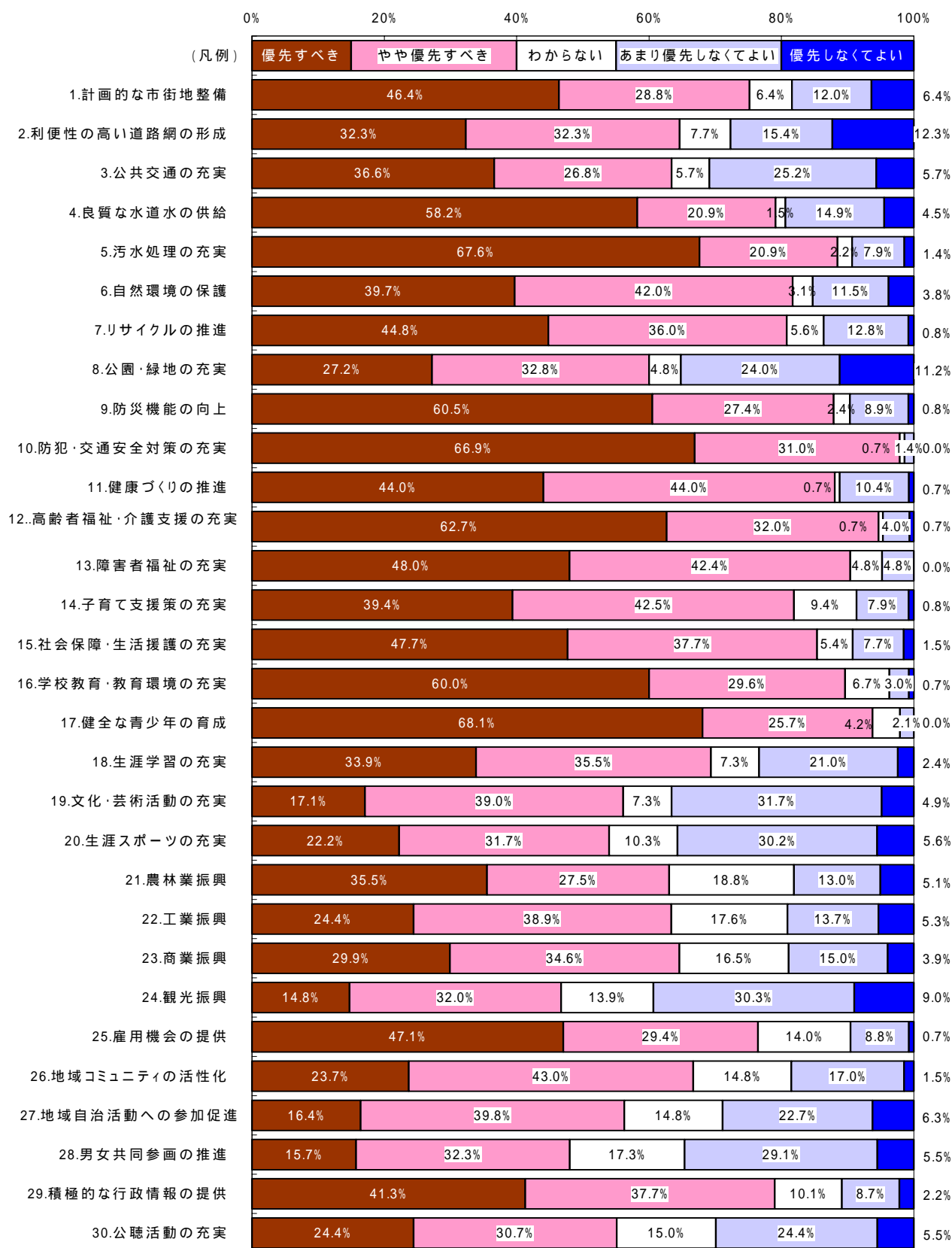
主婦・主夫の「施策の優先度」



パートタイマー・アルバイトの「施策の優先度」



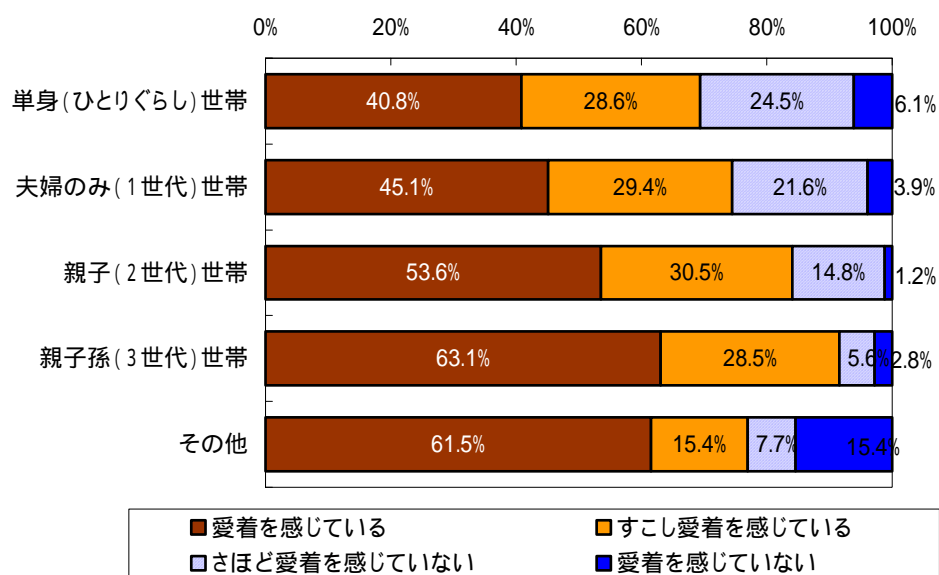
無職の「施策の優先度」



第7章 家族構成別クロス集計結果

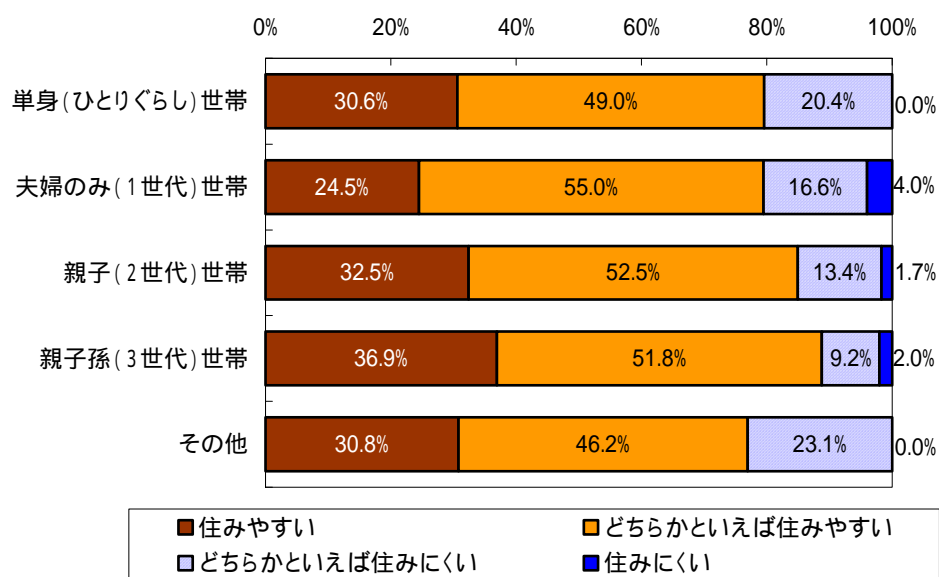
(1) 家族構成別クロス集計 問6「高根沢町に対する愛着」

「親子孫(3世代)世帯」は、「愛着を感じている」割合が最も高かった。家族の世代数が増えるにつれて、「愛着を感じている」割合が上昇する傾向がうかがえた。



(2) 家族構成別クロス集計 問7「高根沢町の住み心地」

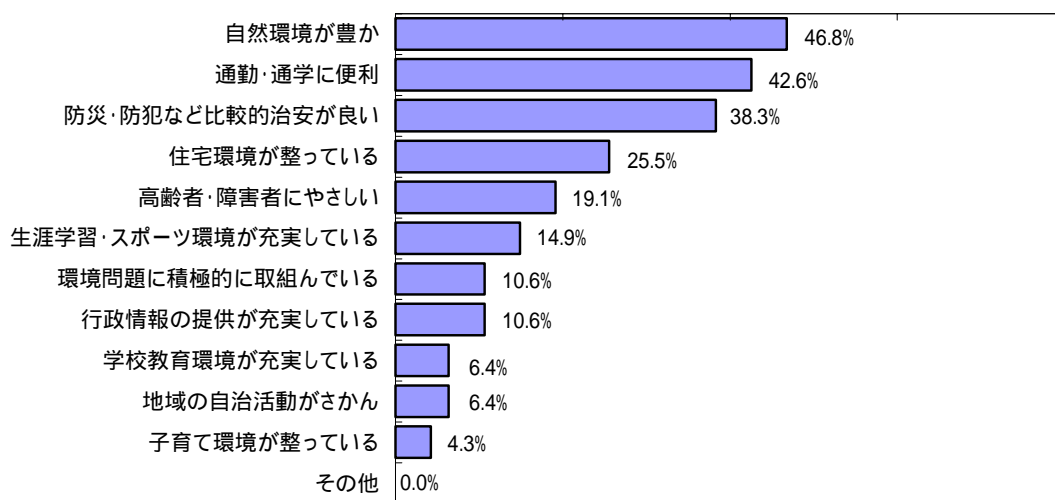
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた肯定的な回答は、「親子孫(3世代)世帯」が最も高く約9割を占めた。家族の世代数が増えるにつれて、住み心地に対する肯定的回答の割合は、上昇する傾向がうかがえた。



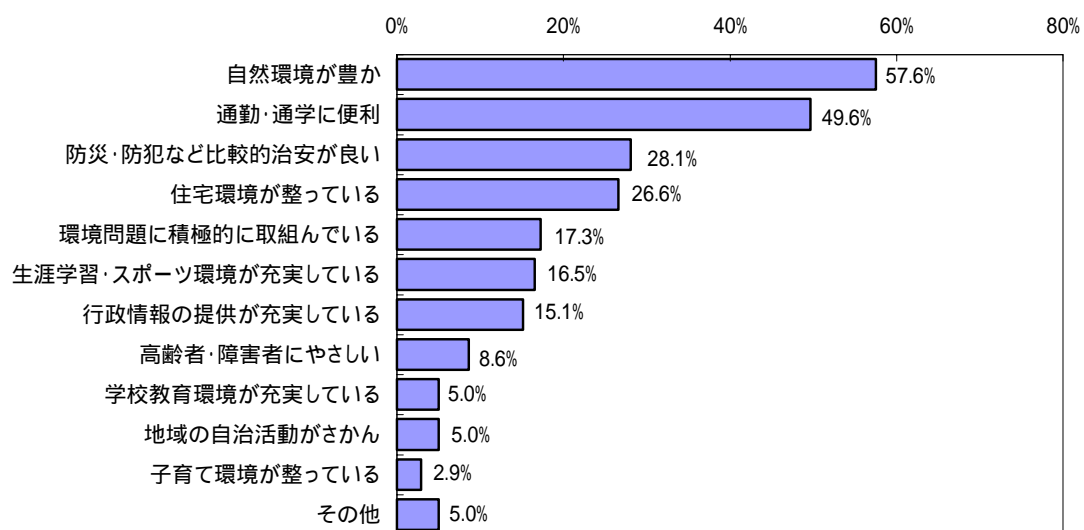
(3) 家族構成別クロス集計 問8「住み心地が良い点」

高根沢町に対する住み心地が良い点は、各家族構成とも「自然環境が豊か」が第1位回答であった。家族の世代数が増えるにつれて、「自然環境が豊か」の割合は、上昇する傾向がうかがえた。「単身世帯」「夫婦のみ世帯」「親子世帯」では、第2位回答は「通勤・通学に便利」であったが、「親子孫世帯」の第2位回答は、「防災・防犯など比較的治安が良い」であり、差異が見られた。

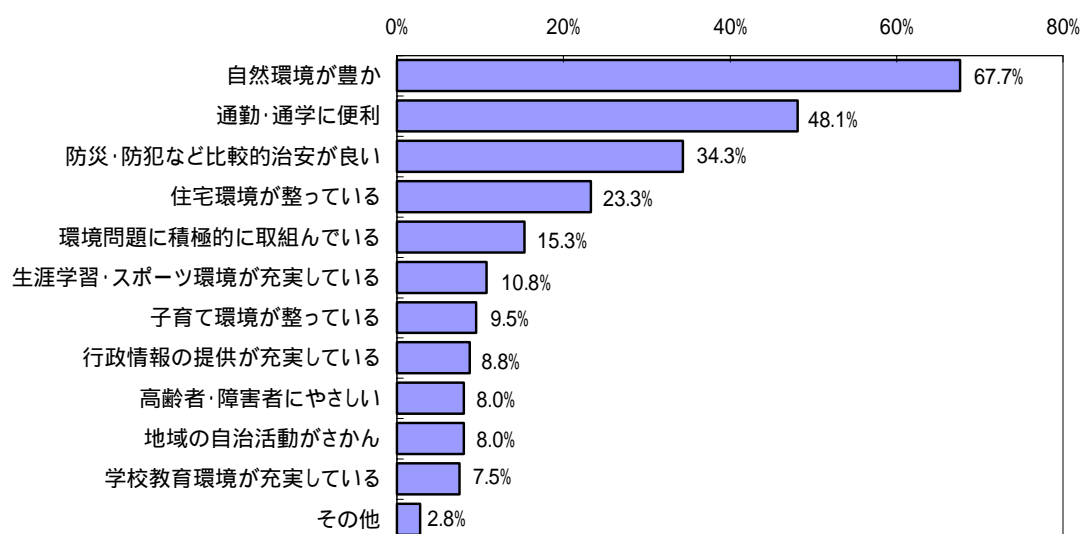
単身（ひとりぐらし）世帯



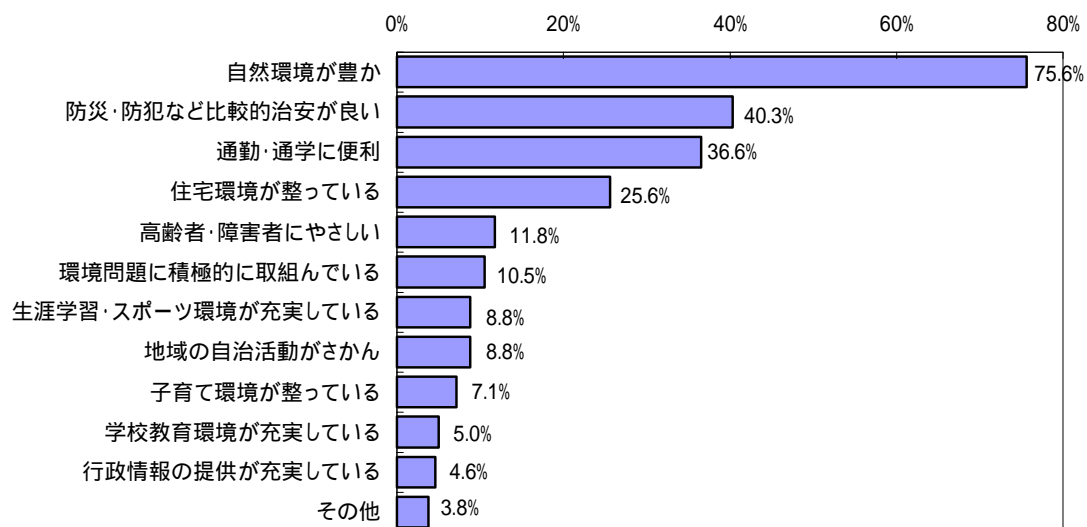
夫婦のみ（1世代）世帯



親子（２世代）世帯



親子孫（３世代）世帯

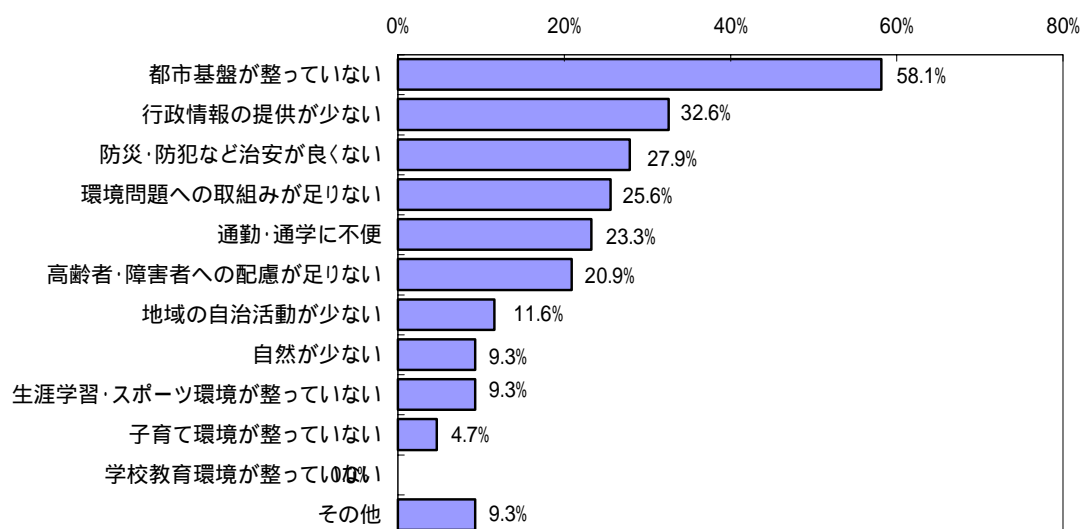


(4) 家族構成別クロス集計 問9「住み心地が悪い点」

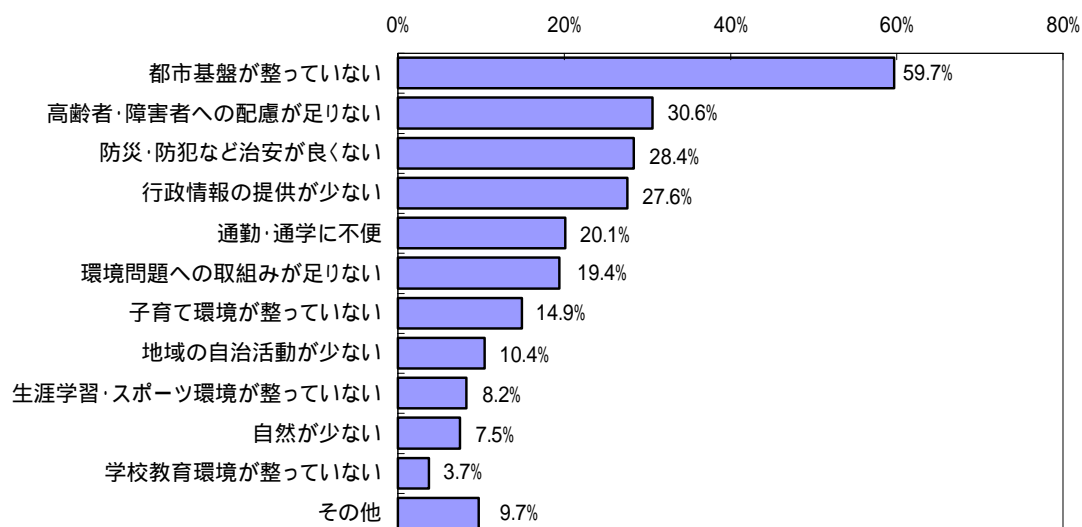
住み心地が悪い点は、どの家族構成も「都市基盤が整っていない」が第1位回答であり、「単身世帯」「夫婦のみ世帯」「親子世帯」では、他の理由を大きく上回った。

第2位回答は、「単身世帯」では「行政情報の提供が少ない」、「夫婦のみ世帯」では「高齢者・障害者への配慮が足りない」、「親子世帯」と「親子孫世帯」では「通勤・通学に不便」であり、家族構成によって差異が見られた。

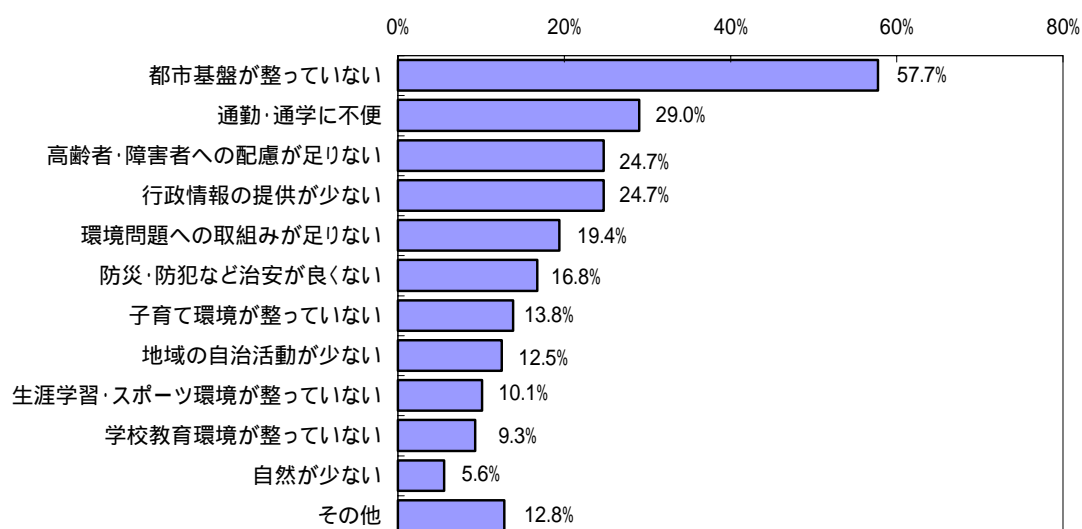
単身（ひとりぐらし）世帯



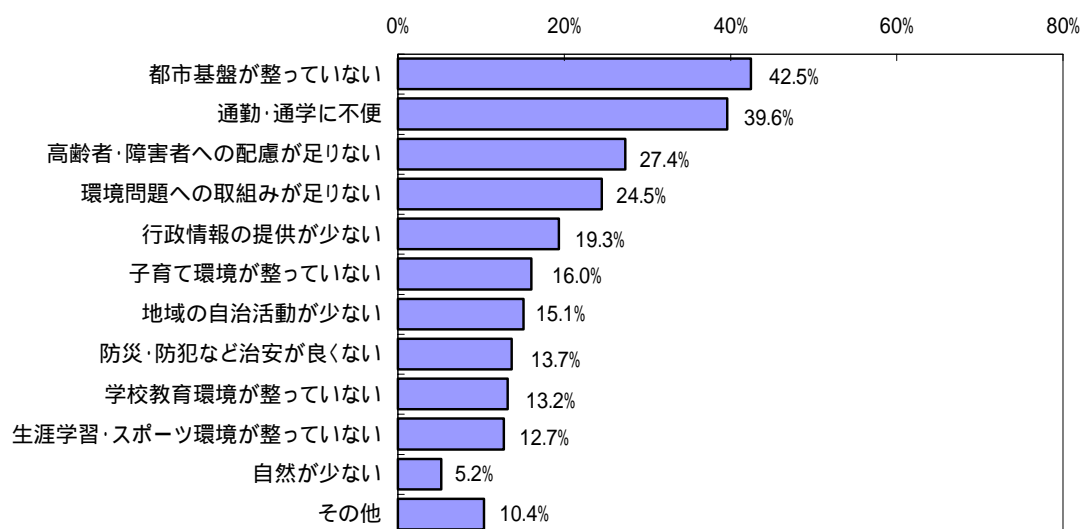
夫婦のみ（1世代）世帯



親子（2世代）世帯



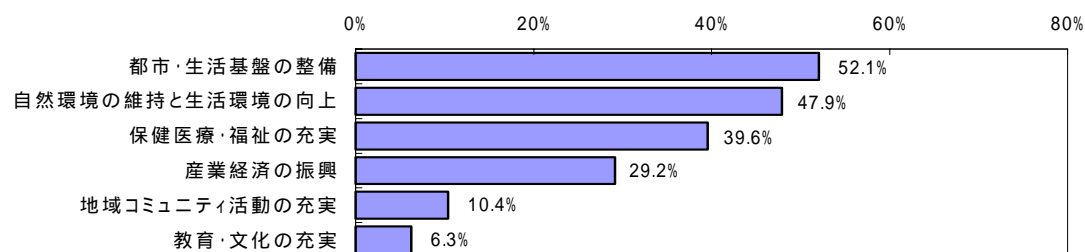
親子孫（3世代）世帯



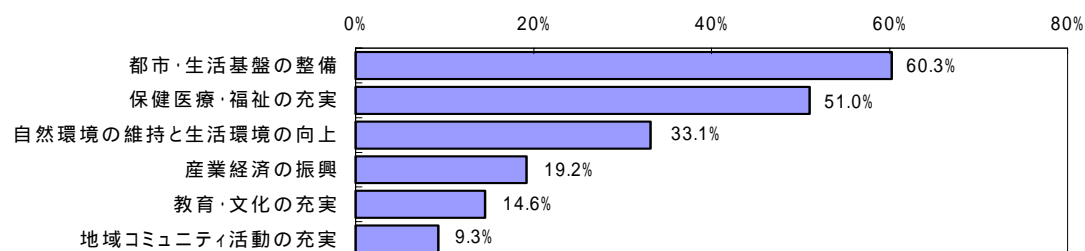
（５）家族構成別クロス集計 問１０「今後優先すべき分野」

「単身世帯」「夫婦のみ世帯」「親子世帯」では、「都市・生活基盤の整備」が第１位回答であった。「親子孫世帯」では、「保健医療・福祉の充実」が第１位回答であり、差異が見られた。「単身世帯」では「自然環境の維持と生活環境の向上」の割合が、他の世帯に比べて高かった。

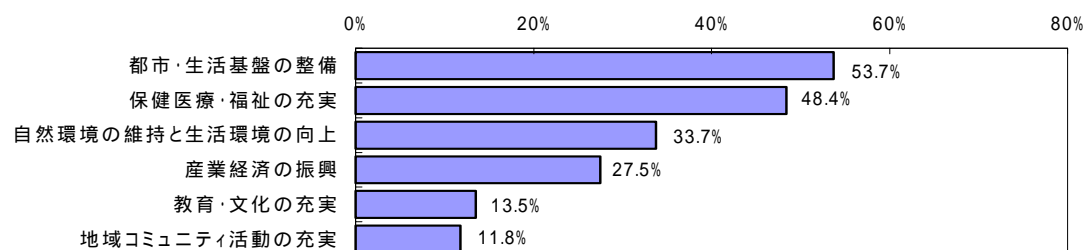
単身（ひとりぐらし）世帯



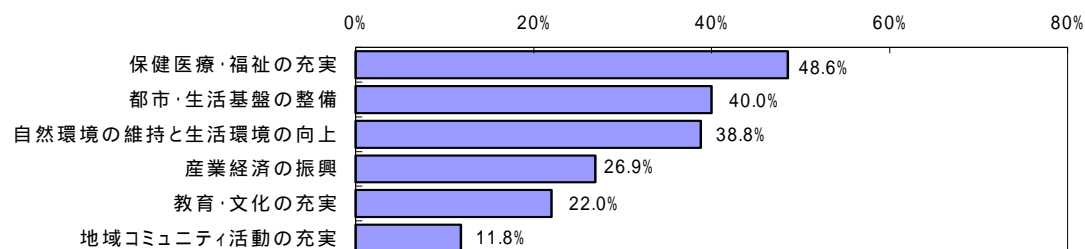
夫婦のみ（１世代）世帯



親子（２世代）世帯



親子孫（３世代）世帯



（６）家族構成別クロス集計 問１１「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。６分野の家族構成別「施策の優先度」は下記の結果となった。

都市・生活基盤の整備（項目１～５）

都市・生活基盤の整備の５項目は、「単身世帯」では「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」「３.公共交通の充実」の順番で優先度が高かった。

「夫婦のみ世帯」と「親子孫世帯」では「５.汚水処理の充実」「４.良質な水道水の供給」「１.計画的な市街地整備」の順番、「親子世帯」では「５.汚水処理の充実」「１.計画的な市街地整備」「４.良質な水道水の供給」の順番で優先度が高かった。

自然環境の維持と生活環境の向上（項目６～１０）

自然環境の維持と生活環境の向上の５項目は、「単身世帯」「親子世帯」「親子孫世帯」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「７.リサイクルの推進」の順番で優先度が高かった。

「夫婦のみ世帯」では「１０.防犯・交通安全対策の充実」「９.防災機能の向上」「６.自然環境の保護」の順番で優先度が高かった。

「単身世帯」では、他の家族構成に比べて「８.公園・緑地の充実」の優先度が高かった。

保健医療・福祉の充実（項目１１～１５）

保健医療・福祉の充実の５項目は、「単身世帯」では「１４.子育て支援策の充実」「１３.障害者福祉の充実」「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」の順番で優先度が高かった。

「夫婦のみ世帯」「親子世帯」「親子孫世帯」では「１２.高齢者福祉・介護支援の充実」「１４.子育て支援策の充実」「１３.障害者福祉の充実」の順番で優先度が高かった。

この「保健医療・福祉の充実」分野の平均優先度は、全ての家族構成で他の分野に比べて最も高かった。

教育・文化の充実（項目１６～２０）

教育・文化の充実の５項目は、全ての家族構成とも「１７.健全な青少年の育成」「１６.学校教育・教育環境の充実」「１８.生涯学習の充実」の順番で優先度が高かった。

なお、各家族構成とも、「１９.文化・芸術活動の充実」「２０.生涯スポーツの充実」の優先度は他の項目に比べて低く、「単身世帯」では「１９.文化・芸術活動の充実」はマイナス値であった。

産業経済の振興（項目 21～25）

産業経済の振興の 5 項目は、「単身世帯」では「23. 商業振興」「25. 雇用機会の提供」「22. 工業振興」の順番で優先度が高かった。

「夫婦のみ世帯」と「親子世帯」では「25. 雇用機会の提供」「23. 商業振興」「22. 工業振興」の順番、「親子孫世帯」では「25. 雇用機会の提供」「23. 商業振興」「21. 農林業振興」の順番で優先度が高かった。

「単身世帯」は、「23. 商業振興」と「24. 観光振興」の両者の優先度が、他の家族構成に比べて高かった。

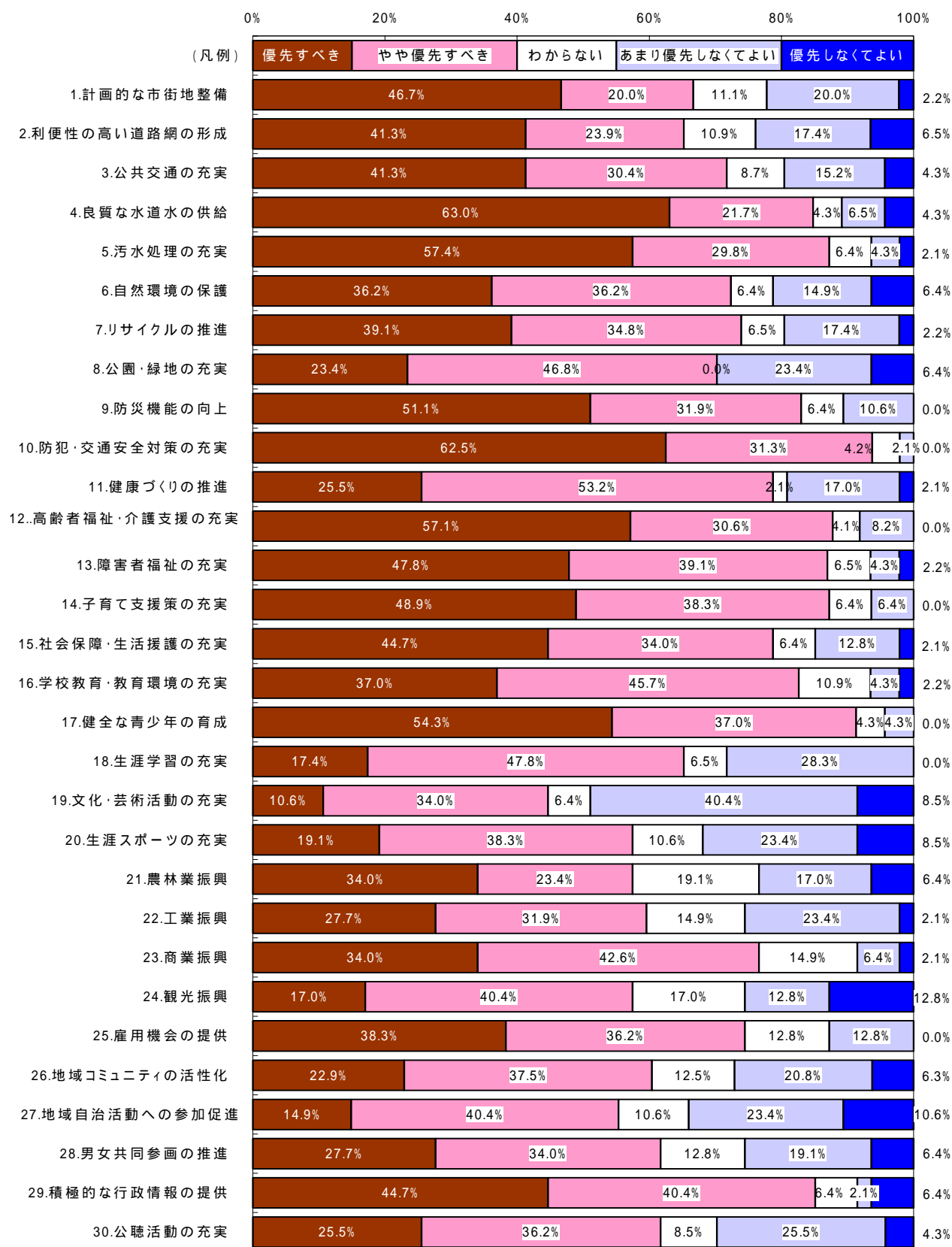
地域コミュニティ活動の充実（項目 26～30）

地域コミュニティ活動の充実の 5 項目は、「単身世帯」では「29. 積極的な行政情報の提供」「28. 男女共同参画の推進」「26. 地域コミュニティの活性化」の順番で優先度が高かった。

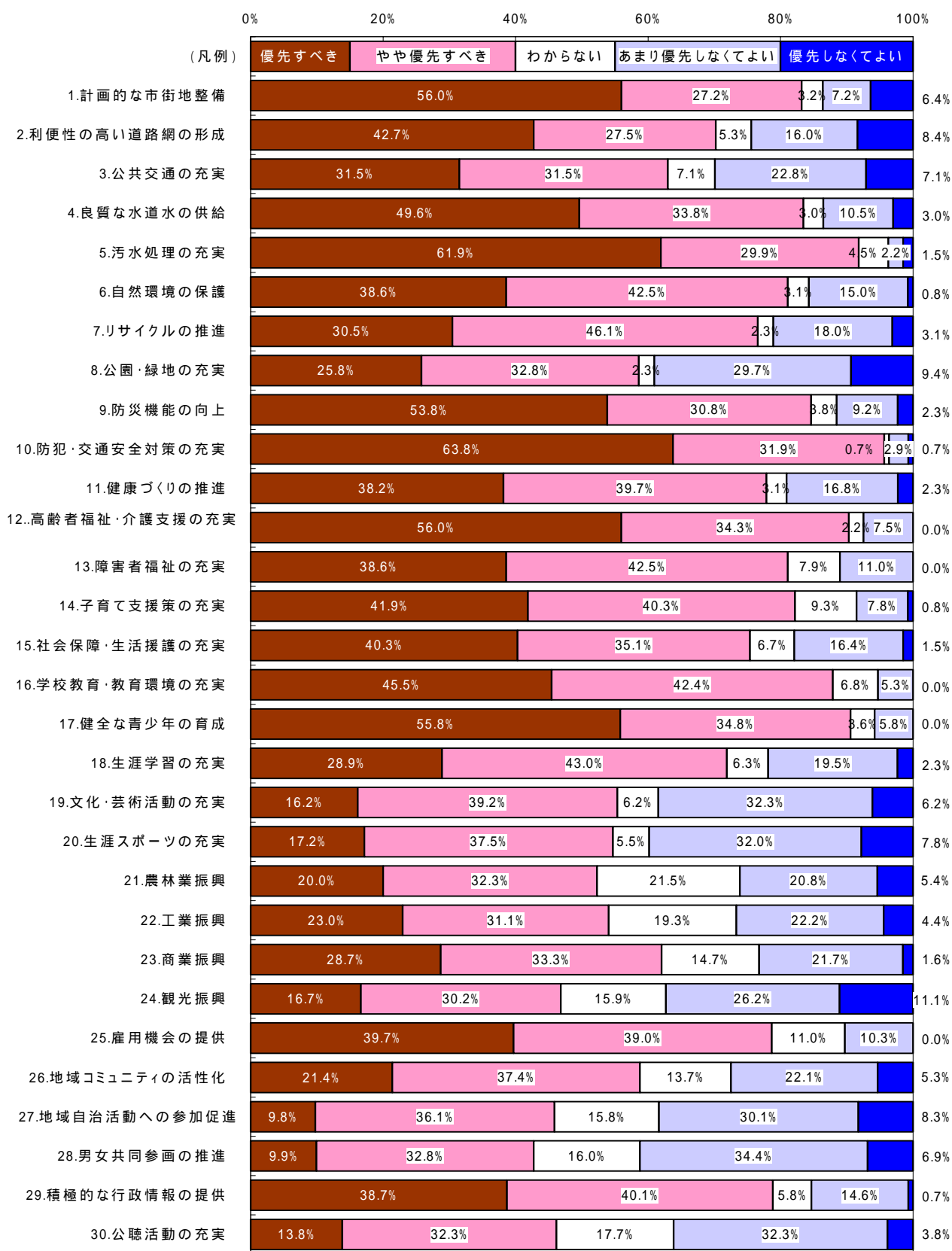
「夫婦のみ世帯」「親子世帯」「親子孫世帯」では「29. 積極的な行政情報の提供」「26. 地域コミュニティの活性化」「30. 公聴活動の充実」の順番で優先度が高かった。

この「27. 地域自治活動への参加促進」や「28. 男女共同参画の推進」は、「単身世帯」が他の家族構成に比べて高かった。なお、この「地域コミュニティ活動の充実」分野の平均優先度は、どの家族構成も他の分野に比べて最も低かった。

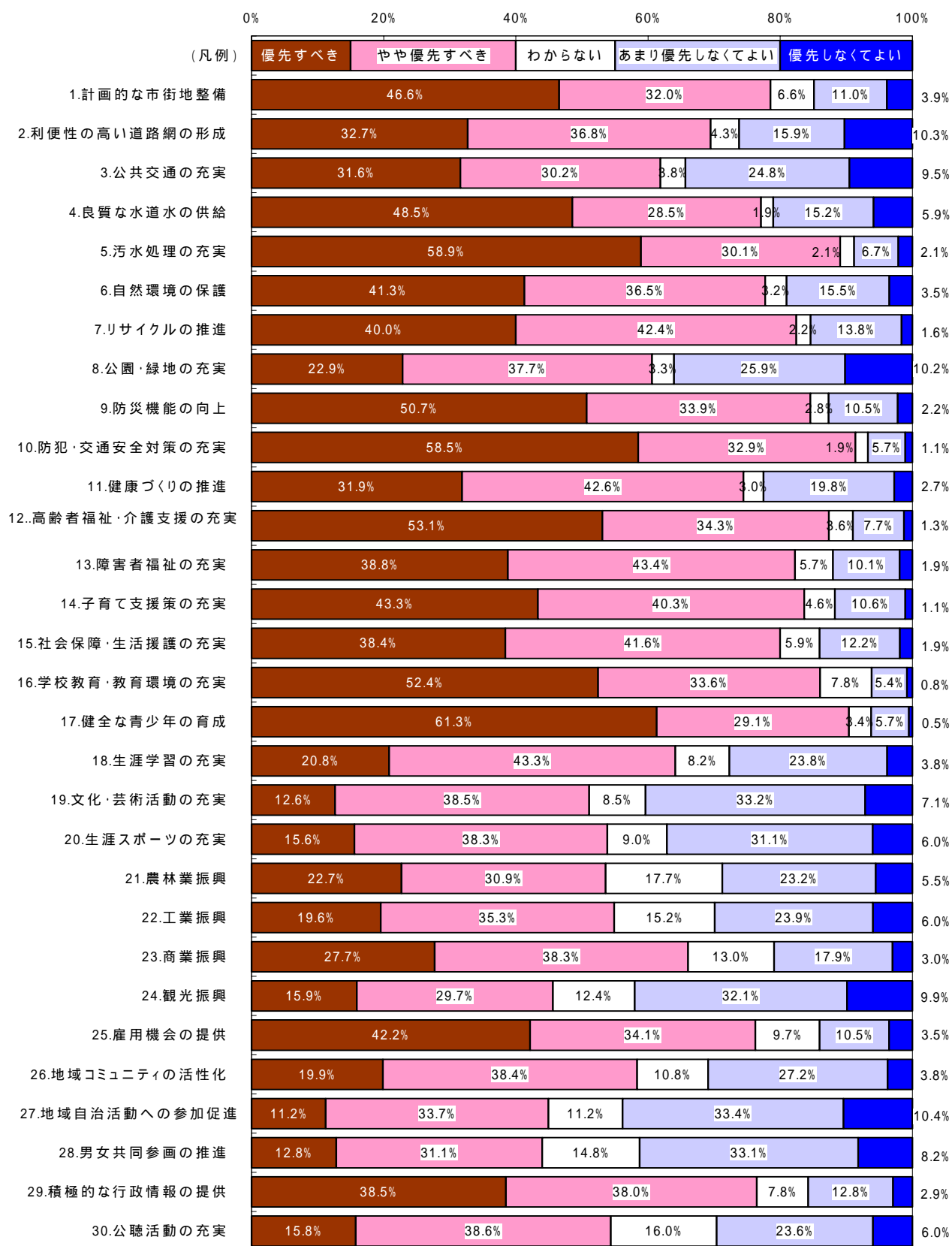
単身（ひとりぐらし）世帯の「施策の優先度」



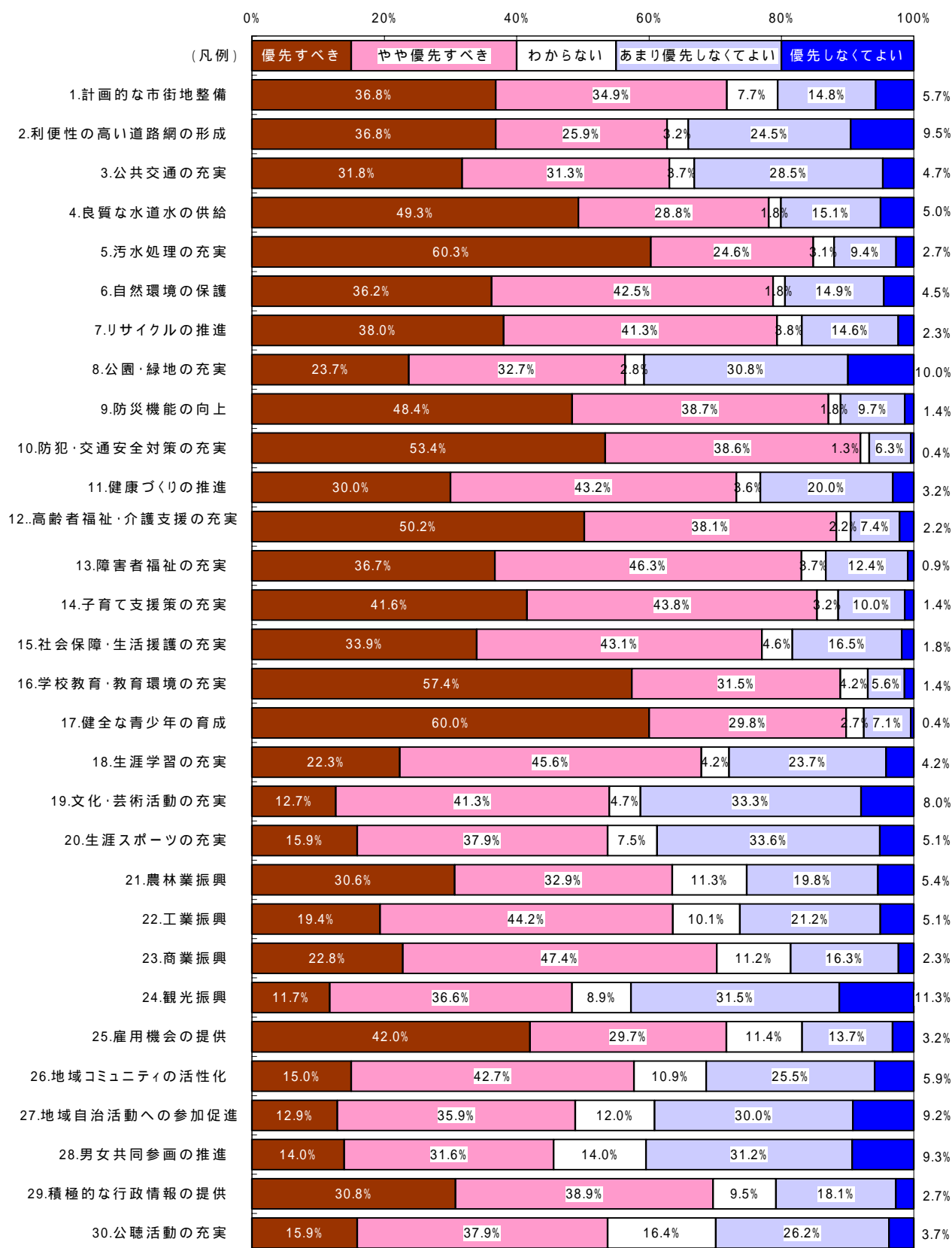
夫婦のみ（１世代）世帯の「施策の優先度」



親子（2世代）世帯の「施策の優先度」



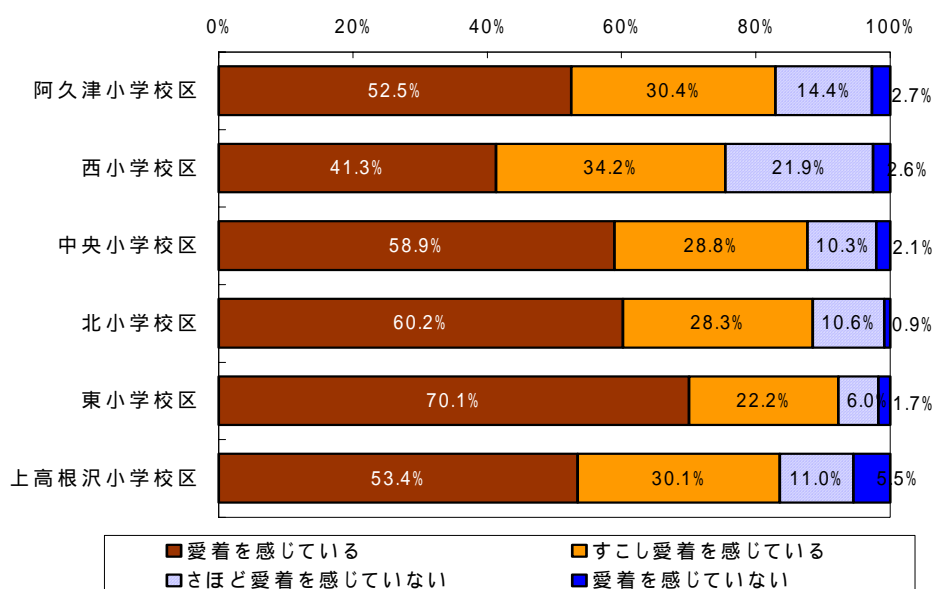
親子孫（3世代）世帯の「施策の優先度」



第8章 居住地別クロス集計結果

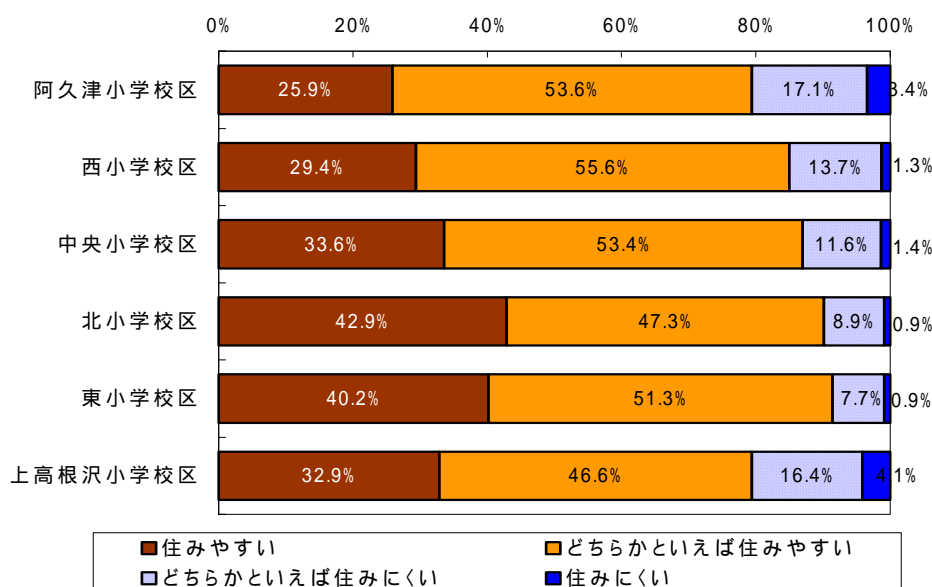
(1) 居住地別クロス集計 問6「高根沢町に対する愛着」

「愛着を感じている」割合は、「東小学校区」が最も高く約7割を占めた。一方、同割合は「西小学校区」が最も低く約4割であった。



(2) 居住地別クロス集計 問7「高根沢町の住み心地」

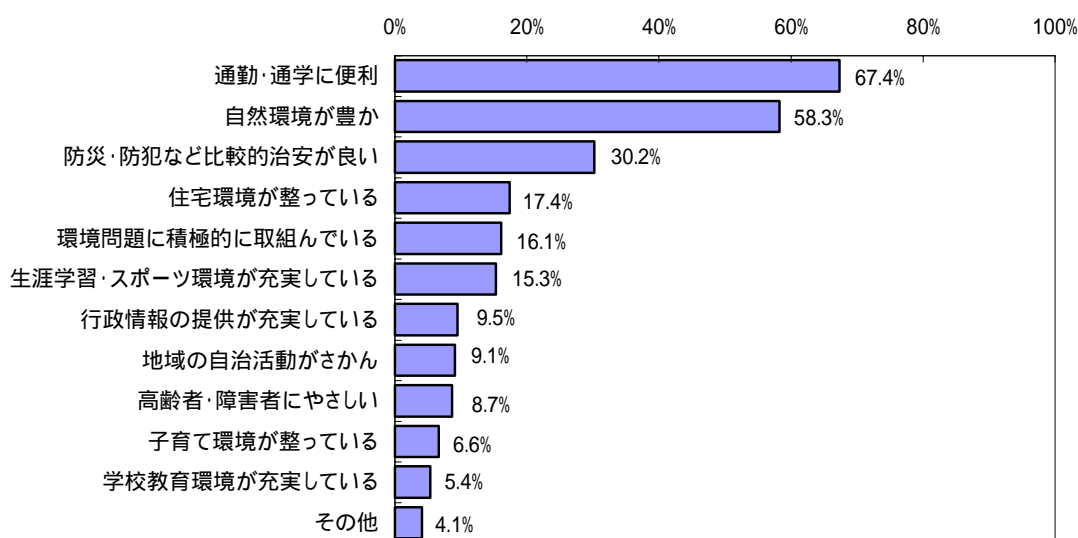
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた肯定的な回答は、「東小学校区」「北小学校区」が高く約9割を占めた。「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」を合わせた否定的回答は、「阿久津小学校区」「上高根沢小学校区」で2割を超え、住みやすさに地域による差異が見られた。



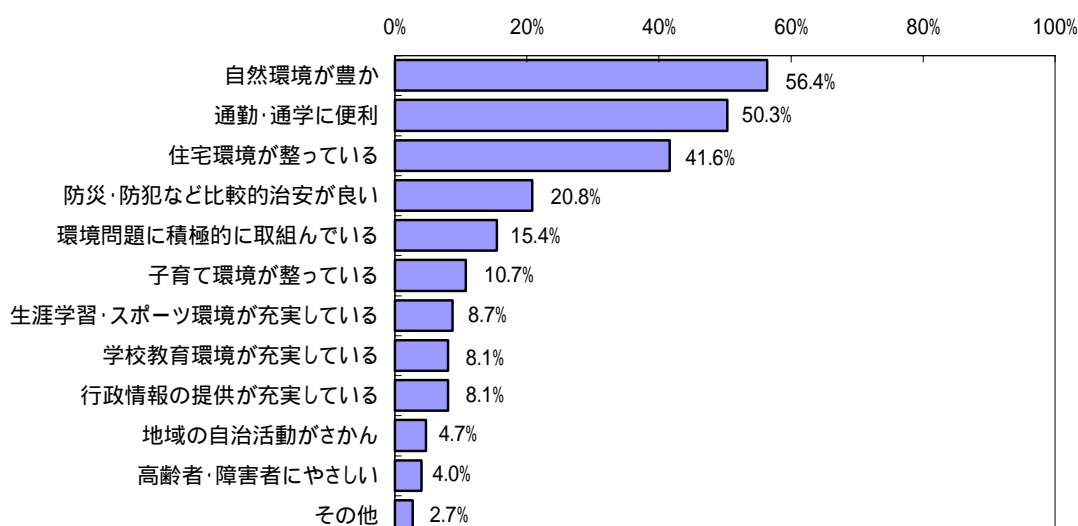
(3) 居住地別クロス集計 問8「住み心地が良い点」

高根沢町に対する住み心地が良い点は、「阿久津小学校区」では「通勤・通学に便利」が第1位回答であった。それ以外の地域では「自然環境が豊か」が第1位回答であり、地域による差異が見られた。「中央小学校区」「北小学校区」「東小学校区」では、「防災・防犯など比較的治安が良い」割合が、他の地域に比べて高かった。

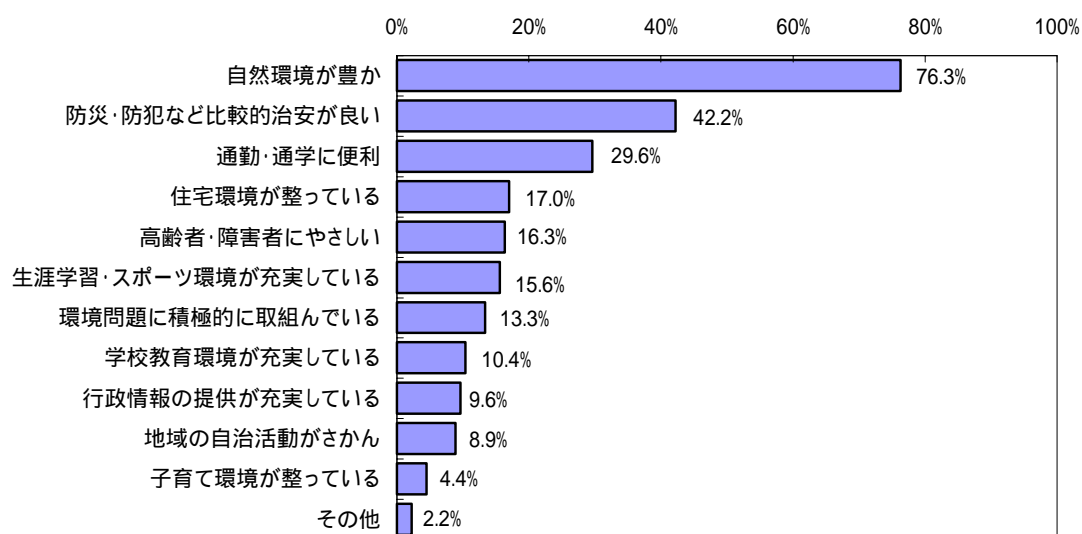
阿久津小学校区



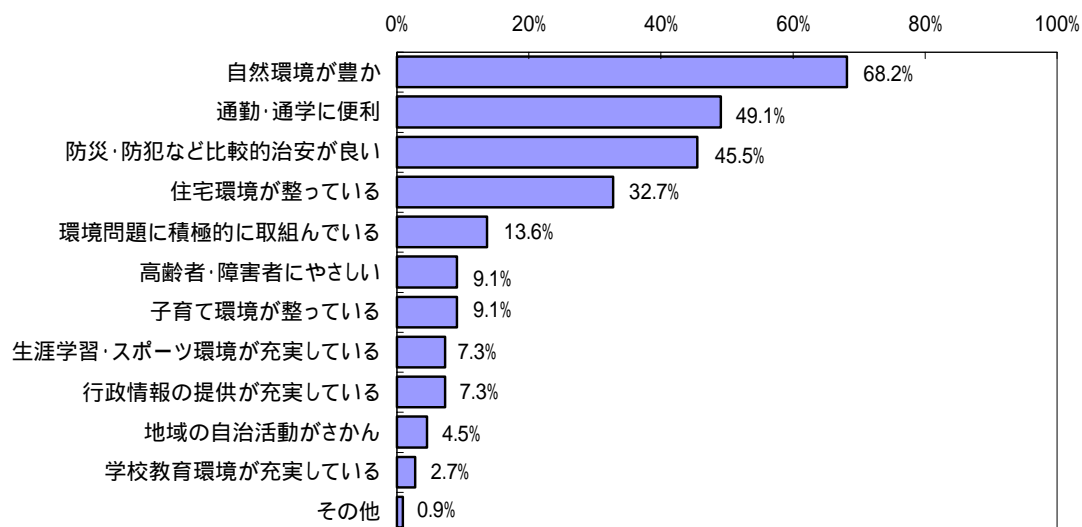
西小学校区



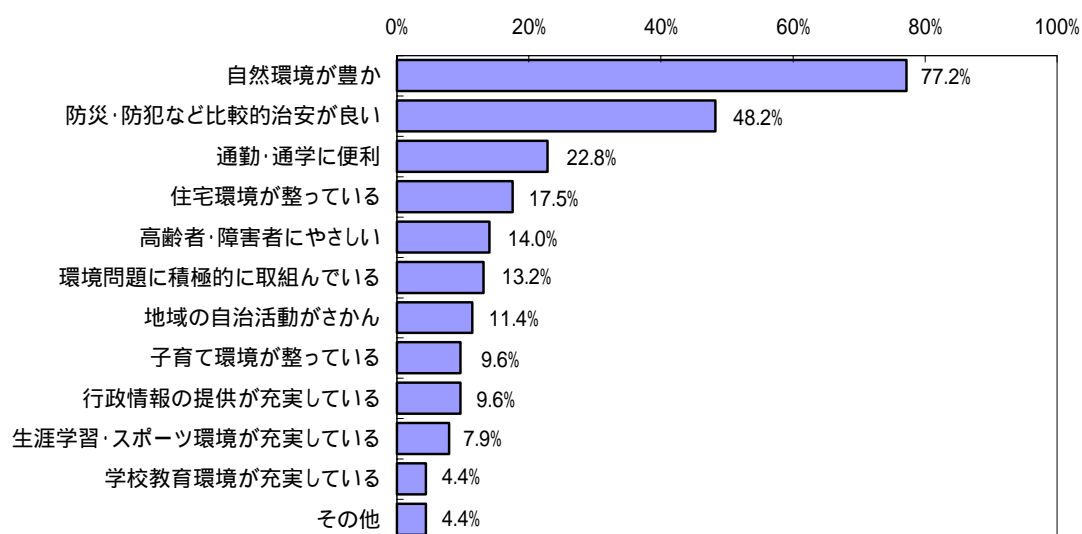
中央小学校区



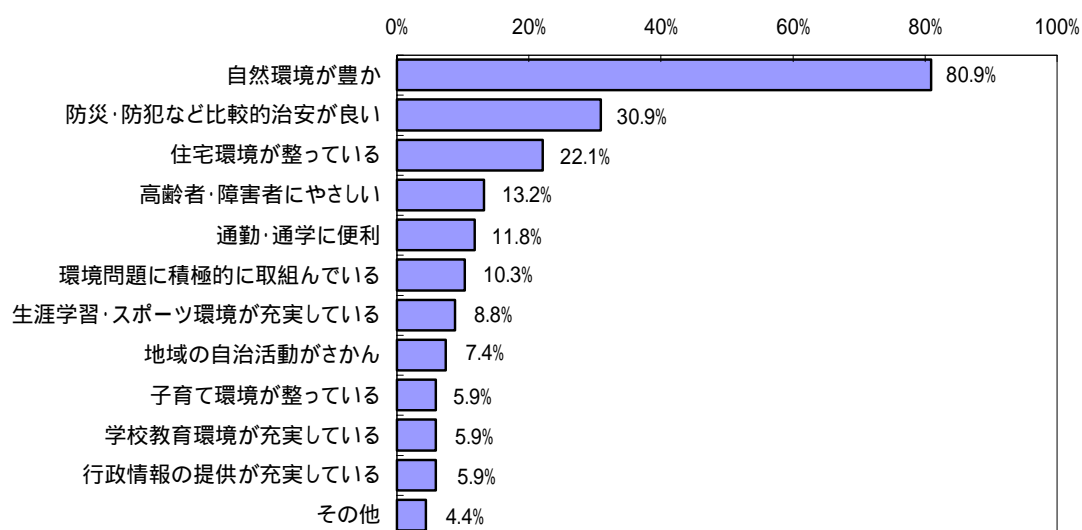
北小学校区



東小学校区



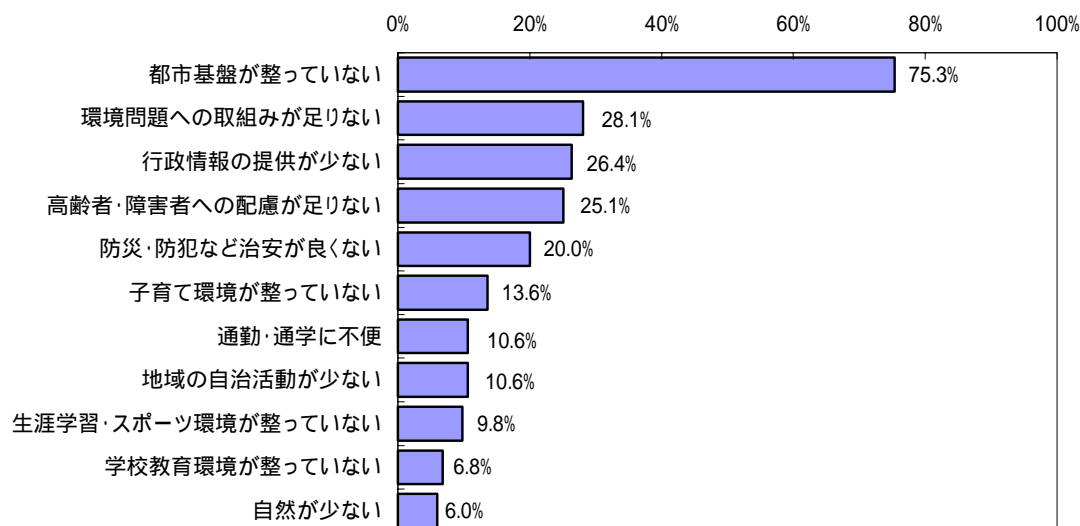
上高根沢小学校区



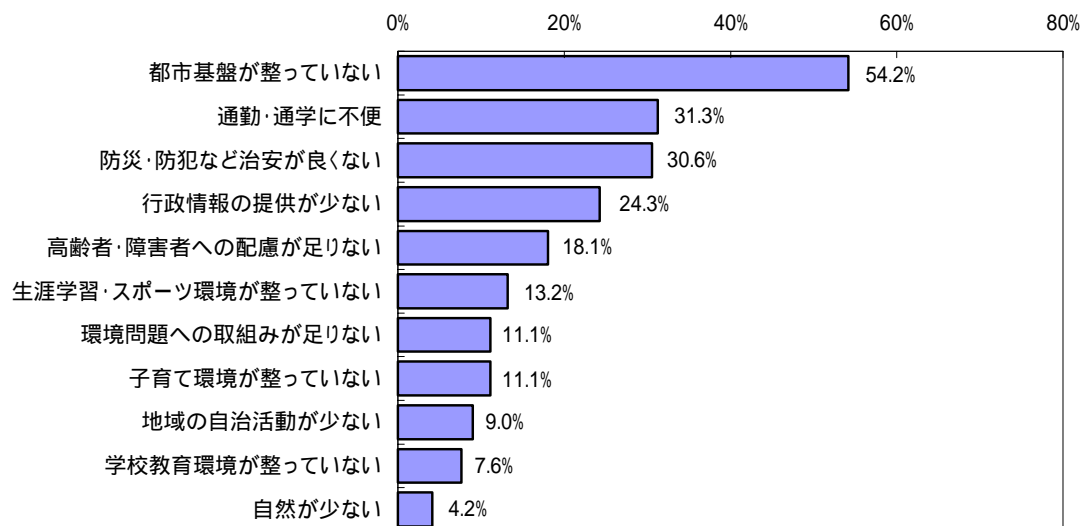
(4) 居住地別クロス集計 問9「住み心地が悪い点」

住み心地が悪い点は、「阿久津小学校区」「西小学校区」「中央小学校区」「北小学校区」では「都市基盤が整っていない」が第1位回答であった。「東小学校区」「上高根沢小学校区」では、「通勤・通学に不便」が第1位回答であり、地域による差異が見られた。

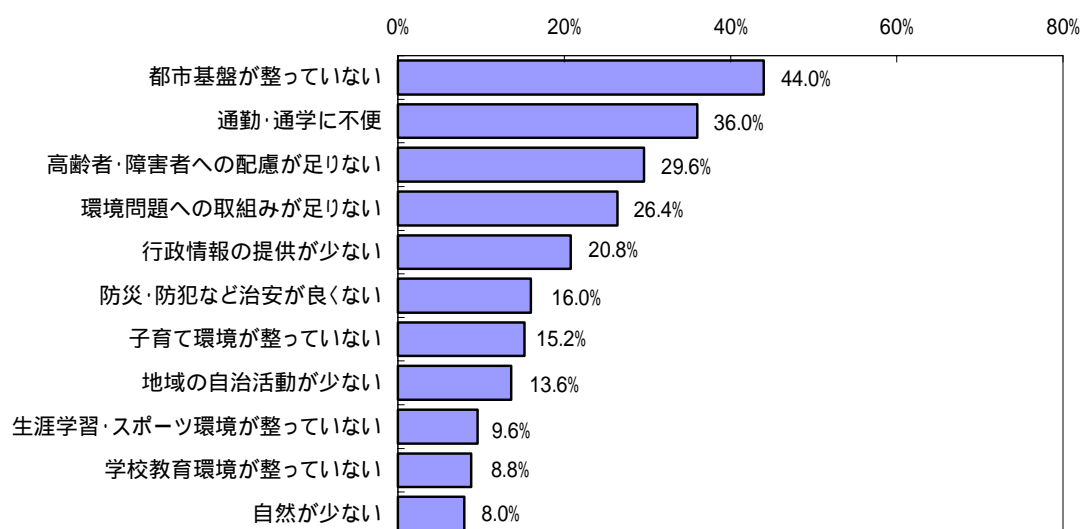
阿久津小学校区



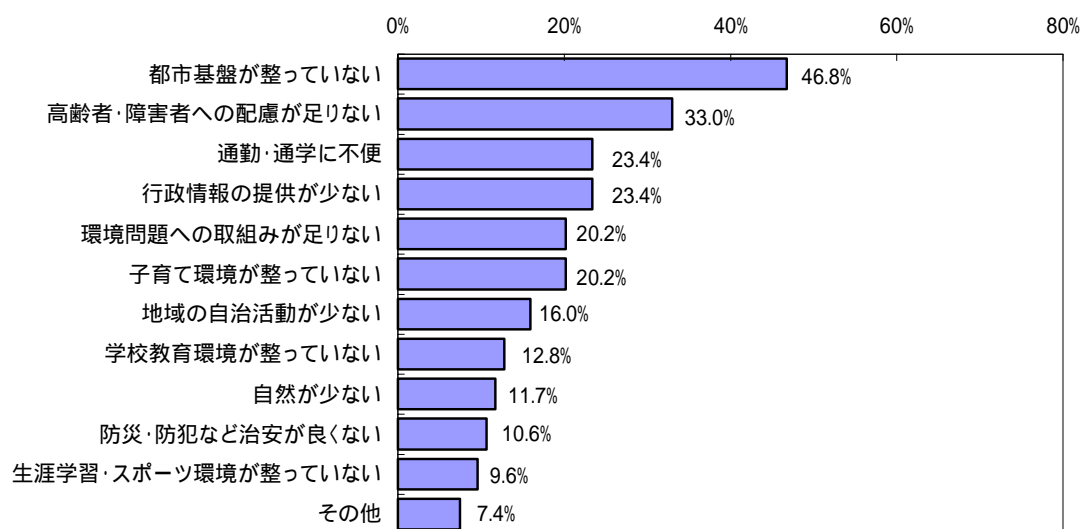
西小学校区



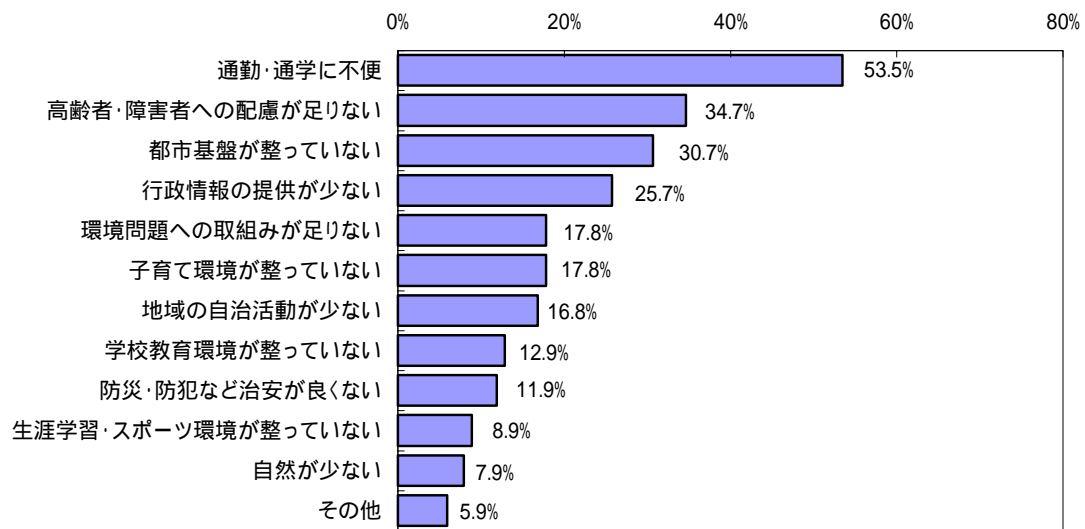
中央小学校区



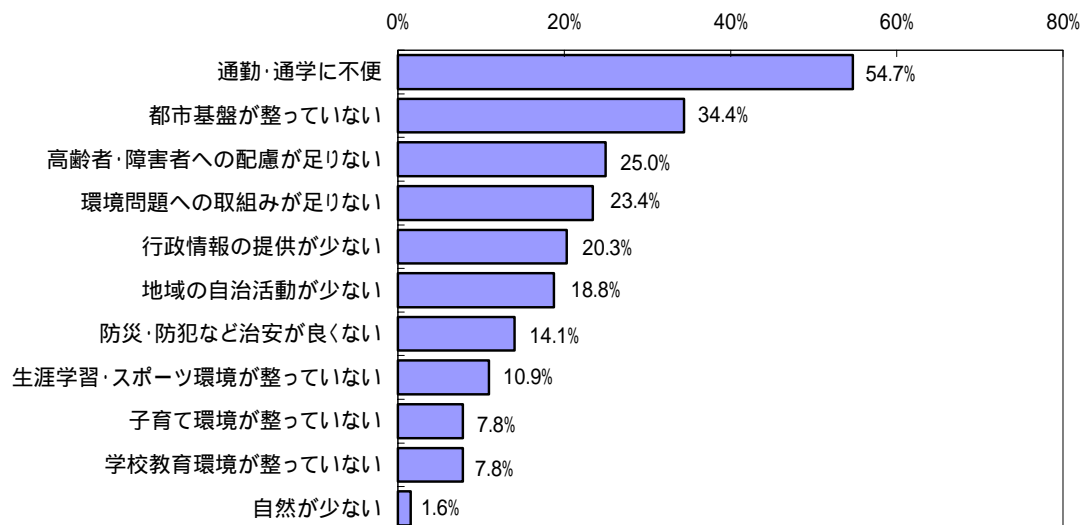
北小学校区



東小学校区



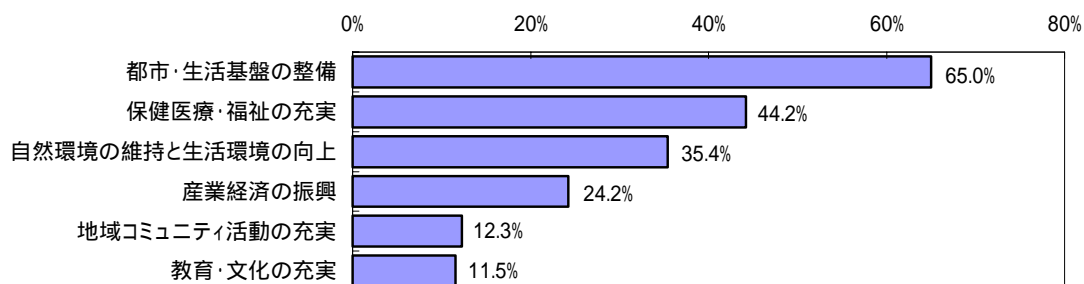
上高根沢小学校区



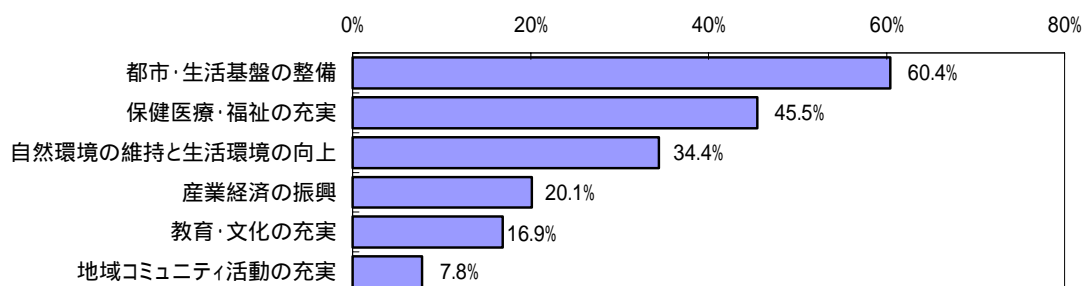
（５）居住地別クロス集計 問１０「今後優先すべき分野」

今後優先すべき分野は、「阿久津小学校区」「西小学校区」「上高根沢小学校区」では「都市・生活基盤の整備」が第１位回答であり、特に「阿久津小学校区」や「西小学校区」では６割を超えた。一方、「中央小学校区」「北小学校区」「東小学校区」では「保健医療・福祉の充実」が第１位回答であり、３地区とも５割を超え地域による差異が見られた。

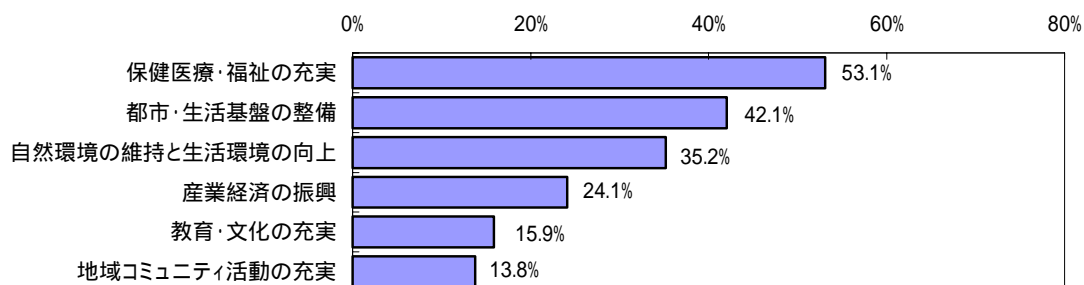
阿久津小学校区



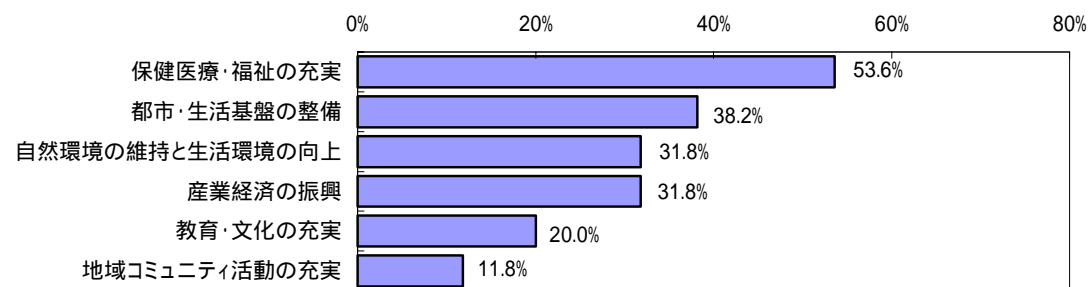
西小学校区



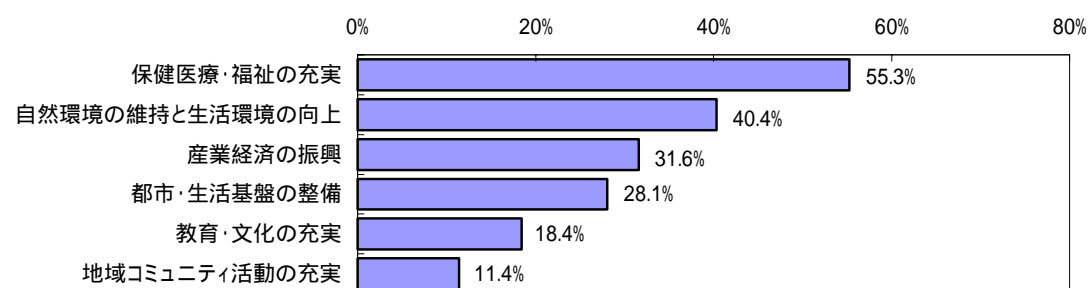
中央小学校区



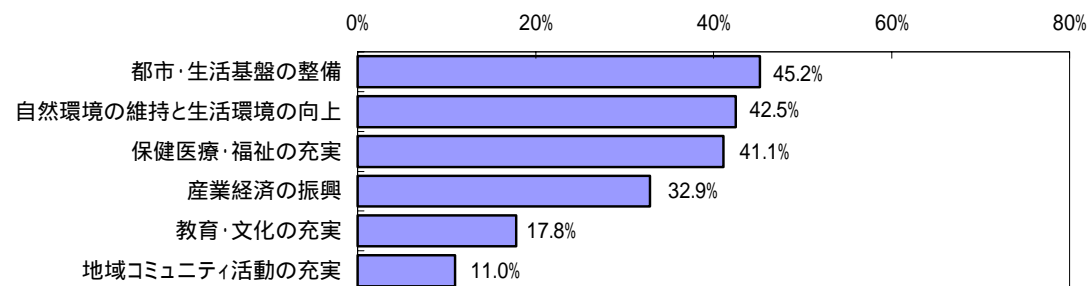
北小学校区



東小学校区



上高根沢小学校区



（６）居住地別クロス集計 問１１「施策の優先度」

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。６分野の居住地別「施策の優先度」は下記の結果となった。

都市・生活基盤の整備（項目１～５）

都市・生活基盤の整備の５項目は、「阿久津小学校区」「西小学校区」「上高根沢小学校区」では「５. 汚水処理の充実」「１. 計画的な市街地整備」「４. 良質な水道水の供給」の順番で優先度が高かった。（「西小学校区」では「５. 汚水処理の充実」と「１. 計画的な市街地整備」は同率）

「中央小学校区」「北小学校区」「東小学校区」では「５. 汚水処理の充実」「４. 良質な水道水の供給」「１. 計画的な市街地整備」の順番で優先度が高かった。いずれの小学校区でも「５. 汚水処理の充実」の優先度が最も高かったが、阿久津小学校区では他地区よりも優先度が高かった。「西小学校区」では、この「都市・生活基盤の整備」分野の平均優先度は、「保健医療・福祉の充実」とともに６分野中最も高かった。

自然環境の維持と生活環境の向上（項目６～１０）

自然環境の維持と生活環境の向上の５項目は、「阿久津小学校区」と「西小学校区」では「１０. 防犯・交通安全対策の充実」「９. 防災機能の向上」「７. リサイクルの推進」の順番で優先度が高かった。

「中央小学校区」と「北小学校区」では「１０. 防犯・交通安全対策の充実」「９. 防災機能の向上」「６. 自然環境の保護」の順番で優先度が高かった。

「東小学校区」では「１０. 防犯・交通安全対策の充実」「７. リサイクルの推進」「９. 防災機能の向上」の順番、「上高根沢小学校区」では「１０. 防犯・交通安全対策の充実」「７. リサイクルの推進」「６. 自然環境の保護」の順番で優先度が高かった。

「上高根沢地区」は他地区に比べて「７. リサイクルの推進」の優先度が高く、また「８. 公園・緑地の充実」の優先度がマイナス値であり、他地区と差異が見られた。

保健医療・福祉の充実（項目１１～１５）

保健医療・福祉の充実の５項目は、「阿久津小学校区」「東小学校区」「上高根沢小学校区」では「１２. 高齢者福祉・介護支援の充実」「１４. 子育て支援策の充実」「１３. 障害者福祉の充実」の順番で優先度が高かった。

「西小学校区」では「１２. 高齢者福祉・介護支援の充実」「１３. 障害者福祉の充実」「１５. 社会保障・生活援護の充実」の順番、「中央小学校区」では「１４. 子育て支援策の充

実」「12.高齢者福祉・介護支援の充実」「13.障害者福祉の充実」の順番、「北小学校区」では「12.高齢者福祉・介護支援の充実」「13.障害者福祉の充実」「14.子育て支援策の充実」の順番で優先度が高かった。

この「保健医療・福祉の充実」分野の平均優先度は、全ての地区で他の分野に比べて最も高かった。

教育・文化の充実（項目16～20）

教育・文化の充実の5項目は、「北小学校区」を除く全ての地区では「17.健全な青少年の育成」「16.学校教育・教育環境の充実」「18.生涯学習の充実」の順番で優先度が高かった。「北小学校区」は、「16.学校教育・教育環境の充実」「17.健全な青少年の育成」「18.生涯学習の充実」の順番で優先度が高かった。

なお、各地区とも、「19.文化・芸術活動の充実」「20.生涯スポーツの充実」の優先度は他の項目に比べて低かった。

産業経済の振興（項目21～25）

産業経済の振興の5項目は、全ての地区で「25.雇用機会の提供」「23.商業振興」「21.農林業振興」の順番で優先度が高かった。

「西小学校区」では他地区に比べて「23.商業振興」の優先度が高く、「中央小学校区」では他地区に比べて「22.工業振興」の優先度が高かった。

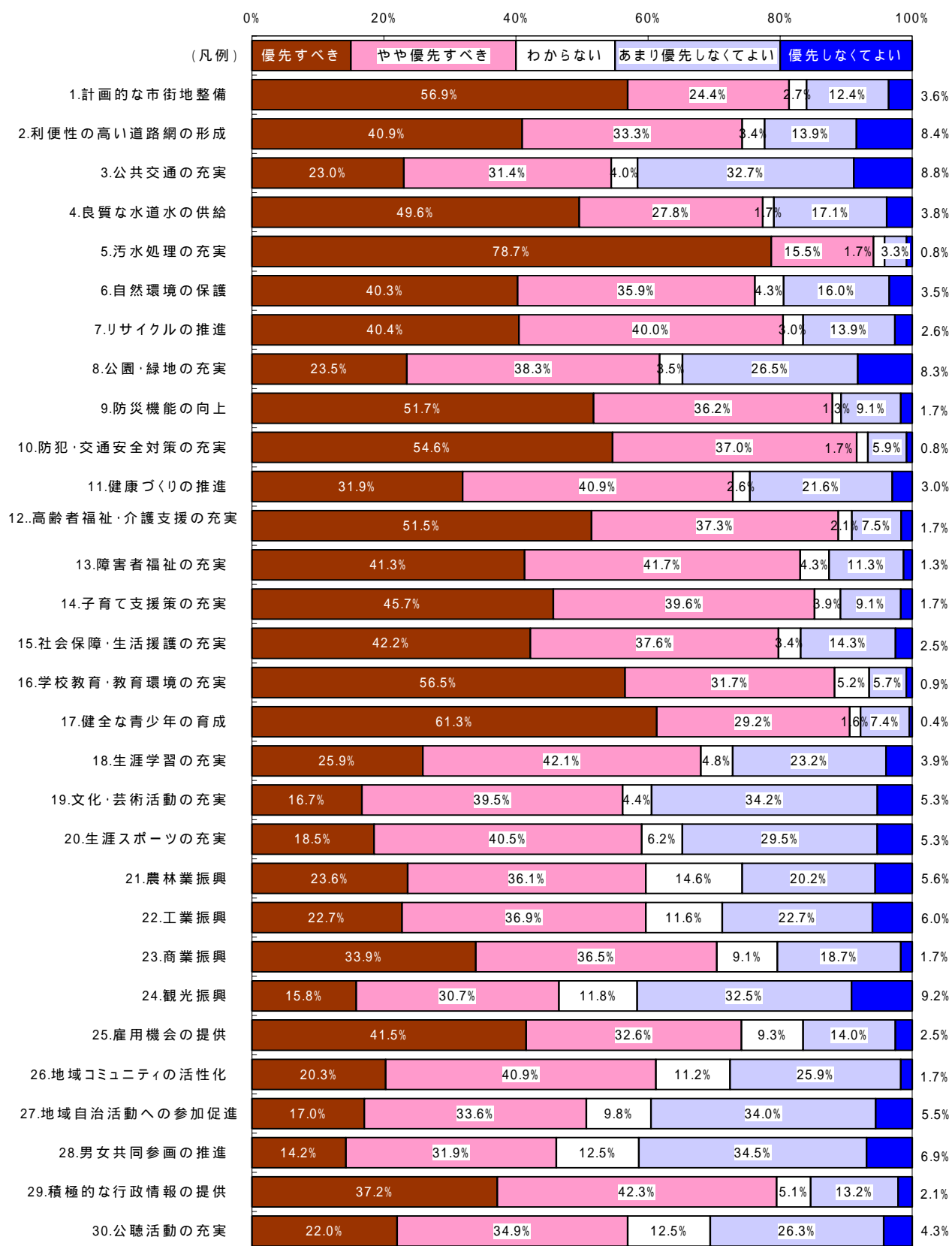
地域コミュニティ活動の充実（項目26～30）

地域コミュニティ活動の充実の5項目は、「上高根沢小学校区」を除く全ての地区では「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「30.公聴活動の充実」の順番で優先度が高かった。

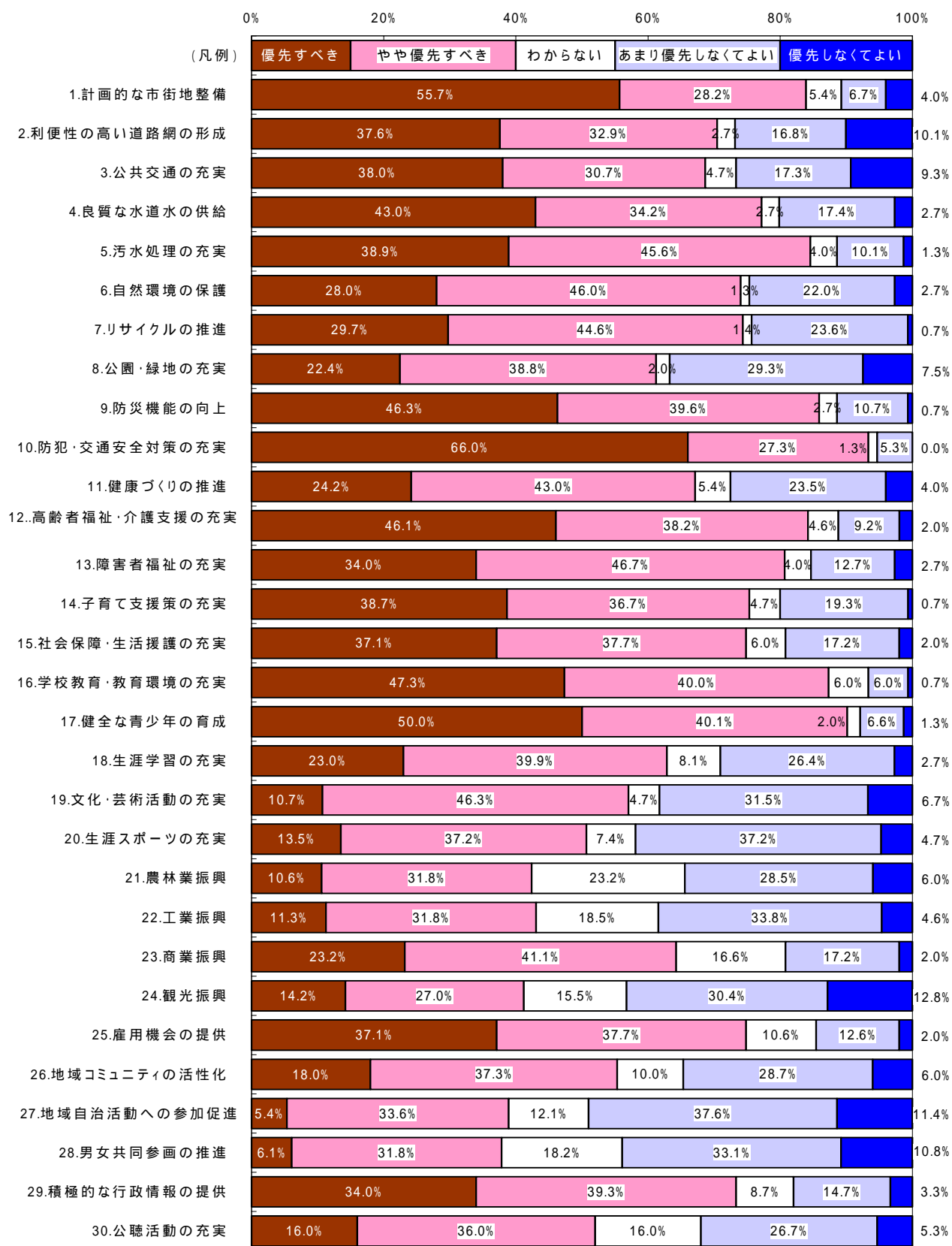
「上高根沢小学校区」では「29.積極的な行政情報の提供」「26.地域コミュニティの活性化」「27.地域自治活動への参加促進」の順番で優先度が高かった。

「27.地域自治活動への参加促進」と「28.男女共同参画の推進」は、他の項目に比べて優先度が低い、中でも「西小学校区」ではいずれもマイナス値であった。

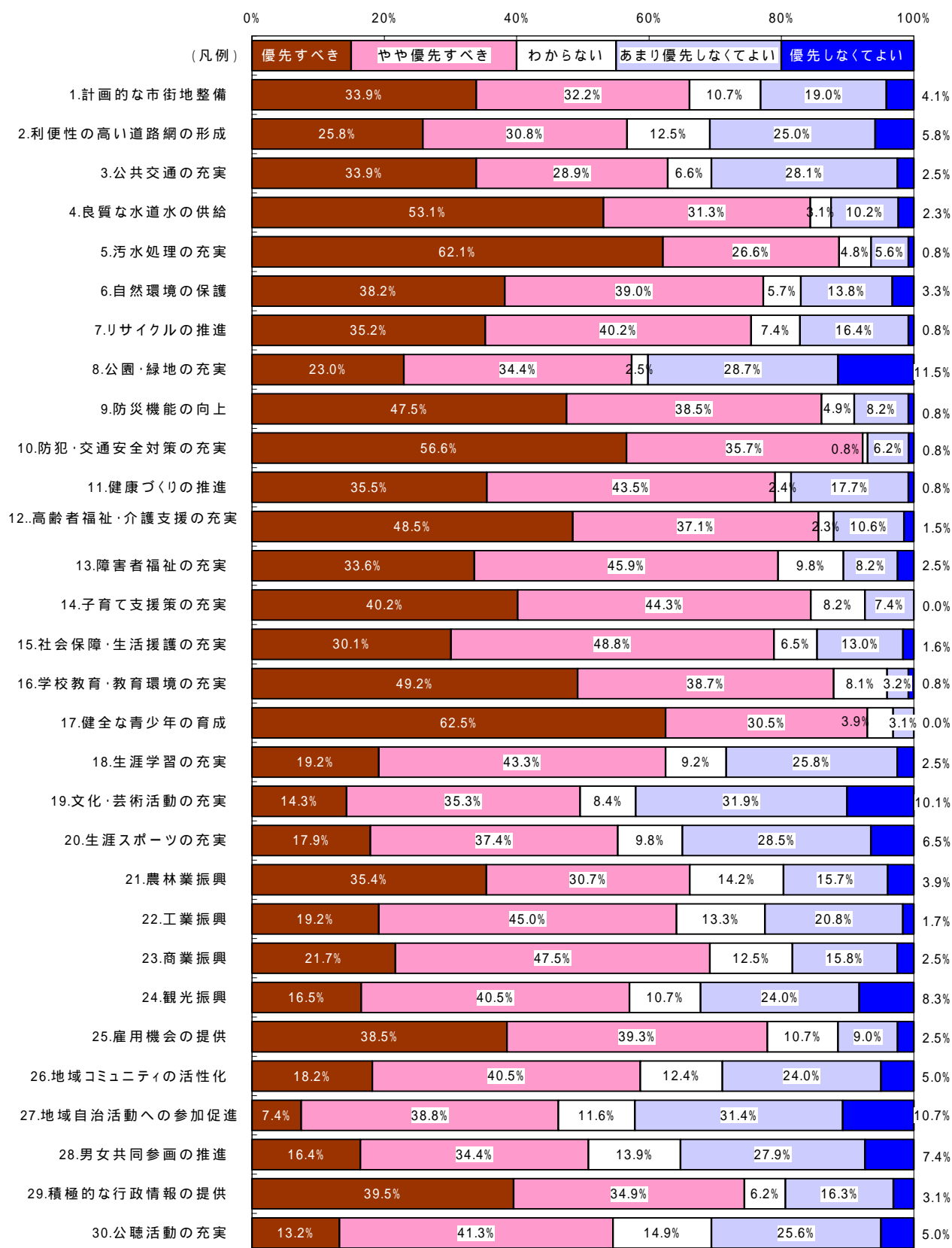
阿久津小学校区の「施策の優先度」



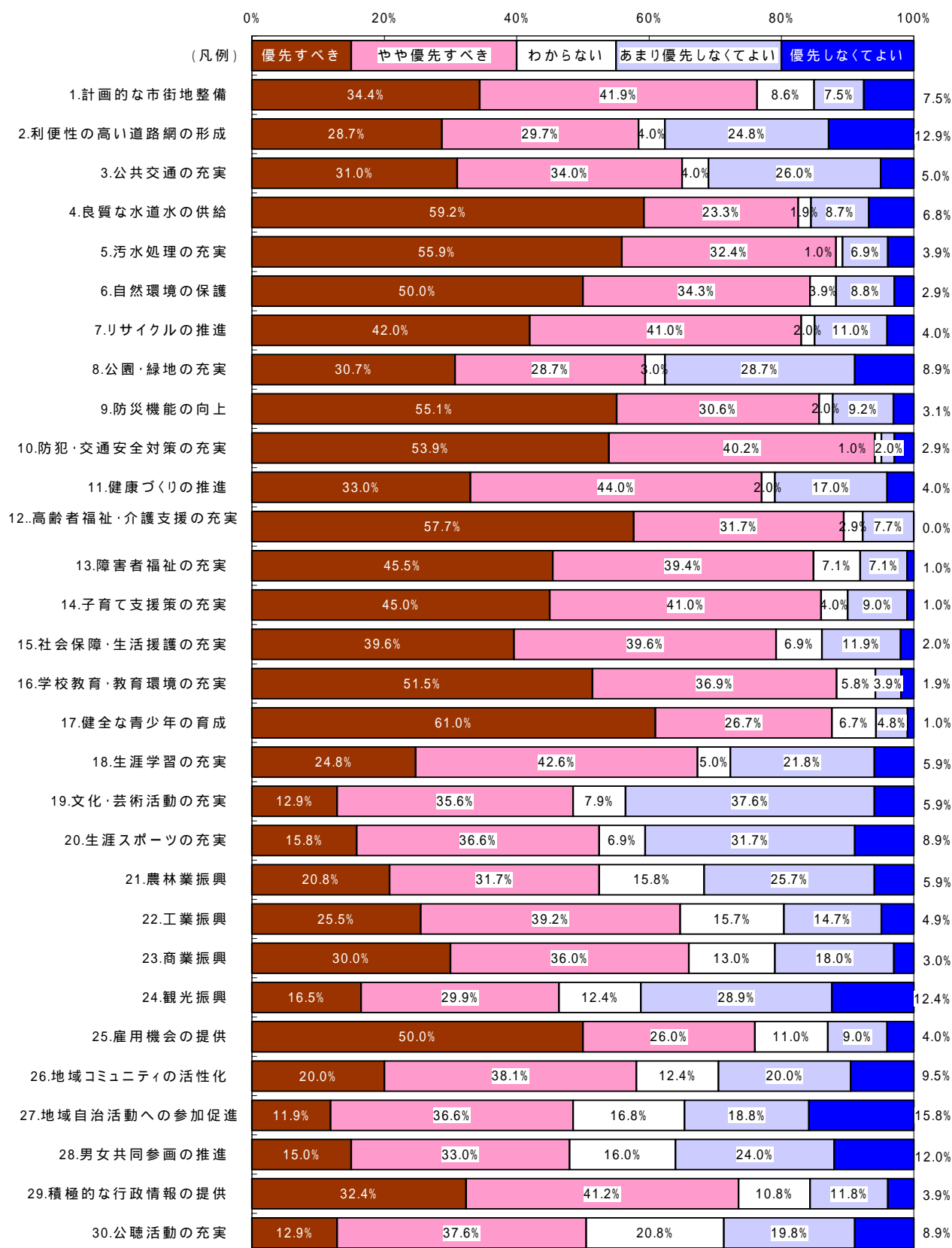
西小学校区の「施策の優先度」



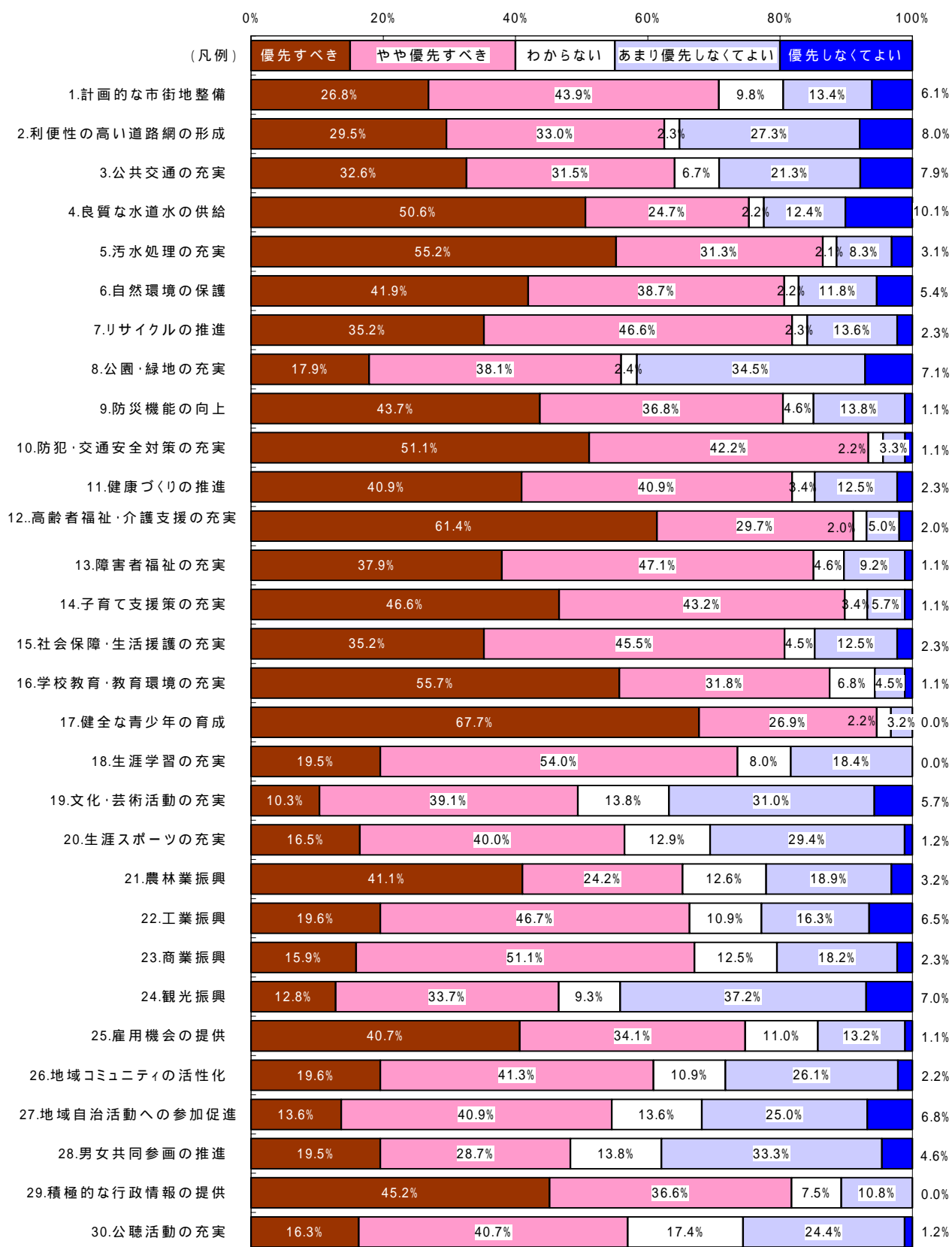
中央小学校区の「施策の優先度」



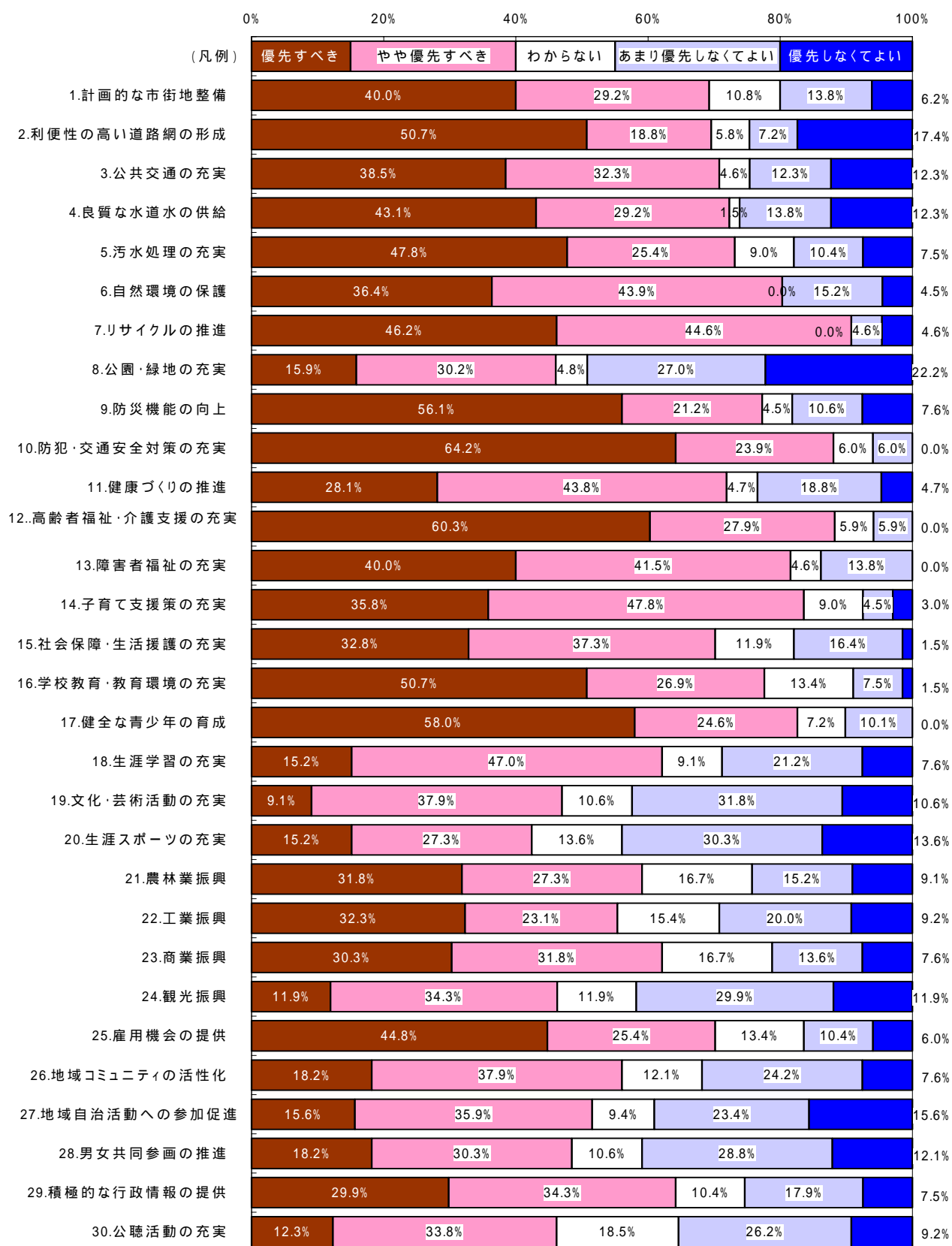
北小学校区の「施策の優先度」



東小学校区の「施策の優先度」



上高根沢小学校区の「施策の優先度」

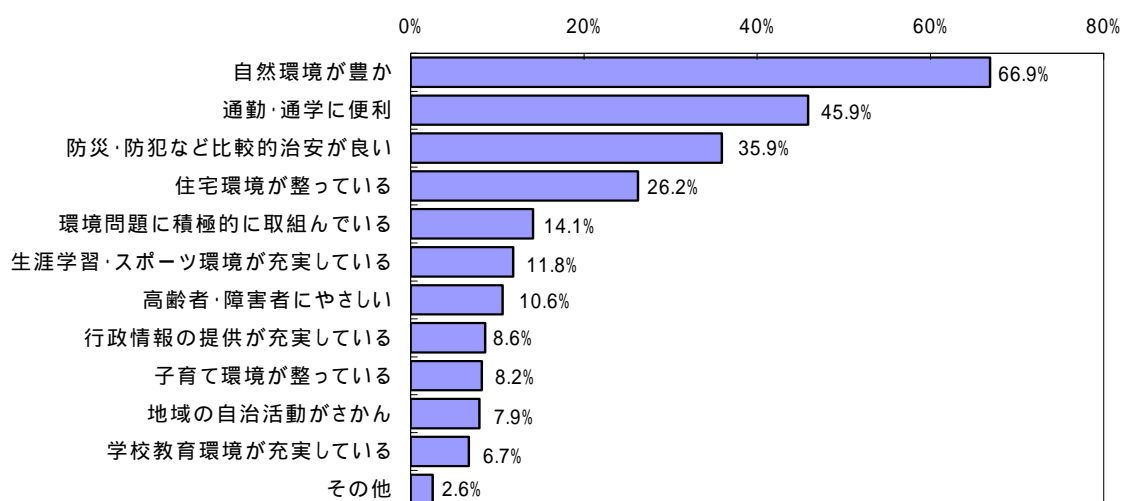


第9章 住民意識調査に対する考察

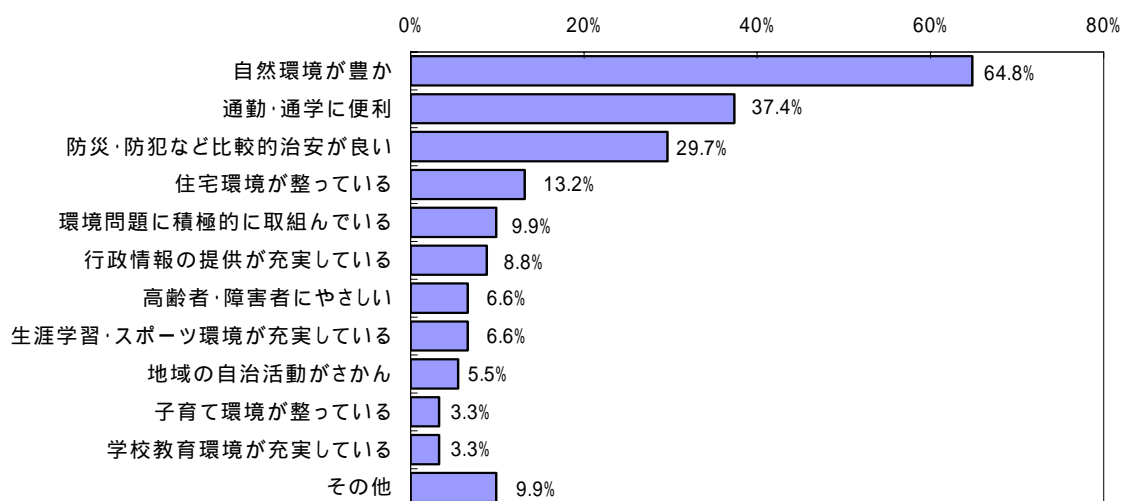
(1)「住み心地」に関する考察

問7の回答結果から、「住みやすい」回答と「どちらかといえば住みやすい」回答を合わせた「住みやすいグループ」と、「住みにくい」回答と「どちらかといえば住みにくい」回答を合わせた「住みにくいグループ」をつくり、問8の「住み心地が良い点」の回答結果を比較した。上位回答の順序は、両グループ同一であるが、「住宅環境が整っている」割合は、両グループで13.1%の乖離があり、最も大きかった。

住みやすいグループの「住み心地の良い点」



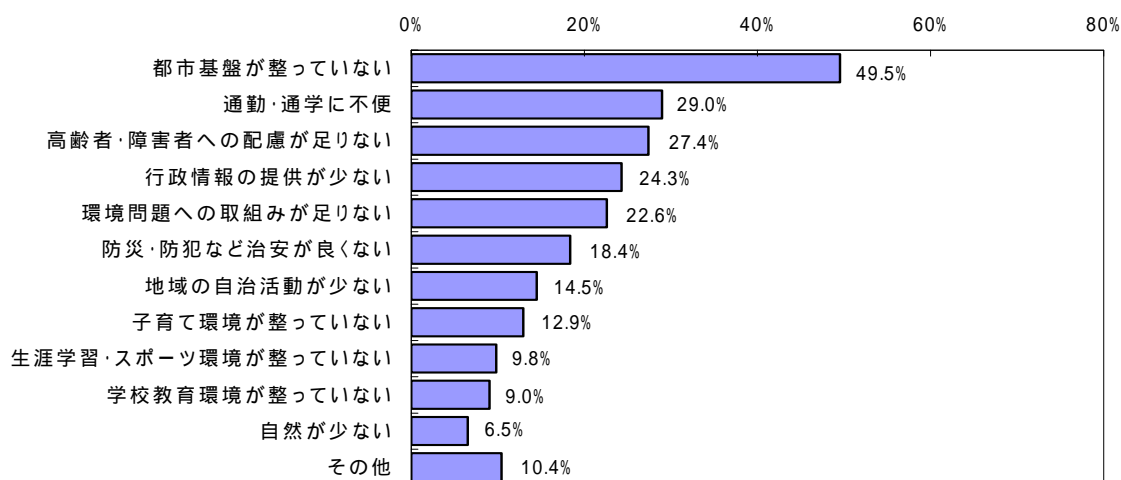
住みにくいグループの「住み心地の良い点」



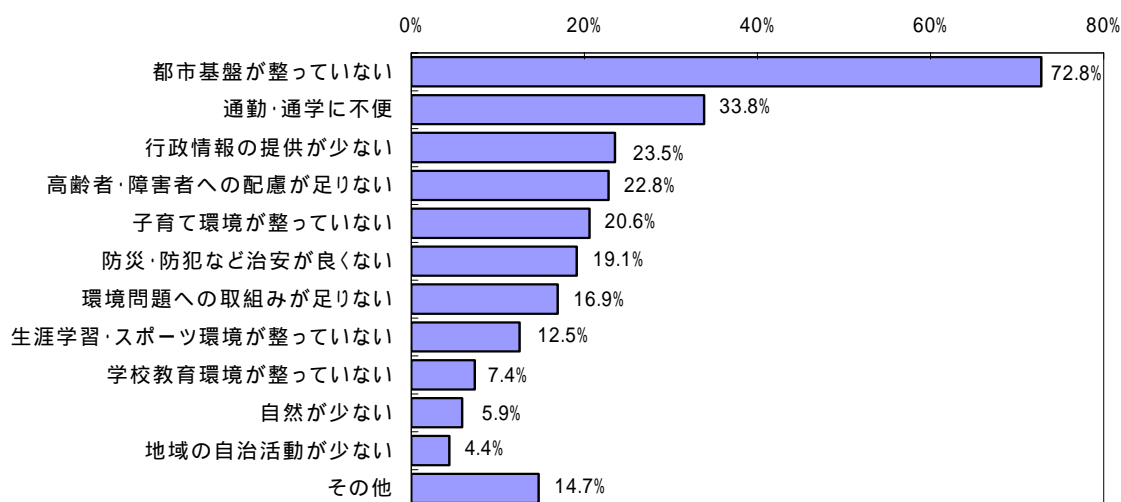
また、両グループで、「住み心地の悪い点」を比較したところ、「都市基盤が整っていない」割合は両グループで 23.3%の乖離があり、最も大きかった。

こうした結果から、住民の「住み心地」を満足するまちづくりを進めるためには、住宅環境と都市基盤の整備を重視しなければならないことがうかがえた。

住みやすいグループの「住み心地の悪い点」



住みにくいグループの「住み心地の悪い点」



(2) 「優先度」に関する考察

分野別の「優先度」

問 1 1 の「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなし、6 分野ごとの平均「優先度」を算出した。その結果は下表のとおりである。

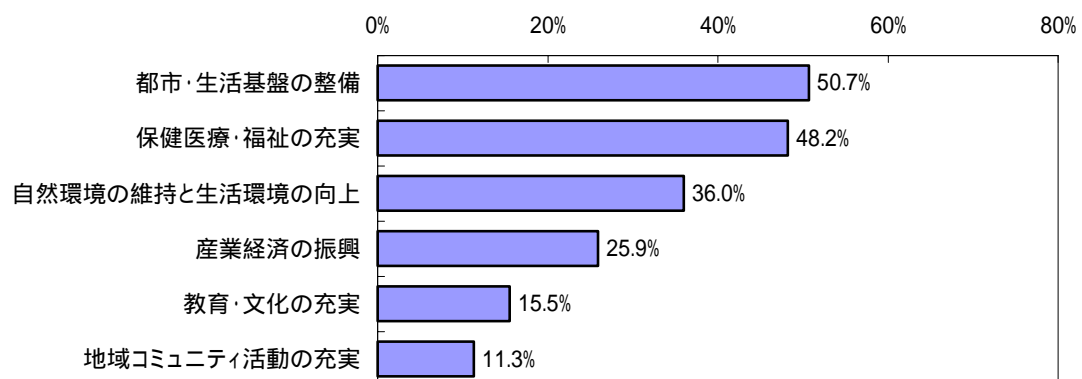
「優先」から「非優先」を差し引いた「優先度」は、「保健医療・福祉の充実」分野が最も高く、次いで「自然環境の維持と生活環境の向上」分野、「都市・生活基盤の整備」分野の「優先度」が高かった。

分野別の平均「優先度」

分野	平均 「優先度」
・保健医療・福祉の充実	59.4%
・自然環境の維持と生活環境の向上	53.1%
・都市・生活基盤の整備	47.0%
・教育・文化の充実	41.1%
・産業経済の振興	30.4%
・地域コミュニティ活動の充実	21.3%

一方、問 1 0 「今後優先すべき分野」の回答は、下表のとおりである。「都市・生活基盤の整備」が最も優先すべき分野となっているが、問 1 1 の 3 0 項目別の優先度とあわせて考えると、「保健医療・福祉の充実」も「都市・生活基盤の整備」と同等に最優先していくべきことがうかがえる。

問 1 0 「今後優先すべき分野」



項目別の「優先度」

30項目別の「優先度」は、下表に示すとおりである。「優先度」が高い項目は「10.防犯・交通安全対策の充実」「17.健全な青少年の育成」「12.高齢者福祉・介護支援の充実」「5.汚水処理の充実」「16.学校教育・教育環境の充実」などであった。

安心できる暮らし、教育の充実、高齢化社会への対応、そして都市基盤の整備などが期待されていることがうかがえた。次期振興計画では、優先度の高い項目に対して、特に十分な施策や事業を検討していく必要がある。

30項目別の「優先度」

順位	30項目	優先	非優先	優先度
1位	10.防犯・交通安全対策の充実	82.2%	5.3%	76.9%
2位	17.健全な青少年の育成	82.2%	5.8%	76.4%
3位	12.高齢者福祉・介護支援の充実	80.7%	8.2%	72.5%
4位	5.汚水処理の充実	78.7%	7.9%	70.8%
5位	16.学校教育・教育環境の充実	76.1%	5.5%	70.6%
6位	9.防災機能の向上	73.8%	10.3%	63.5%
7位	14.子育て支援策の充実	73.0%	9.5%	63.5%
8位	13.障害者福祉の充実	71.4%	10.2%	61.2%
9位	7.リサイクルの推進	69.4%	14.8%	54.6%
10位	15.社会保障・生活援護の充実	68.6%	14.3%	54.3%
11位	25.雇用機会の提供	66.0%	12.7%	53.3%
12位	4.良質な水道水の供給	69.6%	16.9%	52.7%
13位	6.自然環境の保護	68.3%	16.4%	51.9%
14位	29.積極的な行政情報の提供	67.1%	15.2%	51.9%
15位	1.計画的な市街地整備	64.6%	14.2%	50.4%
16位	11.健康づくりの推進	64.9%	19.4%	45.5%
17位	23.商業振興	58.1%	17.2%	40.9%
18位	2.利便性の高い道路網の形成	59.0%	24.5%	34.5%
19位	18.生涯学習の充実	57.0%	23.1%	33.9%
20位	3.公共交通の充実	54.3%	27.6%	26.7%
21位	21.農林業振興	50.1%	23.8%	26.3%
22位	22.工業振興	50.3%	24.4%	25.9%
23位	26.地域コミュニティの活性化	51.4%	26.7%	24.7%
24位	30.公聴活動の充実	46.2%	26.6%	19.6%
25位	8.公園・緑地の充実	50.9%	32.3%	18.6%
26位	20.生涯スポーツの充実	46.5%	32.5%	14.0%
27位	19.文化・芸術活動の充実	45.2%	34.7%	10.5%
28位	24.観光振興	40.2%	34.7%	5.5%
29位	27.地域自治活動への参加促進	40.9%	35.5%	5.4%
30位	28.男女共同参画の推進	39.4%	34.7%	4.7%

(3) 「 3 0 歳代 」 に対する考察

問 6 「高根沢町に対する愛着」に関して、「30歳代」の「愛着を感じている」回答割合は最も低く、さらに問 7 「高根沢町の住み心地」に関して、「30歳代」の「住みやすい」回答割合は最も低くなっている。

「30歳代」は、将来の高根沢町を担う世代であるとともに、人生の中で持ち家を取得する割合が最も高い年代である。こうした年代が高根沢町に対して厳しい見方をしていることを危惧する必要があると考えられる。よって、「30歳代」が高い優先度をつけている「14.子育て支援策の充実」「16.学校教育・教育環境の充実」「17.健全な青少年の育成」なども、次期振興計画では重視していく必要がある。

参考資料（住民意識調査票）

住民意識調査ご協力のお願い

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は町政にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

高根沢町ではこのたび、振興計画（まちづくりの最も基本となる計画）の改訂時期をむかえ、平成 27 年（2015 年）を目標年次とする次期計画の策定作業を開始したところです。

振興計画の検討に際しては、皆様方のご意見を十分に反映した計画にすることが重要であるため、現在のまちづくりに対する評価や、今後優先すべき施策等に関して、意識調査を実施することといたしました。

この意識調査は、高根沢町にお住まいの 20 歳以上の方々から無作為抽出しました、2,000 人を調査対象にさせていただきました。また、無記名方式であり、調査データは統計的な処理をしますので、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、調査の目的をご理解いただき、高根沢町の将来のためにご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 17 年 2 月

高根沢町長 高橋 克法

調査票へのご記入にあたって

設問ごとに、あてはまる番号に 印をお付けください。

「1 つ 印」「3 つまで 印」などと指定がありますのでご注意ください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒（切手不要）に入れて、2 月 28 日（月）までに投函するようお願い致します。

ご不明な点がございましたら、下記のところまでお問合わせください。

問合せ先：高根沢町 企画課企画調整係

電話 028 - 675 - 8102 FAX 028 - 675 - 8114

メールアドレス kikaku2@town.takanezawa.tochigi.jp

【問１】 あなたの性別について、該当する番号に１つ 印をお付けください。

１． 男性

２． 女性

【問２】 あなたの年齢について、該当する番号に１つ 印をお付けください。

１． ２０歳代

２． ３０歳代

３． ４０歳代

４． ５０歳代

５． ６０歳代

６． ７０歳以上

【問３】 あなたの職業について、該当する番号に１つ 印をお付けください。

１． 会社員・公務員・団体職員

２． 農業

３． その他自営業

４． 主婦・主夫

５． パートタイマー・アルバイト

６． 無職

７． その他（ ）

【問４】 あなたの家族構成について、該当する番号に１つ 印をお付けください。

１． 単身（ひとりぐらし）世帯

２． 夫婦のみ（１世代）世帯

３． 親子（２世代）世帯

４． 親子孫（３世代）世帯

５． その他（ ）

【問５】 あなたのお住まいについて、該当する番号に１つ 印をお付けください。

１． 阿久津小学校区

２． 西小学校区

３． 中央小学校区

４． 北小学校区

５． 東小学校区

６． 上高根沢小学校区

【問６】 あなたは、高根沢町を「自分のまち」として愛着を感じていますか。該当する番号に１つ 印をお付けください。

１． 愛着を感じている

２． すこし愛着を感じている

３． さほど愛着を感じていない

４． 愛着を感じていない

【問7】 あなたにとって、現在の高根沢町の「住み心地」はいかがですか。該当する番号に1つ 印をお付けください。

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい

【問8】 「住み心地」が良い点について、該当する番号3つまで 印をお付けください。

1. 住宅環境が整っている
2. 通勤・通学に便利
3. 自然環境が豊か
4. 環境問題に積極的に取り組んでいる
5. 防災・防犯など比較的治安が良い
6. 高齢者・障害者にやさしい
7. 子育て環境が整っている
8. 学校教育環境が充実している
9. 生涯学習・スポーツ環境が充実している
10. 行政情報の提供が充実している
11. 地域の自治活動がさかん
12. その他（)

【問9】 「住み心地」が悪い点について、該当する番号3つまで 印をお付けください。

1. 都市基盤が整っていない
2. 通勤・通学に不便
3. 自然が少ない
4. 環境問題への取り組みが足りない
5. 防災・防犯など治安が良くない
6. 高齢者・障害者への配慮が足りない
7. 子育て環境が整っていない
8. 学校教育環境が整っていない
9. 生涯学習・スポーツ環境が整っていない
10. 行政情報の提供が少ない
11. 地域の自治活動が少ない
12. その他（)

【問10】 高根沢町が、今後優先していくべき分野について、該当する番号2つまで 印をお付けください。

1. 都市・生活基盤の整備
2. 自然環境の維持と生活環境の向上
3. 保健医療・福祉の充実
4. 教育・文化の充実
5. 産業経済の振興
6. 地域コミュニティ活動の充実

【問 1 1】 高根沢町は、今後はどのような施策を優先すべきですか。5段階評価の番号に1つ 印をお付けください。

項 目			施策の優先度				
			優先すべきである	やや優先すべきである	あまり優先しなくてよい	優先しなくてよい	わからない
(例)		の充実	1	2	3	4	5
都市・生活基盤の整備	1	計画的な市街地整備	1	2	3	4	5
	2	利便性の高い道路網の形成	1	2	3	4	5
	3	公共交通の充実	1	2	3	4	5
	4	良質な水道水の供給	1	2	3	4	5
	5	汚水処理の充実	1	2	3	4	5
自然環境の維持と生活環境の向上	6	自然環境の保護	1	2	3	4	5
	7	リサイクルの推進	1	2	3	4	5
	8	公園・緑地の充実	1	2	3	4	5
	9	防災機能の向上	1	2	3	4	5
	10	防犯・交通安全対策の充実	1	2	3	4	5
保健医療・福祉の充実	11	健康づくりの推進	1	2	3	4	5
	12	高齢者福祉・介護支援の充実	1	2	3	4	5
	13	障害者福祉の充実	1	2	3	4	5
	14	子育て支援策の充実	1	2	3	4	5
	15	社会保障・生活援護の充実	1	2	3	4	5

【問１１のつづき】

項 目			施策の優先度				
			優先すべきである	やや優先すべきである	あまり優先しなくてよい	優先しなくてよい	わからない
(例)		の充実	1	2	3	4	5
教育・文化の充実	16	学校教育・教育環境の充実	1	2	3	4	5
	17	健全な青少年の育成	1	2	3	4	5
	18	生涯学習の充実	1	2	3	4	5
	19	文化・芸術活動の充実	1	2	3	4	5
	20	生涯スポーツの充実	1	2	3	4	5
産業経済の振興	21	農林業振興	1	2	3	4	5
	22	工業振興	1	2	3	4	5
	23	商業振興	1	2	3	4	5
	24	観光振興	1	2	3	4	5
	25	雇用機会の提供	1	2	3	4	5
地域コミュニティ活動の充実	26	地域コミュニティの活性化	1	2	3	4	5
	27	地域自治活動への参加促進	1	2	3	4	5
	28	男女共同参画の推進	1	2	3	4	5
	29	積極的な行政情報の提供	1	2	3	4	5
	30	公聴活動の充実	1	2	3	4	5

【問１２】 これからのまちづくりに関するご意見など、ご自由にお書きください。

以上で質問はおわりです。ご協力ありがとうございました。